JUSTIO 複合機

brother

MFC-L8650CDW
MFC-L9550CDW

ユーザーズガイド 基本編

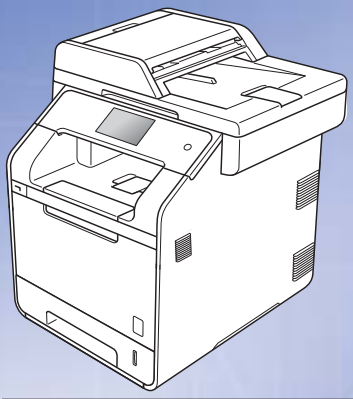
本書はなくさないように注意し、
いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

CD-ROM

本書以外の
ユーザーズガイドが
収録されています。

ユーザーズガイド
応用編
便利な使い方を
説明しています。

ユーザーズガイド
パソコン活用&
ネットワーク
コンピューターを使用
した操作方法とネット
ワーク環境での使い方
を説明しています。



困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな?と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 4章「困ったときには」で調べる 128ページ

2 サポート ブラザー 検索
ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://support.brother.co.jp/

本書の使いかた・目次
使う前に
知ってほしいこと
まずは
使ってみましょう
日常のお手入れ
困ったときには
付録(索引)

Version B JPN

おすすめ機能 14P

ユーザーズガイドの構成

準備しましょう

- 電源の注意事項を知りたい
- 停電のときの注意事項を知りたい
- 安全にかかわるいろいろな注意事項を知りたい
- 設置場所の注意事項を知りたい
- トナーの注意事項を知りたい

- 設置して使用できる状態にしたい
- 必要な設定をしたい
- コンピューターに接続して、プリンターやスキャナーとして使えるようにしたい

まずは使ってみましょう

- 使用できる用紙が知りたい
- ファクスしたい（基本）
- 電話帳を作成したい
- コピーしたい（基本）
- コンピューターからプリントしたい（基本）
- スキャンしたい（基本）
- USBメモリからプリントしたい
- 消耗品を交換したい
- お手入れのしかたを知りたい
- トラブルを解決したい
- リサイクルについて知りたい

もっと便利に使ってみましょう

- 電話帳を使って簡単に宛先を指定したい
- ナンバー・ディスプレイ機能を使いたい
- 使える機能や設定変更できる機能を制限して管理したい（セキュリティ）
- いろいろなファクス送受信をしたい
- ファクスを転送したい

- コンピューターからプリントしたい(応用)
- コンピューターでファクスを送受信したい
- コンピューター上にアドレス帳を作成したい
- いろいろな方法でスキャンしたい
- さまざまな設定をコンピューターから行いたい（リモートセットアップ）
- ネットワークに接続して複数のコンピューターでファクス、プリント、スキャンをしたい
- ネットワーク設定を手動で行いたい
- 分からない用語を調べたい
- ネットワークにかかわるトラブルを解決したい

- 携帯端末から直接プリントしたい
- スキャンしたデータを携帯端末に直接取り込みたい

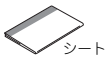
安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項を説明しています。必ずはじめにお読みください。
また、なくさないように注意し、いつでも確認できるように保管してください。



かんたん設置ガイド

本製品を使用するための準備（設置、基本的な設定、コンピューターへの接続の方法など）を説明しています。



ユーザーズガイド　基本編　＜本書＞

基本的なコピー、ファクス、プリント、スキャンのしかたについて説明しています。また、本製品の電話帳の登録・編集方法やトラブル対処方法についても説明しています。
いつでも手に取って見られる場所に保管してください。

Windows®



Macintosh

ダウンロード

ユーザーズガイド　応用編（PDF形式）

全体にかかわる各種設定、ファクス応用機能、転送機能、リモコン機能、レポート機能、仕様などを説明しています。

Windows®



Macintosh

ダウンロード

ユーザーズガイド　パソコン活用＆ネットワーク（HTML形式）

コンピューターからの操作で本製品をプリンター、スキャナー、ファクスとして使用する方法や便利な使いかた（ControlCenter）について説明しています。
また、ネットワーク環境で使用するための設定や、コンピューターからの操作で本製品をプリンター、スキャナー、ファクスとして使用する方法を説明しています。
そのほか、ネットワーク環境での用語や環境についての概要などを説明しています。

Googleクラウドプリントガイド（PDF形式）

ダウンロード

本製品にGoogleアカウント情報を登録し、Googleクラウドプリントサービスを利用してデータを印刷する方法を説明しています。

モバイルプリント＆スキャンガイド（PDF形式）

ダウンロード

Brother iPrint&Scan用

Android™やiOSを搭載した携帯端末からデータを印刷する方法や、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に転送する方法を説明しています。（Windows® PhoneはPDFファイル印刷には対応しておりません。）

クラウド接続ガイド（PDF形式）

ダウンロード

オンラインストレージに画像や文書をスキャンしてアップロードするときの各種設定、また保存されているデータのプリント方法について説明しています。

- 冊子、シート、CD-ROMは本製品に同梱されています。
- 各種ガイド（説明書）は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
（http://support.brother.co.jp/）

Brother Utilitiesを起動する

Brother Utilities は、コンピューターにインストールされているブラザーアプリケーションに簡単にアクセスすることができる、アプリケーションランチャーです。

1 Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7の場合

[スタート] - [すべてのプログラム] - [Brother] - [Brother Utilities]の順にクリックします。

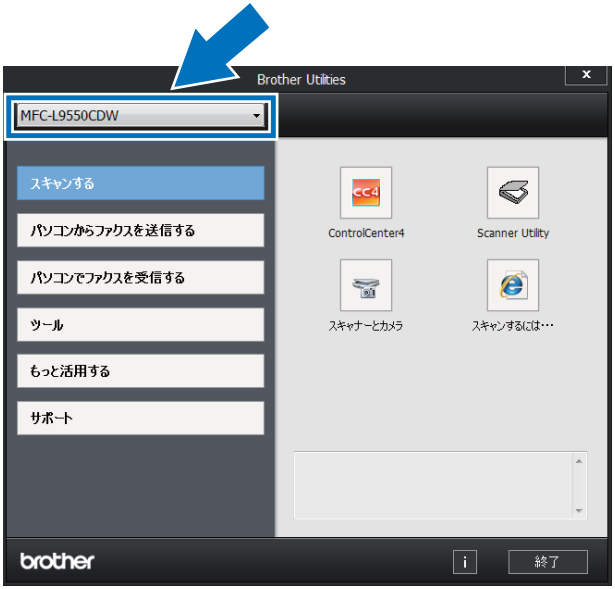
Windows® 8の場合

[Brother Utilities]をタップまたはクリックします。

Windows® 8.1の場合

スタート画面の左下にあるをクリックします。タブレット端末をご使用の場合は、スタート画面の下から上方向にスワイプすると、アプリ画面が表示されます。アプリ画面が表示されたら、[Brother Utilities]をタップまたはクリックしてください。

2 モデル名を選択する



3 使用したい機能を選択する

CD-ROM内のユーザーズガイドを見るときは

付属のCD-ROMには、下記のユーザーズガイドが用意されています。
- ユーザーズガイド 応用編（PDF形式）
- ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク（HTML形式）

Windows®の場合

付属のCD-ROMからドライバーやソフトウェアをコンピューターにインストールすると、CD-ROM内のユーザーズガイドも自動的にインストールされます。
［スタート］メニューから［すべてのプログラム］-［Brother］-［Brother Utilities］の順にクリックします。
Windows® 8をご使用の場合は、スタート画面またはデスクトップの［Brother Utilities］をタップ、またはクリックします。
モデル名を選択し、［サポート］-［ユーザーズガイド］の順にクリックして、見たいユーザーズガイドを選んでください。
ユーザーズガイドがコンピューターにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMに収録されているユーザーズガイドを見ることができます。

1 付属のCD-ROMを、コンピューターのCD-ROMドライブにセットする

トップメニュー画面が表示されます。

補足

トップメニューの画面が表示されないときは、［コンピューター（マイ コンピュータ）］からCD-ROMドライブをダブルクリックし、［start.exe］をダブルクリックして画面を表示させてください。
Windows® 8をご使用の場合は、タスクバーから［エクスプローラー］-［コンピューター（PC）］の順にクリックして、CD-ROM　ドライブをダブルクリックし、［start.exe］をダブルクリックして画面を表示させてください。

2 ［ユーザーズガイド］をクリックする



3 ［画面で見るユーザーズガイド］をクリックする

収録されているユーザーズガイドの名称が表示されます。



4 見たいユーザーズガイドの名称をクリックする

ユーザーズガイドが表示されます。

Macintoshの場合

各種ガイド（説明書）は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。（http://support.brother.co.jp/）
サポートサイトの「製品マニュアルのダウンロード」を確認してください。

インターネット上のサポートの案内を見るときは

Windows®の場合

1 付属のCD-ROMを、コンピューターのCD-ROMドライブにセットする

トップメニューが表示されます。

補足

トップメニューの画面が表示されないときは、[コンピューター（マイ コンピュータ）]からCD-ROMドライブをダブルクリックし、[start.exe]をダブルクリックして画面を表示させてください。
Windows® 8をご使用の場合は、タスクバーから[エクスプローラー]→[コンピューター（PC）]の順にクリックして、CD-ROM　ドライブをダブルクリックし、[start.exe]をダブルクリックして画面を表示させてください。

2 [サービスとサポート]をクリックする

3 見たい項目をクリックする



- ブラザーホームページ
  ブラザーのホームページを表示します。
- サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）
  サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）を表示します。
- ブラザーダイレクトクラブ
  トナーカートリッジなどを購入できるオンラインショップを表示します。
- 消耗品情報
  ブラザー純正の消耗品の案内を表示します。

Macintoshの場合

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）でご確認ください。(http://support.brother.co.jp/)

目　次

ユーザーズガイドの構成 2
Brother Utilitiesを起動する 4
CD-ROM内のユーザーズガイドを見るときは 5
Windows®の場合 5
Macintoshの場合 5
インターネット上のサポートの案内を見るときは 6
Windows®の場合 6
Macintoshの場合 6
目　次 8
本書の表記 13
マークについて 13
編集ならびに出版における通告 13
おすすめ機能 14

第１章 使う前に知ってほしいこと 18
各部の名称とはたらき 18
操作パネルの名称とはたらき 18
各部の名称 19
タッチパネル操作の基本 20
待ち受け画面 20
メニュー 22
ホーム画面を選ぶ 23
画面の操作方法 23
電源について 25
お気に入りを登録する 25
登録したお気に入りを呼び出す 30
お気に入りを編集する 31
電話回線のこと 32
自動で回線種別を設定する 32
回線状態を確認する 32
次世代ネットワーク（NGN）に接続する場合 32
リサイクル・廃棄のこと 33
消耗品の回収リサイクルについて 33
本製品の廃棄について 33

第２章 まずは使ってみましょう 34
記録紙の基本 34
記録紙セットの流れ 34
セットできる記録紙 35
使用できない記録紙 36
記録紙トレイに記録紙をセットする 37
多目的トレイに記録紙をセットする 39
記録紙が排出される場所 42
セットした記録紙に合わせて本体の設定を変更する 43
原稿の基本 44
原稿セットで注意すること 44
原稿をセットする 45
原稿の読み取り設定をする 46

ファクス送信の基本 47
ファクス送信の流れ 47
電話帳を使用する 51
ファクスを手動で送信する 51
ファクス送信を中止する 51
ファクス受信の基本 52
ファクス受信の流れ 52
受信モードの種類 53
受信モードを設定する 57
呼び出しベル回数を設定する 57
再呼び出しベル回数を設定する 57
ファクス無鳴動受信を設定する 57
ファクスの見かた 58
受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/印刷する 58
ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する） 61
電話帳の基本 62
電話帳について 62
電話帳に登録する 63
グループダイヤルを登録する 65
電話帳を編集する 65
コピーの基本 67
コピーの流れ 67
プリセットコピーメニューについて 70
コピー設定について 71
拡大･縮小コピーをする 72
1部ごとにコピーする
〔ソートコピー〕 72
複数の原稿を1枚にまとめてコピーする
〔レイアウト コピー（N in 1コピー）〕 73
2 in 1 IDコピーをする 73
両面コピーをする 74
記録紙トレイを設定する 75
画質を設定する 76
コピー濃度を設定する 76
コントラストを設定する 76
USBダイレクトプリントの基本 77
USBダイレクトプリントの流れ 77
プリントの基本 79
プリントの流れ 79
スキャンの基本 80
スキャンの流れ 80
第 3 章 日常のお手入れ 82
定期メンテナンス 82
本製品外部を清掃する 82
原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する 83
本製品内部を清掃する 85
コロナワイヤーの清掃 88
ドラムユニットの清掃 90
給紙ローラーの清掃 95
消耗品の交換 96

消耗品 96
トナーカートリッジとドラムユニットについて 97
トナーカートリッジとドラムユニット交換時の注意 99
トナーカートリッジの交換 101
ドラムユニットの交換 105
ベルトユニットの交換 112
廃トナーボックスの交換 118
定期交換部品の交換 124
本製品を再梱包するときは 125

第４章 困ったときには 128
解決のステップ～修理依頼される前に～ 128
画面にエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧） 129
エラーが発生したときのファクスの転送方法 137
紙がつまった！ 138
紙づまりのときのメッセージ 138
原稿がつまったとき 139
記録紙がつまったとき 141
原因がよくわからない！ 150
困ったときには（コピー／印刷） 150
困ったときには（スキャン） 169
困ったときには（電話／ファクス） 169
困ったときには（その他） 175

第５章 付録 178
機能一覧 178
【メニュー】ボタン 178
【全てのメニュー】 181
【ファクス】ボタン 195
【コピー】ボタン 198
【スキャン】ボタン 201
その他の機能 208
本製品の仕様 214
基本設定 214
原稿サイズ 216
用紙仕様 216
ファクス 217
コピー 217
スキャナー 218
プリンター 219
インターフェイス 219
ネットワーク 220
ダイレクトプリント 221
消耗品 221
Wi-Fi®認証について 224
簡単無線LAN設定 224
停電がおきたときは 224
動作環境 225
索　引 226

アフターサービスのご案内 231

付属のCD-ROMに収録
「ユーザーズガイド 応用編」の目次

第１章　全体にかかわる設定
記録紙設定
電話回線設定
音量設定
静音モード設定
省エネ設定
画面設定
日付・時刻設定
セキュリティ設定
ナンバー・ディスプレイ設定

第２章　ファクス送信
便利な送信方法
便利な送信設定
便利な宛名指定機能
ファクス誤送信防止機能
（ダイヤル制限）を設定する
IPファクスの設定をする
特別設定について

第３章　ファクス受信
さまざまな受信方法
受信時の設定

第４章　転送・リモコン
ファクス転送機能
外出先から本製品を操作する:リモコン機能

第５章　レポート・リスト
レポート・リストの種類
レポートの出力を設定する

第６章　USB ダイレクトプリント
フォルダー構成やデータの一覧を印刷する
操作パネルから印刷の設定をする

第７章　必要なときに確認してほしいこと
色合いや色ずれを補正する
文字を入力する
記録紙のこと
原稿のこと
製品情報
設定機能の初期化
オプション
メモリを増設する
用語集
索　引

本書の表記

本製品の外観およびタッチパネル画面のイラストは、MFC-L9550CDWを代表で使用しています。

マークについて

本文中では、マークについて以下のように表記しています。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容を示しています。
! 重要	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性がある内容を示しています。
注意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことを説明しています。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
	「してはいけないこと」を示しています。
	「感電の危険があること」を示しています。
	「火災の危険があること」を示しています。
	「やけどのおそれがあること」を示しています。
⇒XXXページ 「XXX」	参照先を記載しています。（XXXはページ、参照先）
	「安全にお使いいただくために」の参照先を表しています。
【XXX】	本製品の画面内の表示を表しています。
[XXX]	コンピューター上の表示を表しています。

編集ならびに出版における通告

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。
© 2014 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

おすすめ機能

効率アップ におすすめ

コピー / プリントで効率アップ

仕分け作業は機械にまかせましょう 	●ページ順に1部ごとコピー／プリント〔ソートコピー〕	・プリント ⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク ・コピー ⇒72ページ「1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」
簡単に印刷設定をしてみましょう	●おまかせ印刷	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

ファクスで効率アップ

宛先指定はボタン1つで簡単に	●再ダイヤルを使用する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
送付書を自動的に付けられます	●送付書を付けて送信する ●送付書のオリジナルコメントを登録する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
1度にまとめて送りましょう	●同じ原稿を数か所に送信する〔同報送信〕 ●メモリ内の文書を同じ相手に一括送信する〔とりまとめ送信〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
1度の操作で両面原稿を読み取って読み込む手間を省きます	●両面原稿の読み取りを設定する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
留守中にファクスが届いても、外出先でファクスを見られます	●他の場所のファクス機に転送する	⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」

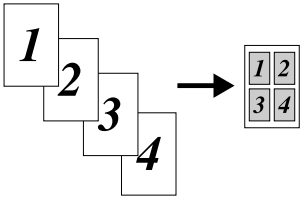
エコ におすすめ

リサイクルでエコに協力

リサイクルして有効に使いましょう	●消耗品の回収リサイクルについて	⇒33ページ「リサイクル・廃棄のこと」

節約、コスト削減 におすすめ

用紙代を節約

両面を有効に使って節約	●両面コピー／両面プリント／両面ファクス	・コピー ⇒74ページ「両面コピーをする」 ・プリント ⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク ・ファクス ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」
複数の原稿を 1 枚にまとめてコピー／プリントして節約 	●レイアウトコピー／レイアウトプリント	・コピー ⇒73ページ「複数の原稿を 1 枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー（N in 1コピー）〕」 ・プリント ⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
コンピューターでファクスを送受信してペーパーレス。必要なものだけプリントして節約	●ファクスをコンピューターで受信する〔PCファクス受信〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」
A4サイズを超える原稿を受信するとき、自動的に縮小して1枚にまとめて節約	●自動的に縮小して印刷する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」
受信したファクスの内容を画面で確認。必要なものだけプリントして節約	●みるだけ受信	⇒58ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/印刷する」

通信費を節約

深夜割引※を上手に使いましょう。大量のファクスをタイマーで深夜に送れば通信代節約	●指定時刻に送信する〔タイマー送信〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

※：深夜割引についてはご利用の回線接続会社にお問い合わせください。

次世代ネットワーク（NGN）でIPファクス（T.38準拠）※を使うことにより、今までよりスピーディかつ安価にファクスを送信できます。	●IPファクスの設定をする	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

※：IPファクスとは、IPネットワークを使って送信するファクスです。

省エネで節約

印字の質を少し下げてトナーを節約	●トナーを節約する〔トナー節約モード〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」
電力消費をおさえて節約	●スリープモードに入る時間を設定する〔スリープモード〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」

安心 におすすめ

ファクスで安心

きちんと送信できたのか送信結果を知りたい	●送信結果レポートを表示する ●レポート・リストを印刷する	⇒ユーザーズガイド 応用編「レポート・リスト」
宛先の間違いを防ぎたい	●ファクス誤送信防止機能（ダイヤル制限）を設定する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
かかってきた相手を確認したい	●ナンバー・ディスプレイ設定	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」
海外への送信で、回線状況が悪いときでも送信エラーを防ぎたい	●海外へ送信する〔海外送信モード〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

制限で安心

勝手に設定変更されないように変更を制限したい	●設定変更できる機能を制限する〔セキュリティ設定ロック〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」
使える機能を制限して情報漏洩を防ぎたい。 無駄な操作を防げばコスト削減にも役立ちます。	●使用できる機能を制限する〔セキュリティ機能ロック3.0〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」
印刷された内容を本製品の近くの人に見られたくない	●印刷をパスワードで制限する〔セキュリティ印刷〕	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

キレイ におすすめ

最適なコピー／ファクス設定でキレイ

拡大／縮小を思いどおりに	●拡大･縮小コピーをする	⇒72 ページ「拡大･縮小コピーをする」
原稿の種類によって画質を調整する	●コピー／ファクス送信の画質を設定する	･コピー ⇒76ページ「画質を設定する」 ･ファクス ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
コピーの濃度（明るさ）を調整する	●コピー濃度を設定する	⇒76ページ「コピー濃度を設定する」
コピーのコントラストを調整する	●コントラストを設定する	⇒76ページ「コントラストを設定する」
ファクス送信時の濃度を調整する	●ファクス送信時の原稿濃度を設定する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

1 使う前に知ってほしいこと

各部の名称とはたらき

操作パネルの名称とはたらき



戻る

1つ前の画面に戻すときに押します。

キャンセル

処理中の動作を中止するときに押します。

ホーム

設定を中止するときや待ち受け画面に戻るときに押します。

タッチパネル

各種メニュー、操作方法を案内するメッセージが表示されます。
画面に直接タッチして各設定を行います。
⇒20ページ「待ち受け画面」
⇒23ページ「画面の操作方法」

ダイヤルボタン

ダイヤルするときや、各種設定の数値入力時に使用します。

NFCセンサー部（MFC-L9550CDWのみ）

ICカードをセンサー部にタッチして、カード認証を行います。

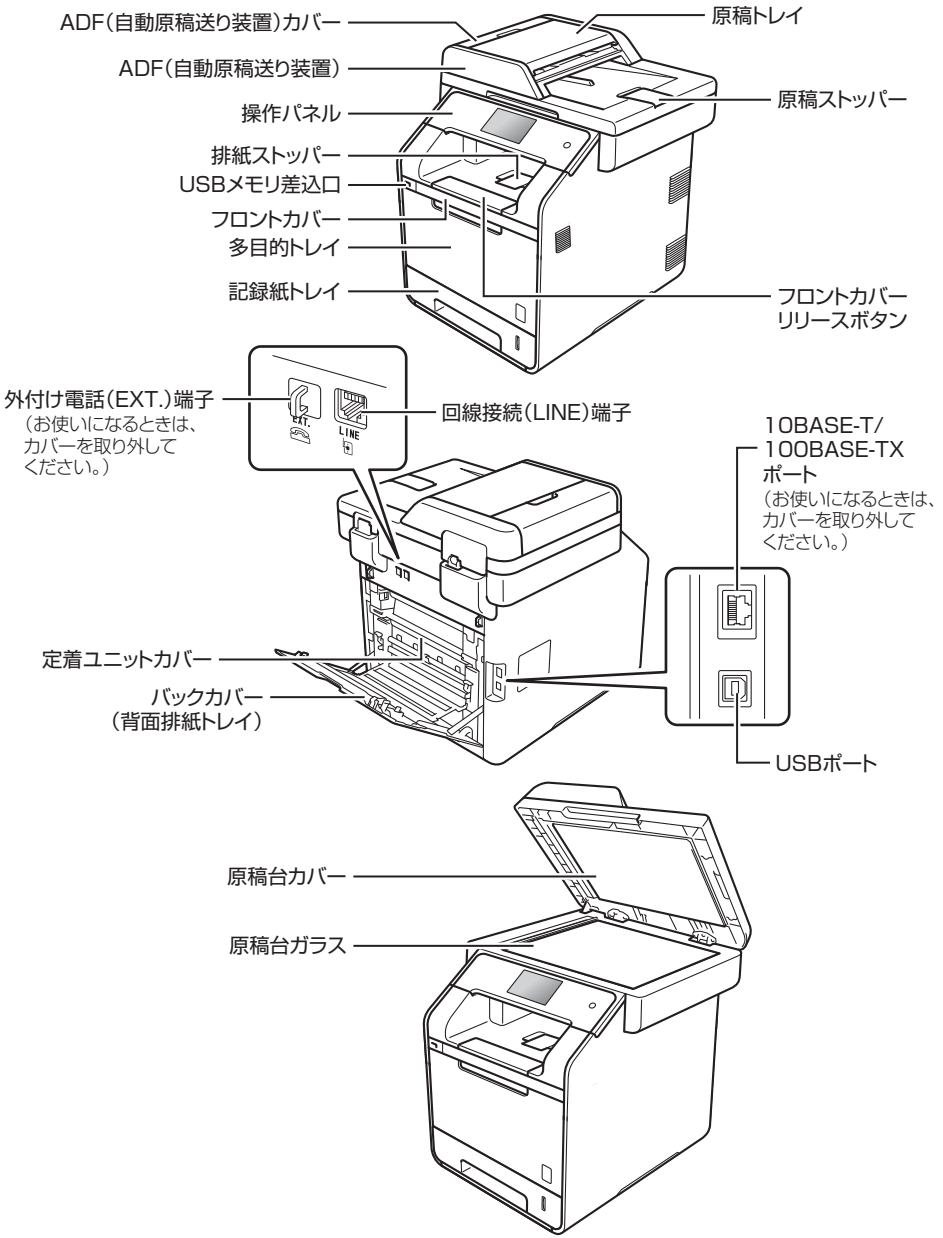
Wi-Fiランプ

本製品が無線LANアクセスポイントに接続していると点灯します。

電源ボタン

電源をオン/オフするときに押します。
⇒25ページ「電源について」

各部の名称


ADF（自動原稿送り装置）カバー
ADF（自動原稿送り装置）
操作パネル
排紙ストッパー
USBメモリ差込口
フロントカバー
多目的トレイ
記録紙トレイ
原稿トレイ
原稿ストッパー
フロントカバー
リリースボタン
外付け電話（EXT.）端子
（お使いになるときは、
カバーを取り外して
ください。）
回線接続（LINE）端子
EXT.
LINE
10BASE-T/
100BASE-TX
ポート
（お使いになるときは、
カバーを取り外して
ください。）
定着ユニットカバー
バックカバー
（背面排紙トレイ）
USBポート
原稿台カバー
原稿台ガラス

タッチパネル操作の基本

待ち受け画面

本製品には「基本」、「便利な機能1～2」の2タイプ3画面の待ち受け画面が用意されています。画面上の【◀】、【▶】を押すか、画面を左右にフリックすると2タイプ3画面の待ち受け画面を自由に移動できます。⇒23ページ「ホーム画面を選ぶ」を参照してください。

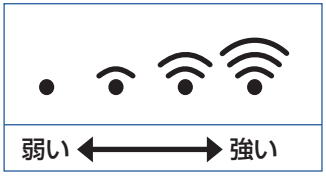


① **モードボタン**
ファクス/コピー/スキャンの各モードに切り替えます。

② **待ち受けの種類**
現在の待ち受けが、基本/便利な機能1/便利な機能2のいずれの画面であるかを示します。画面下の表示（○●●）でもいくつ目の画面かが分かるようになっています。

③ **日時表示**
現在の日時が表示されます。

④ **無線LAN電波状態表示/Wi-Fi設定ボタン**
無線LAN接続時に電波強度を4段階で表示します。



WiFi が表示されているとき、WiFi を押すと簡単に無線LAN接続の設定をすることができます。詳しくは、⇒「ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク」を参照してください。

⑤ **トナー残量表示/トナーメニューボタン**
ブラック、シアン、マゼンタ、イエローの各トナーについてそれぞれ残量の目安が表示されます。
トナーメニューを表示するときに押します。

補足
表示はあくまで目安であり、印刷する文書やデータ、お客様の使用状況により減り方は異なります。

⑥ **メニューボタン**
メニューを表示させるときに押します。メニュー画面の詳細は⇒22ページ「メニュー」を参照してください。

⑦ お気に入り **お気に入りボタン**
よく使う機能やこだわりの設定内容を登録してワンタッチで呼び出せるようにします。
「お気に入り1～8」には、よく使う機能やこだわりの設定内容を、1画面につき6件まで登録することができます。



⇒25ページ「お気に入りを登録する」
⇒30ページ「登録したお気に入りを呼び出す」

⑧ 便利な機能

	セキュリティ印刷メニューを表示します。
	クラウド機能のウェブサービスに接続するときに押します。 ⇒「クラウド接続ガイド」を参照してください。
	お役立ちツール（アプリ）に接続するときに押します。 ⇒「クラウド接続ガイド」を参照してください。
	スキャン to USB機能またはUSBダイレクトプリント機能を使用するときに押します。USBメモリをセットしてください。

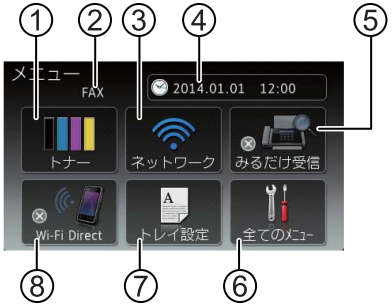
⑨ 新着ファクス件数/メッセージ表示

待ち受け画面のタイプに関わらず、ファクスを受信したり、エラーが発生するとこの位置にアイコンとともにメッセージが表示されます。

	みるだけ受信やメモリ保持など、ファクスをメモリに保存する設定にしている場合に、ファクスを受信すると新着ファクスの件数が表示されます。
	エラーが発生した場合は、メッセージを表示してお知らせします。メッセージ右側の【詳細】を押すと現在の状態や、保守手順を表示します。 ⇒129ページ「画面にエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）」の手順に従って操作、保守を行ってください。  を押すと待ち受け画面に戻ります。

メニュー

待ち受け画面の を押すと表示されるメニューです。



① トナー残量表示/トナーメニューボタン

ブラック、シアン、マゼンタ、イエローの各トナーについてそれぞれ残量の目安が表示されます。
押すと下記のトナーメニューが表示されます。

- トナー残量
- テストプリント
- 色補正
- 色ずれ補正

補足

表示はあくまで目安であり、印刷する文書やデータ、お客様の使用状況により減り方は異なります。

② 受信モード

現在の受信モードを表示します。

- FAX=ファクス専用
- F/T=自動切換え
- 留守=外付け留守電
- TEL=電話

③ ネットワークボタン

ネットワーク設定をするときに押します。
無線LAN接続しているときは、電波状態を4段階で表示します。有線LAN接続しているときは、LANケーブルのアイコンを表示します。

④ 日時表示/時計セットボタン

現在の日時が表示されます。押すと時計セットメニューが表示されます。
⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」

⑤ みるだけ受信オン・オフ表示/みるだけ受信設定ボタン

現在のファクスの見かたが表示されます。押すとみるだけ受信のオン・オフが設定できます。

- オン（チェックマーク）：受信したファクスは印刷されず、画面上で確認します。
- オフ（×マーク）：受信したファクスは印刷されます。

⑥ 全てのメニューボタン

本製品を使用する上で必要な、さまざまな設定メニューの入り口です。以下の8つに分類された項目のボタンから各種の設定を行います。

- 基本設定
- お気に入り設定
- ファクス
- プリンター
- ネットワーク
- レポート印刷
- 製品情報
- 初期設定

⇒178ページ「機能一覧」

⑦ トレイ設定ボタン

押すと記録紙タイプと記録紙サイズの設定画面が表示されます。

⑧ Wi-Fi Directボタン

現在のWi-Fi Direct™の設定が表示されます。
（チェックマーク：有効、×マーク：無効）
押すとWi-Fi Directの設定画面が表示されます。

補足

- 本製品は、ARPHIC TECHNOLOGY CO.,LTD.製のフォントを採用しております。
- 本製品には株式会社エイチアイの　MascotCapsule® UI FrameworkとMascotCapsule Tangibletが使用されています。
  MascotCapsuleは、株式会社エイチアイの日本における登録商標です。

MASCOT CAPSULE®

ホーム画面を選ぶ

【基本】、【便利な機能1】、【便利な機能2】の中から最も使う画面を選んで設定し、これをホーム画面とします。設定後は⌂を押したり、無操作で時間が経過すると、ここで選んだホーム画面に戻ります。

1 🔧を押す

2 【全てのメニュー】を押す

3 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して、画面をスクロールし、【基本設定】を押す

4 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して、画面をスクロールし、【ボタン設定】を押す

5 【ホームボタン設定】を押す

6 設定する待ち受け画面を選ぶ

【基本/便利な機能1/便利な機能2】から選択します。
お気に入りへの登録方法は⇒25ページ「お気に入りを登録する」を参照してください。

7 ⌂を押して設定を終了する

設定したホーム画面が表示されます。

画面の操作方法

画面に表示された項目やアイコンを押して操作します。画面上に【▲】、【▼】、【◀】、【▶】が表示されているときは、これらを押した方向に画面がスクロールします。またこのとき、指を画面上ですべらせるように動かしてスクロールさせることもできます。この画面上で指をすべらせる動作のことを「フリック」といいます。

注意

タッチパネルは先のとがったもので押さないでください。タッチパネルが損傷する恐れがあります。

◀/▶を押してスクロールする。



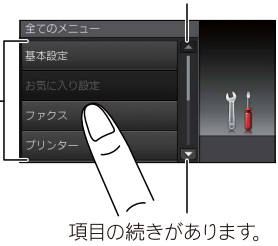
または

フリックしてスクロールする。



項目のボタンを押すと次の画面が表示されます。

灰色表示は、続きがないことを示します。



項目の続きがあります。



ボタンを押すと設定が有効になります。



キーボードを押して入力します。

入力値を確定します。

補足

フリック操作を行うときは、指が画面に触れた状態で、ゆっくりスライドさせてください。

操作例

【基本設定】の【画面の明るさ】の設定方法を例に説明します。

1 を押す

補足

操作パネル上の を押すと、1つ前の画面に戻すことができます。

2 【全てのメニュー】を押す



メニュー画面が表示されます。

3 【基本設定】を押す



次の階層が表示されます。

4 【画面の設定】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して、画面をスクロールさせます。

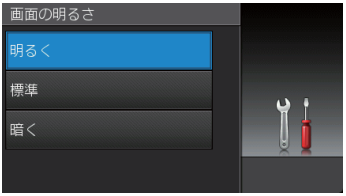


次の階層が表示されます。

5 【画面の明るさ】を押す



6 希望の明るさを押す



ボタンを押すと、その明るさに画面が変わります。

7 を押して設定を終了する

電源について

を押すと、本製品の電源をオン/オフできます。電源をオフすることで、本製品を使用しないときの消費電力を抑えることができます。
本製品の電源がオフの場合でも、電話機コードが接続されていれば、外付け電話機での通話は可能です。

電源をオンにする

1 **を押す**

電源をオフにする

1 **を2秒以上押す**

画面に【電源をオフにします オフ後はファクスが使用できなくなります】と表示され、電源がオフになります。

お気に入りを登録する

ファクスやコピー、スキャン、クラウド、お役立ちツール機能など、よく使用する機能をお気に入りとして設定することができます。簡単にすばやく設定を呼び出して適用できます。お気に入りは48項目まで登録可能です。

コピー機能をお気に入りに登録する

コピー機能の設定条件をお気に入りに登録できます。

- コピー画質
- 拡大/縮小
- コピー濃度
- コントラスト
- スタック/ソート
- レイアウト コピー
- カラー調整
- 両面コピー
- 両面レイアウトコピー
- トレイ選択
- 地色除去コピー

1 お気に入り **を押す**

2 **1～8のタブを押す**

各タブにお気に入りを追加できます。

3 **未登録の を押す**

4 **【コピー】を押す**

5 **表示されるメッセージを確認し、【OK】を押す**

6 **上下にフリック、または【▲】/【▼】を押し、コピー種類を選択する**

7 **上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して設定項目を表示し、設定したい項目を押す**

8 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して表示されるオプションから、設定したいオプションを押す

お気に入りに登録したいメニューを全て設定変更するまで、手順7と手順8を繰り返します。

9 設定変更が完了したら【お気に入り登録】を押す

10 表示される設定を確認し、【OK】を押す

11 お気に入り名を入力し、【OK】を押す

を押してすでに付いている名前（お気に入り01など）は消すことができます。
⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」を参照してください。

12 【OK】を押し、登録を終了する

ファクス機能をお気に入りに登録する

ファクス機能の設定条件をお気に入りに登録できます。

- 送信先
- ファクス画質
- 両面ファクス
- 原稿濃度
- 同報送信
- リアルタイム送信
- 送付書設定
- 海外送信モード
- 原稿台スキャンサイズ

1 お気に入り を押す

2 1～8のタブを押す

各タブにお気に入りを追加できます。

3 未登録の を押す

4 【ファクス】を押す

5 表示されるメッセージを確認し、【OK】を押す

6 ダイヤルボタンまたは【電話帳】、【履歴】で相手先のファクス番号を入力する

設定条件を変更しない場合は、⇒手順10へ

補足

- ファクス番号は20桁まで入力可能です。
- お気に入りで複数の宛先を入力するときは、手順６でファクス番号を入力する前に、【設定変更】を押して手順8で【同報送信】を押してください。
- お気に入りの同報送信機能では最大20件の宛先を設定できます。電話帳に登録されている宛先、グループ宛先や直接入力宛先を組み合わせることができます。
- お気に入りに登録したファクス番号は、自動的に電話帳に登録されます。お気に入り画面の名前に連番を加えた名前が電話帳に登録されます。

7 【設定変更】を押す

8 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して設定項目を表示し、設定したい項目を押す

9 設定したいオプションを押す

お気に入りに登録したいメニューを全て設定変更するまで、手順8と手順9を繰り返し、【OK】を押します。

10 設定変更が完了したら【お気に入り登録】を押す

11 表示される設定を確認し、【OK】を押す

12 お気に入り名を入力し、【OK】を押す

を押してすでに付いている名前（お気に入り01など）は消すことができます。
⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」を参照してください。

13 ヨミガナを入力し、【OK】を押す

を押してすでに付いているヨミガナ（オキニイリ01など）は消すことができます。
⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」を参照してください。

14 【OK】を押し、登録を終了する

スキャン機能をお気に入りに登録する

スキャン機能の設定条件をお気に入りに登録できます。
【USBメモリ】
- 両面スキャン
- カラー設定
- 解像度
- ファイル形式
- 原稿台スキャンサイズ
- ファイル名
- ファイルサイズ
- 地色除去

【Eメール送信】
（MFC-L8650CDWは、インターネットファクスのダウンロードが必要です。）
- 送信先
- 両面スキャン
- カラー設定
- 解像度
- ファイル形式
- 原稿台スキャンサイズ
- ファイルサイズ

【OCR/ファイル/イメージ/Eメール添付】
- PC名

【FTP/SFTPサーバー /ネットワーク】
- プロファイル名

1 お気に入り を押す

2 1～8のタブを押す

各タブにお気に入りを追加できます。

3 未登録の を押す

4 【スキャン】を押す

5 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押してスキャンメニューを表示し、設定したいスキャンメニューを押す

6 表示されるメッセージを確認し、【OK】を押す

7 選んだスキャンメニューに応じた項目を設定する

- 【USBメモリ】のとき：
  ⇒手順10へ
- 【Eメール送信】のとき：
  ⇒手順8へ
- 【OCR/ファイル/イメージ/Eメール添付】のとき：
  ⇒手順9へ
- 【FTP/SFTPサーバー/ネットワーク】のとき：
  プロファイル名を選び、【OK】を押します。
  ⇒手順15へ

補足
FTP/SFTPサーバー/ネットワークをお気に入りに登録するときは、事前にプロファイルの登録が必要です。

8 【電話帳】または【手動入力】で相手先のEメールアドレスを入力し、【OK】を押す

文字の入力については、⇒ユーザーズガイド応用編「文字を入力する」を参照してください。
表示される設定を確認し、【OK】を押します。
⇒手順10へ

補足
【確認】を押すと、入力したEメールアドレスを確認することができます。

9 以下のいずれかの操作をする

- USB接続でPCと接続しているとき：
  接続しているPC名が選ばれていることを確認し、【OK】を押します。⇒手順15へ
- ネットワークに接続しているとき：
  上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して表示されるPC名から、接続しているPC名を押します。表示される設定を確認し、【OK】を押します。⇒手順15へ

10 【設定変更】を押す

11 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して設定項目を表示し、設定したい項目を押す

12 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して表示されるオプションから、設定したいオプションを押す

お気に入りに登録したいメニューを全て設定変更するまで手順11と手順12を繰り返し、【OK】を押します。

13 設定変更が完了したら【お気に入り登録】を押す

選択した設定変更するときは手順10に戻ります。

14 表示される設定を確認し、【OK】を押す

15 お気に入り名を入力し、【OK】を押す

を押してすでに付いている名前（お気に入り01など）は消すことができます。
⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」を参照してください。

16 【OK】を押し、登録を終了する

クラウド機能をお気に入りに登録する

クラウド機能の下記のサービスをお気に入りに登録できます。
- SkyDrive®
- Box
- Picasa Web Albums™
- Google Drive™
- Flickr®
- Facebook
- Evernote®
- Dropbox

補足

- クラウド機能のサービス名は、本書の作成後に変更されることがあります。
- クラウド機能をお気に入り登録するには、あらかじめご利用になるサービスのアカウントを登録しておく必要があります。⇒「クラウド接続ガイド」を参照してください。(「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。)

1 お気に入り を押す

2 1～8のタブを押す

各タブにお気に入りを追加できます。

3 未登録の ＋ を押す

4 【クラウド】を押す

5 インターネット接続についてのメッセージを確認し、【OK】を押す

6 クラウドサービスを選ぶ

メニューが表示されていないときは左右にフリック、または【◀】/【▶】を押して、画面をスクロールさせます。

7 アカウントを選択する

アカウントがPINコードを必要とする場合は、PINコードも設定してください。また、選んだサービスによっては、更にアップロードやダウンロードを選択する必要があります。画面の指示に従って設定してください。

8 選択した機能の一覧を確認し、【OK】を押す

9 お気に入り名を入力し、【OK】を押す

⌫ を押してすでに付いている名前（お気に入り01など）は消すことができます。
⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」を参照してください。

10 【OK】を押し、登録を終了する

お役立ちツール機能をお気に入りに登録する

お役立ちツール機能の下記のアプリをお気に入りに登録できます。
- 手書きトリミングスキャン
- 手書きトリミングコピー
- 折りメモ

補足

お役立ちツールのアプリ名は、本書の作成後に変更されることがあります。

1 お気に入り を押す

2 1～8のタブを押す

各タブにお気に入りを追加できます。

3 未登録の ＋ を押す

4 【お役立ちツール】を押す

5 インターネット接続についてのメッセージを確認し、【OK】を押す

6 アプリを選ぶ

メニューが表示されていないときは左右にフリック、または【◀】/【▶】を押して、画面をスクロールさせます。

7 アカウントを選択する

アカウントがPINコードを必要とする場合は、PINコードも設定してください。また、選んだサービスによっては、更にアップロードやダウンロードを選択する必要があります。画面の指示に従って設定してください。

8 選択した機能の一覧を確認し、【OK】を押す

9 お気に入り名を入力し、【OK】を押す

⌫ を押してすでに付いている名前（お気に入り01など）は消すことができます。
⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」を参照してください。

10 【OK】を押し、登録を終了する

登録したお気に入りを呼び出す

1 お気に入り を押す

2 呼び出したいお気に入りを押す

画面に設定条件が表示されます。
コピーの場合は、【モノクロ　スタート】または【カラー　スタート】を押すと機能を実行できます。
ファクス、スキャンの場合は、【スタート】を押すと機能を実行できます。
クラウド、お役立ちツールの場合は、【OK】を押すと機能を実行できます。

お気に入りを編集する

お気に入りの設定内容を変更する

登録したお気に入りの設定内容を変更できます。

補足

クラウド、お役立ちツールのお気に入りは変更できません。変更するときは、いったんお気に入りから削除して、新しいお気に入りとして登録してください。（詳しくは⇒25ページ「お気に入りを登録する」を参照してください。）

1 お気に入り を押す

2 変更したいお気に入りを押す

3 設定条件を変更する

機能により変更画面が異なります。
⇒25ページ「お気に入りを登録する」を参照してください。

4 設定の変更が完了したら【お気に入り登録】を押す

5 【OK】を押す

6 【はい（上書き）】を押す

【いいえ（新規作成）】を押すと、条件を変更した設定で新たにお気に入りを登録します。
登録名も変更する場合は、を長押しして現在の名前を消去し、新しい名前を入力して【OK】を押します。

7 【OK】を押し、変更を終了する

お気に入りの登録名を変更する

1 お気に入り を押す

2 を押す

3 名前を編集したいお気に入りを押す

補足

→【全てのメニュー】→【お気に入り設定】→名前を編集するお気に入りを順に押しても設定できます。

4 【お気に入り名の編集】を押す

5 お気に入り名を再入力し、【OK】を押す

を長押しすると、現在の名前は一度に消去されます。
文字の入力については、⇒ユーザーズガイド応用編「文字を入力する」を参照してください。

6 ヨミガナ入力画面が表示されたときは、ヨミガナを再入力し、【OK】を押す

登録したお気に入りを削除する

1 お気に入り を押す

2 を押す

3 削除したいお気に入りを押す

補足

→【全てのメニュー】→【お気に入り設定】→削除するお気に入りを順に押しても設定できます。

4 【消去】を選ぶ

5 【はい】を押し、削除を終了する

電話回線のこと

自動で回線種別を設定する

電話機コードを接続してから電源コードを接続してください。
本製品は回線種別の自動設定を行います。回線種別の自動設定が行われた後、画面には以下のいずれかが表示されます。

プッシュ回線です　：プッシュ回線に設定されたとき

ダイヤル 20PPSです：ダイヤル回線（20PPS）に設定されたとき

補足

- 【設定できませんでした】と表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。
  電話機コードを接続しない場合は、✕を押してください。【中止します　よろしいですか？】が表示されますので、【はい】を押してください。
- 電話機コードを接続せずにコピーやスキャンなどの機能だけを利用される場合、手動で回線種別を設定してください。どの回線種別を選択しても構いません。
  手動で回線種別を設定する場合は⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。

回線状態を確認する

本製品が現在の回線状態を診断し、結果をレポートに印刷します。

1　記録紙を記録紙トレイにセットする

⇒37ページ「記録紙トレイに記録紙をセットする」を参照してください。

2　→【全てのメニュー】→【ファクス】→【電話回線診断】を押す

【電話回線の接続状況を診断し 結果を印刷します
診断を開始しますか?】と表示されます。

3　【はい】を押す

回線診断が始まります。診断は、回線接続→外付電話接続→ダイヤルトーン→回線種別の順に行われます。診断が終わると、電話回線診断レポートが印刷されます。

次世代ネットワーク（NGN）に接続する場合

次世代ネットワーク（NGN）とは、電話やインターネット、放送など、目的ごとに異なるさまざまなネットワークを、IP技術を用いて統合した新しい情報通信ネットワークです。この次世代ネットワーク（NGN）を通じてのみ、IPファクスが利用できます。

補足

- 次世代ネットワーク（NGN）に接続するには、NTTのフレッツ光ネクストに契約のうえ、専用のホームゲートウェイを設置する必要があります。
- 次世代ネットワーク（NGN）についてのご質問は、NTTにお問い合わせください。
- ホームゲートウェイに設定するデータは、NTTから送付される資料をご覧ください。
- ホームゲートウェイの接続方法や不具合は、NTTにお問い合わせください。
- お住まいの環境により、配線方法や接続する機器が異なる場合があります。

リサイクル・廃棄のこと

消耗品の回収リサイクルについて

弊社では環境保護に対する取り組みの一環として消耗品のリサイクルに取り組んでおります。使い終わりました消耗品の回収にご協力をお願いいたします。
詳しくは以下のホームページを参照してください。
http://brother.jp/product/support_info/printer/recycle/index.htm

回収対象となる消耗品
・トナーカートリッジ　・ドラムユニット　・ベルトユニット　・廃トナーボックス



本製品の廃棄について

本製品を廃棄する場合は、使用される環境により処理方法が異なります。
事業所　：産業廃棄物処理業者に委託してください。またはブラザーホームページを参照してください。
一般家庭：小型家電リサイクル法に基づいて収集を実施している市町村にお住まいの方は、「小型家電回収市町村マーク」を表示している市町村の窓口や、「小型家電認定事業者マーク」を表示している事業者に引き渡してください。また、市町村の小型家電リサイクルの対象となっていない家電製品については、従来どおり、お住まいの市町村の廃棄方法に従って廃棄してください。
対象品目や回収方法に関する詳しい情報は、お住まいの市町村におたずねください。

2 まずは使ってみましょう

記録紙の基本

記録紙セットの流れ

基本的な記録紙のセットの流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1　セットできるトレイと記録紙を確認する

トレイの場所やセットできる記録紙の種類などを確認して、記録紙を準備します。

⇒35ページ「セットできる記録紙」、⇒36ページ「使用できない記録紙」

▼

STEP 2　記録紙をセットする

記録紙トレイまたは多目的トレイに記録紙をセットします。正しくセットされていない場合、紙づまりや故障の原因になりますので、十分にご注意ください。

⇒37ページ「記録紙トレイに記録紙をセットする」、⇒39ページ「多目的トレイに記録紙をセットする」

▼

STEP 3　セットした記録紙に合わせて本体の設定を変更する（必要に応じて）

本体で設定されている記録紙の種類やサイズ（お買い上げ時は【普通紙】【A4】）と実際にセットした記録紙の種類やサイズを合わせるため、必要に応じて本体の設定を変更します。

設定した内容は次に変更するまで保存されるので、セットした記録紙と本体の設定内容が合っているかを必要に応じて確認してください。

⇒43ページ「セットした記録紙に合わせて本体の設定を変更する」

セットできる記録紙

本製品では、以下の表に記載されている種類、サイズ、枚数の記録紙をセットできます。また、記録紙トレイと多目的トレイの他に、オプションの増設記録紙トレイ（LT-320CL/LT-325CL）を増設することにより、最大800枚（80g/m^{2}の普通紙の場合）セットできます。

トレイ名称	記録紙の種類	記録紙のサイズ	枚数
標準記録紙トレイ（トレイ1）	普通紙、普通紙（厚め）（60g/m^2～105g/m^2） 再生紙 ハガキ※1	A4 USレター B5（JIS） A5 A5（横置き） B6（JIS） A6 ハガキ（同等品）	250枚（80g/m^2） 30枚（ハガキ）
多目的トレイ	普通紙、普通紙（厚め）（60g/m^2～105g/m^2） 厚紙、超厚紙（105g/m^2～163g/m^2） 再生紙 ラベル紙 封筒※2 ハガキ※2 光沢紙	ユーザー定義サイズ（幅76.2～215.9mm、長さ127.0～355.6mm）	50枚（80g/m^2） 10枚（ハガキ） 3枚（封筒） 1枚（光沢紙）
増設記録紙トレイ（トレイ2）	普通紙、普通紙（厚め）（60g/m^2～105g/m^2） 再生紙	A4 USレター B5（JIS） A5 B6（JIS）	500枚（80g/m^2）

※1 ：⇒ 39 ページ「ハガキに印刷する場合」を参照してください。
※2 ：⇒ 40 ページ「封筒、厚紙、超厚紙、ラベル紙、ハガキに印刷する場合」を参照してください。

補足

- 宛名ラベルは、レーザープリンター用の物をお使いください。
- 印刷品質を得るために、たて目用紙を使用することをおすすめします。
- 受信したファクスはA4サイズで印刷してください。
- 特殊なサイズや種類の記録紙を使用する場合は、最初に印字テストを行ってください。
- 上面排紙トレイに一度に排紙できる枚数は普通紙（80g/m^{2}紙）の場合、約150枚です。

使用できない記録紙

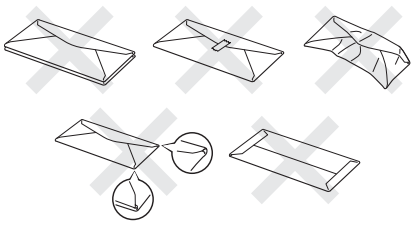
！ 重要

次のような記録紙は絶対に使用しないでください。印刷品質の低下と本製品にダメージを与えるおそれがあります。これらの紙を使用した結果、生じた製品の故障・破損については保証またはサービス契約対象外となりますので、ご注意ください。

使用できない記録紙

- インクジェット紙
- ノーカーボン紙
- 化学紙（ラミネート紙など）
- ミシン目の入った記録紙
- 極端に滑らかな記録紙
- 極端にざらつきのある記録紙
- 極端に薄い記録紙
- カールしている記録紙
  カールしている場合は、まっすぐにしてからご使用ください。カールしたままの記録紙をご使用になりますと、紙づまりなどの原因になります。
- 折り目やしわのある記録紙
- ホチキスや付箋の付いている記録紙
- 指定された坪量を超える記録紙
- 穴のあいた記録紙（ルーズリーフなど）
- 酸性、アルカリ性の記録紙
  中性紙をお使いください。
- よこ目用紙
  紙づまりや複数枚の記録紙が一度に送られる原因になります。
- 湿っている記録紙や印刷済みの記録紙
  紙づまりや故障の原因になります。
- OHPフィルム
- アイロン転写用紙

使用できない封筒



下記のような封筒は使用しないでください。
- 破れ、反り、しわのある封筒
- 極端に光沢のある封筒、表面がすべりやすい封筒
- 留め金、スナップ、ひもなどが付いた封筒
- 粘着加工を施した封筒
- 袋状加工の封筒
- 折り目がしっかりついていない封筒
- エンボス加工の封筒
- レーザープリンターで一度印刷された封筒
- 内部が印刷された封筒
- 一定に積み重ねられない封筒
- 本製品の印刷可能用紙坪量指定を超える用紙で製造されている封筒
- 作りが不良で、端部がまっすぐでなかったり、一貫して四角になっていない封筒
- 透明な窓付、穴付、くりぬき付、ミシン目付などの封筒
- タテ形（和形）の封筒

注意

■いろいろな種類の封筒を同時にセットしないでください。紙づまりや給紙ミスを起こすおそれがあります。

■正しく印刷するには、アプリケーションソフトでの用紙サイズの設定とトレイにセットされた記録紙のサイズの設定を同じにしてください。

ほとんどの封筒には印刷できますが、封筒の仕上がりによっては、給紙や印刷品質に問題が起こる場合があります。レーザープリンター用の高品質の封筒を購入してください。
たくさんの封筒を購入する前に、必ず少部数を印刷して正しく印刷されることを確認してから購入してください。

補足

特に推奨する封筒のメーカーはありません。⇒36ページ「使用できない封筒」以外の印刷に適した封筒をお選びください。

記録紙トレイに記録紙をセットする

！重要

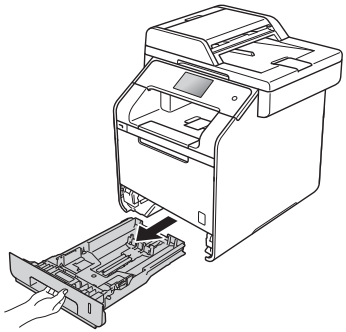
記録紙ガイドが記録紙のサイズに正しくセットされていることを確認してください。正しくセットされていないと、印刷時にトレイ内で記録紙がずれ、故障の原因になります。

注意

■記録紙は数回に分けて入れてください。一度にたくさん入れると紙づまりや給紙ミスの原因になります。

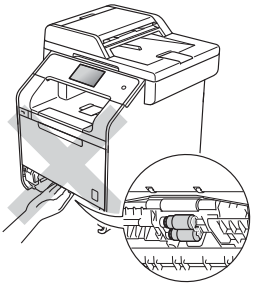
■種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。

1 記録紙トレイを本製品から完全に引き出す



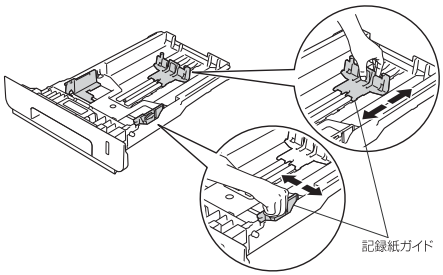
注意

給紙ローラーの部分（イラストのグレー部）に手が触れないようにしてください。給紙ローラーが高速で回り、けがをするおそれがあります。



2 青色の記録紙ガイドをつまみながらスライドさせて、使用する記録紙の表示位置に合わせる

青色の記録紙ガイドが固定され動かないことを確認してください。

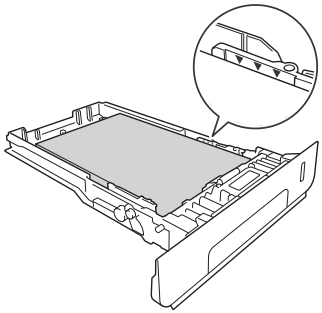


3 紙づまりや給紙ミスを防ぐため、記録紙をよくさばく



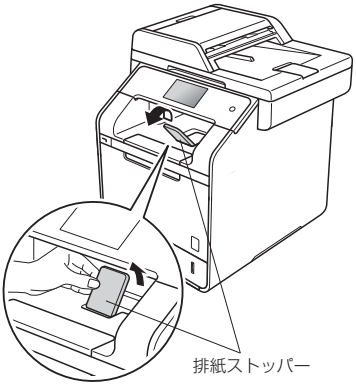
4 印字面を下にして記録紙トレイに記録紙を入れる

- 記録紙がトレイの中で平らになっていること、▼▼▼マークより下の位置にあることを確認してください。
- 記録紙ガイドとセットした記録紙サイズがしっかりと合っていることを確認してください。



5 記録紙トレイを本製品に戻す

6 排紙ストッパーを開く



注意

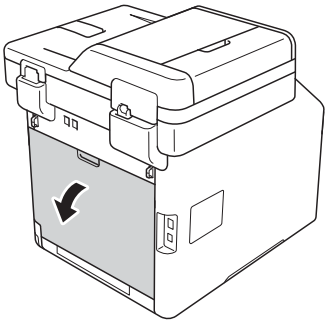
印刷された記録紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように排紙ストッパーを開いてください。

7 印刷する

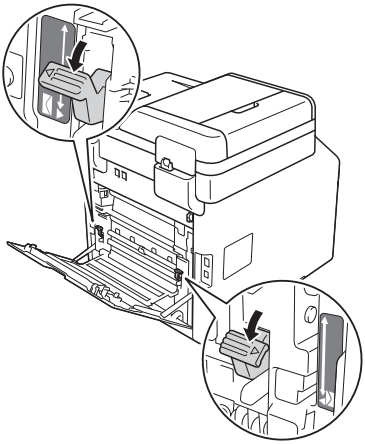
プリントデータを本製品に送信します。

ハガキに印刷する場合

1 バックカバー（背面排紙トレイ）を開ける



2 灰色のレバーを手前に引いて◀/▶マークを✉マークに合わせる



3 印刷が終わったら、バックカバー（背面排紙トレイ）を閉じる

印刷が終わったら灰色のレバーを元の位置まで戻してください。

補足

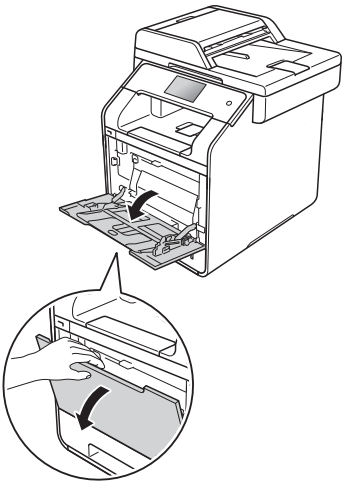
紙づまりしないように、印刷された記録紙をすぐに取り出してください。

多目的トレイに記録紙をセットする

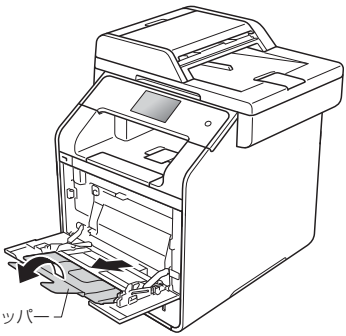
厚紙、超厚紙、ラベル紙、封筒、光沢紙は、多目的トレイにセットしてください。

普通紙、普通紙（厚め）、再生紙、光沢紙に印刷する場合

1 多目的トレイを開ける

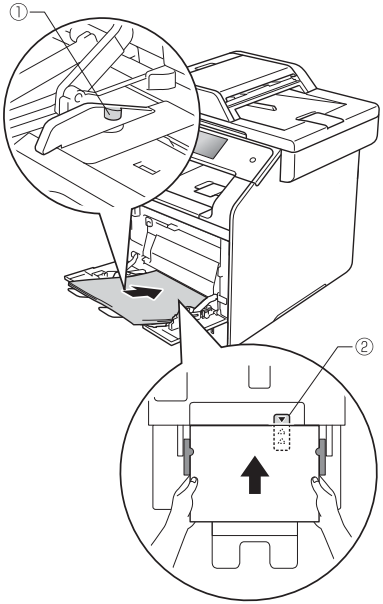


2 用紙ストッパーを引き出し、開く



3 印字面を上にして記録紙を入れる

用紙ガイドをつまみながらスライドさせ、使用する記録紙サイズに合わせます。



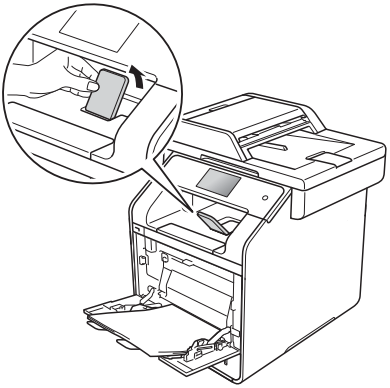
補足

- 記録紙は用紙ガイドの両側にあるタブ①より下に収まるように入れてください。記録紙をタブ①より上になるように収めると、紙づまりを起こすおそれがあります。
- 用紙の先端を▼と▲マークの間②の位置に合わせてください。
- 光沢紙の場合は、紙づまり防止のために一枚ずつ入れてください。

注意

記録紙は正しい位置にまっすぐ挿入してください。正しく挿入されないと、印刷のゆがみや紙づまりの原因となります。

4 排紙ストッパーを開く



注意

印刷された用紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように排紙ストッパーを開いてください。

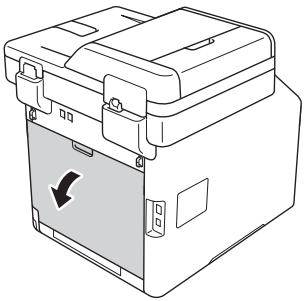
5 印刷する

プリントデータを本製品に送信します。

封筒、厚紙、超厚紙、ラベル紙、ハガキに印刷する場合

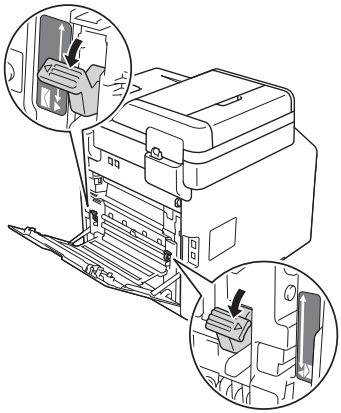
封筒、厚紙、超厚紙、ラベル紙、ハガキに印刷する場合は、印刷前に排紙場所を設定する必要があります。以下の手順に従って本製品を設定してください。

1 バックカバー（背面排紙トレイ）を開ける

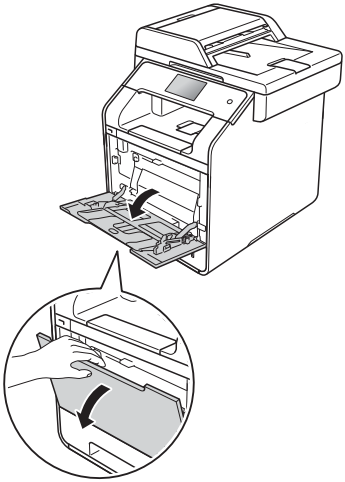


2 封筒に印刷する場合、灰色のレバーを手前に引いて◀/▶マークを✉マークに合わせる

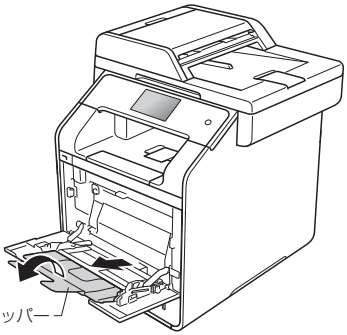
封筒以外に印刷する場合は、この手順は必要ありません。



3 多目的トレイを開ける

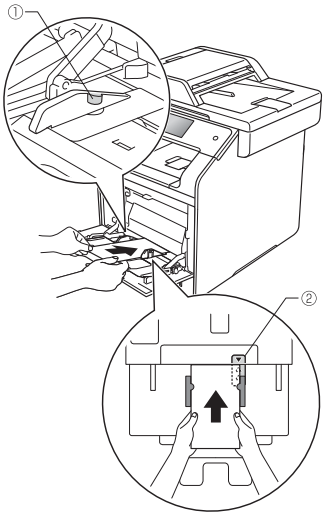


4 用紙ストッパーを引き出し、開く



5 印字面を上にして記録紙を入れる

用紙ガイドをつまみながらスライドさせ、使用する記録紙サイズに合わせます。



補足

- 記録紙は用紙ガイドの両側にあるタブ①より下に収まるように入れてください。記録紙をタブ①より上になるように収めると、紙づまりを起こすおそれがあります。
- 用紙の先端を▼と▲▲マークの間②の位置に合わせてください。
- 封筒は最大 3 枚まで、厚紙（163g/m^2 の場合）は最大25枚まで入れることができます。

注意

記録紙は正しい位置にまっすぐ挿入してください。正しく挿入されないと、印刷のゆがみや紙づまりの原因となります。

6 印刷する

プリントデータを本製品に送信します。

7 封筒に印刷した場合、灰色のレバーを元の位置に戻す

補足

紙づまりしないように、印刷後は封筒をすぐに取り出してください。

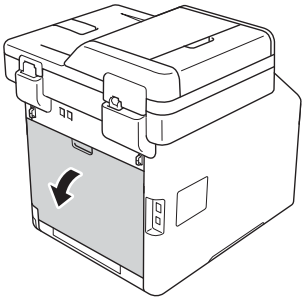
8 印刷が終わったら、バックカバー（背面排紙トレイ）を閉じる

記録紙が排出される場所

通常、記録紙は本製品前部の排紙トレイから排紙されます。

背面排紙トレイ

バックカバー（背面排紙トレイ）を開くと、多目的トレイに挿入した記録紙を曲げずに背面から取り出すことができます。



補足

紙づまりしないように、印刷後は記録紙をすぐに取り出してください。

セットした記録紙に合わせて本体の設定を変更する

記録紙トレイにセットした記録紙の種類やサイズに合わせて、本体の設定を変更します。(お買い上げ時は【普通紙】【A4】に設定されています。)
コピー機能の場合、A4/USレター /A5/A5 横置き/A6/B5(JIS)/ハガキサイズの用紙を使用できます。ファクスの印字の場合、A4/USレターサイズの用紙を使用できます。

記録紙のサイズを変更する

記録紙トレイにセットした記録紙のサイズを選択します。

1 →【トレイ設定】→【記録紙サイズ】を押す

補足
→【全てのメニュー】→【基本設定】→【記録紙トレイ設定】→【記録紙サイズ】を順に押しても設定できます。

2 記録紙トレイを選択する

補足
【記録紙トレイ #2】は、オプションの増設記録紙トレイ(LT-320CL/LT-325CL)を増設したときに表示されます。

3 記録紙サイズを選択する

【A4/US レター /B5(JIS)/B5(ISO)※1 /A5/A5 L(A5 横置き)※1※2/B6(JIS)/A6※1※2/Com-10※1/モナーク※1/C5※1/DL※1/ハガキ※1※2/
洋形 4号封筒※1/洋形定形最大封筒※1】から選択します。

※1 :記録紙トレイ選択時、多目的トレイを選択した場合。
※2 :記録紙トレイ選択時、記録紙トレイ #1 を選択した場合。

4 を押す

補足
- 適切なサイズの用紙がトレイにセットされていないとき、受信したファクスは本機のメモリに保存され、【用紙サイズが合いません】のメッセージが画面に表示されます。対処方法については⇒129ページ「画面にエラーメッセージが表示された!(エラーメッセージ一覧)」を参照してください。
- トレイに記録紙が入っていないとき、【記録紙を送れません】のメッセージが画面に表示されます。記録紙をトレイにセットしてください。

記録紙のタイプを変更する

記録紙トレイにセットした記録紙のタイプを選択します。

1 →【トレイ設定】→【記録紙タイプ】を押す

補足
→【全てのメニュー】→【基本設定】→【記録紙トレイ設定】→【記録紙タイプ】を順に押しても設定できます。

2 記録紙トレイを選択する

補足
【記録紙トレイ #2】は、オプションの増設記録紙トレイ(LT-320CL/LT-325CL)を増設したときに表示されます。

3 記録紙の種類を選択する

【普通紙/普通紙(厚め)/厚紙※1/超厚紙※1/再生紙/ラベル紙※1/封筒※1/封筒(薄め)※1/封筒(厚め)※1/ハガキ※1※2/光沢紙※1】から選択します。

※1 :記録紙トレイ選択時、多目的トレイを選択した場合。
※2 :記録紙トレイ選択時、記録紙トレイ #1 を選択した場合。

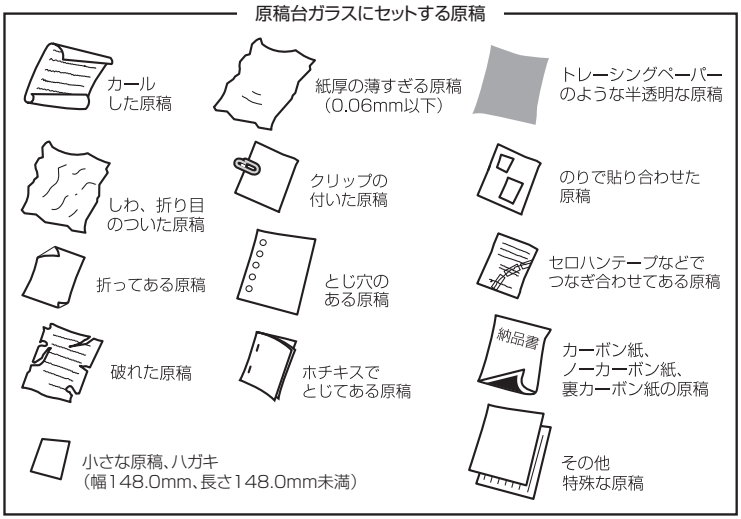
4 を押す

原稿の基本

原稿セットで注意すること

インクや修正液、のりなどが付いている原稿は、完全に乾いてからセットしてください。
ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットするときに注意することは、以下のとおりです。

- 原稿のクリップやホチキスの針は、故障の原因となりますので取り外してください。
- 異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。
- 原稿を強く押しこまないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。
- 以下のような原稿は、原稿台ガラスを使用してください。ADF（自動原稿送り装置）では、キャリアシート（市販品）はお使いになれません。



注意

コピーについて

法律によりコピーが禁じられている物があります。以下のような物のコピーには注意してください。

- 法律で禁止されている物（絶対にコピーしないでください）
  - 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債、地方債
  - 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
  - 未使用の郵便切手やハガキ（日本郵便株式会社製 通常郵便葉書）
  - 政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類
- 著作権のある物
  - 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内での使用目的以外でコピーすることは禁止されています。
- その他の注意を要する物
  - 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
  - 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類

原稿をセットする

原稿をセットするには、ADF（自動原稿送り装置）または、原稿台ガラスの2つの方法があります。原稿の種類や形状に応じてどちらかを選択してください。
セットできる原稿については、⇒44ページ「原稿セットで注意すること」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。

補足

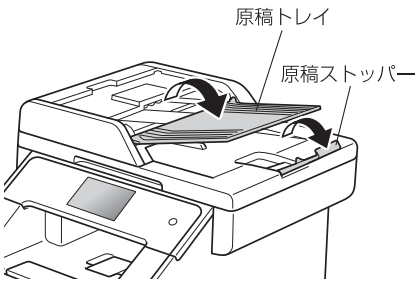
原稿台ガラスやスキャナー読み取り部が汚れていると、印刷品質に影響することがあります。原稿台ガラスやスキャナー読み取り部の清掃については、⇒83ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。

ADF（自動原稿送り装置）にセットする

原稿は、MFC-L8650CDW は一度に 35 枚まで、MFC-L9550CDWは一度に50枚まで、それぞれセットできます。
ADFで読み取ることができる原稿サイズは以下のとおりです。

- 長さ：147.3～355.6mm
- 幅：147.3～215.9mm
- 用紙坪量：64～90g/㎡

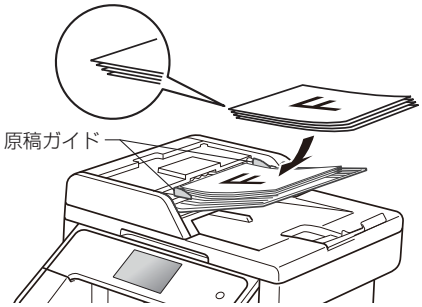
1 **原稿トレイと原稿ストッパーを開ける**



2 **紙づまりを防ぐため、原稿をよくさばく**

3 **原稿の読み取る面を上にしてイラストのように原稿の先端をずらし、原稿の先端が軽く当たり、画面に【原稿セットOK】と表示されるまで差し込む**

原稿ガイドは原稿の幅に合わせます。



原稿台ガラスにセットする

原稿は1枚ずつセットします。本または厚い原稿なども原稿台にセットします。
原稿台で読み取ることができる原稿サイズは以下のとおりです。

- 長さ：最大297.0mm（MFC-L8650CDW）
  最大355.6mm（MFC-L9550CDW）
- 幅：最大215.9mm
- 重さ：2.0kg

！重要

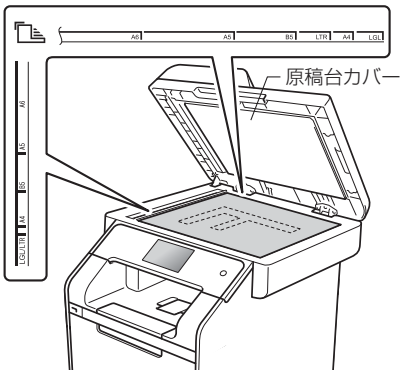
本や厚みのある原稿のときには、原稿台カバーをていねいに閉じてください。また、上からあまり強く押さないでください。

注意

原稿台カバーは必ず閉じてからファクス送信、コピー、またはスキャンをしてください。開いたままですと画像が黒くなることがあります。

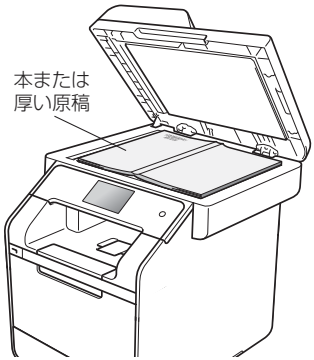
1 原稿台カバーを持ち上げる

2 原稿ガイド左奥に合わせて、原稿の読み取る面を下にセットする



3 原稿台カバーを閉じる

本や厚みのある原稿のときは、原稿台カバーを無理に閉じずに軽く押さえてください。



原稿の読み取り設定をする

使用状況に応じて原稿の読み取り設定をしてください。

原稿台スキャンサイズを設定する

原稿台ガラスからファクスやスキャンをする場合の原稿読み取りサイズを選択します。（お買い上げ時は【A4】に設定されています。）
ファクスの設定方法を例に説明します。

1 【ファクス】を押す

みるだけ受信を設定している場合は【ファクス送信】を押します。

2 【設定変更】を押す

3 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押し【原稿台スキャンサイズ】を押す

4 読み取りサイズを選択する

【USレター／A4／リーガル/フォリオ※】から選択します。

※：MFC-L9550CDW のみ

5 を押す

ファクス送信の基本

基本的なファクス送信の流れと機能を説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。
また、本製品はIPファクス※に対応しています。IPファクスを使ってファクス送信することができます。IPファクスを使ってのファクス送信の操作は、通常のファクス送信の操作と同じです。

※：IPファクスをご利用いただくには、NTTのフレッツ光ネクストに契約する必要があります。フレッツ光ネクストについてのご質問は、NTT にお問い合わせください。

ファクス送信の流れ

ファクス送信には、自動送信と手動送信があります。ここでは自動送信を例に操作の流れを説明します。
手動送信については、⇒51ページ「ファクスを手動で送信する」を参照してください。

注意

原稿台ガラスを使って複数枚の原稿を送信するときは、リアルタイム送信は【オフ】にしてください。リアルタイム送信については⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

補足

- 【メモリがいっぱいです】が表示されたときは、本製品のメモリがいっぱいです。メモリに蓄積したファクスを出力してメモリを消去してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
- メモリに読み込み可能な原稿の枚数は、ファクス画質と原稿の内容により影響を受けます。

STEP 1　原稿をセットする

原稿をセットするには次の2つの方法があります。

● ADF（自動原稿送り装置）にセットする

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続して読み取り後、ファクスできます。

● 原稿台ガラスにセットする

1枚ずつ原稿を読み取ります。本や厚みのある原稿などもファクスできます。

ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないことを確認してください。

⇒44ページ「原稿セットで注意すること」

⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

STEP 2　ファクスモードに切り替える



画面の【ファクス】を押してファクスモードに切り替えます。みるだけ受信を設定しているときは【ファクス送信】を押します。
ファクス操作を行う場合には、必ずファクスモードになっていることを確認してください。

ファクスモードに切り替えると、以下のようなファクス標準画面に切り替わります。



①	お気に入り登録	ファクス送信時、ファクス番号を入力後に【お気に入り登録】ボタンを押すと、相手先のファクス番号と設定内容をお気に入りに登録することができます。
②	電話帳	すでに登録済みの電話帳の宛先を表示させたり、検索するときに押します。新たに電話帳登録することもできます。 ⇒51ページ「電話帳を使用する」 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
③	履歴	発信履歴や着信履歴からダイヤルするときに押します。
④	スタート	現在の設定でファクス送信を開始するときに押します。
⑤	設定変更	画質や濃度などの設定を変更するときに押します。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
⑥	ファクス画質	現在設定されているファクス画質の情報が表示されます。
⑦	再ダイヤル	最後にダイヤルした相手に送信するときに押します。
⑧	オンフック	電話回線を接続/切断するときに押します。

STEP 3　ファクス送信の機能を設定する

必要に応じてファクスの送りかたを設定します。【設定変更】を押して、上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して、設定変更する機能を選択します。設定の変更が完了したら【OK】を押します。

● 送信条件

■同じ原稿を複数の相手に送信する〔同報送信〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■原稿を読み取りながら送信する〔リアルタイム送信〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■海外へ送信する〔海外送信モード〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■指定時刻に送信する〔タイマー送信〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■送付書を付けて送信する
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■IP ファクスを使ってファクス送信する
⇒ユーザーズガイド 応用編「IP ファクスの設定をする」
ただし、以下の2 つの条件を満たす必要があります。

・送信先の機器が次世代ネットワーク（NGN）に接続している
⇒ 32 ページ「次世代ネットワーク（NGN）に接続する場合」

・TCP/IP 設定の IP 取得方法が、【Auto】または【DHCP】に設定されている
⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

● 原稿読み取り

■画質
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■原稿濃度
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■原稿台ガラスの読み取りサイズ
原稿台ガラスでA4サイズの原稿を読み取るときは、必ず【原稿台スキャンサイズ】を【A4】に設定してください。
⇒46ページ「原稿の読み取り設定をする」
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■両面読み取り
両面原稿を送信するときは【両面ファクス】を押します。また、原稿の読み取り方向を設定する必要があります。
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

ポイント

複数の設定を組み合わせたいとき
設定後、他の機能を設定します。他の機能を設定しないときは、「STEP 4　宛先を指定する」に進みます。

STEP 4　宛先を指定する

● 直接入力

■ダイヤルボタンを使用する
ダイヤルボタンで相手のファクス番号を直接ダイヤルします。



● 電話帳を利用

■本製品の電話帳に宛先を登録する
⇒62ページ「電話帳の基本」

■電話帳から検索する
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■LDAP サーバー電話帳を使用する
本製品がLDAP サーバーと接続されている場合にのみ使用できます。
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

● その他

■同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

STEP 5　スタートする

● ADF（自動原稿送り装置）から送信するとき

【スタート】を押して、ファクスを開始します。
正しく原稿がセットされていない場合は、原稿台ガラスの読み取りがスタートします。

● 原稿台ガラスから送信するとき

【スタート】を押して、ファクスを開始します。

•原稿が1枚のとき
【いいえ】を押して、ファクスを開始します。

•原稿が複数枚のとき
【はい】を押して、次の原稿をセットした後【OK】を押します。
この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、【いいえ】を押して、ファクスを開始します。

ポイント

ファクス送信を途中で中止したいとき
✕ →【はい】を押します。

電話帳を使用する

ファクスモードに切り替えて【電話帳】を押した後、一覧から簡単に宛先を選ぶことができます。電話帳には最大300件登録できます。

補足

電話帳への登録のしかたは⇒63ページ「電話帳に登録する」を参照してください。

ファクスを手動で送信する

ファクスを手動で送信する場合は、【オンフック】を押して相手先の受信音を確認してから送信します。

1 **原稿をセットして、ファクスモードに切り替える**

2 **【オンフック】を押して、相手先のファクス番号を入力する**

3 **相手先の受信音（ピー）を確認して【スタート】を押す**

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、選択画面で【送信】を押します。

補足

- ファクス送信が終了すると自動的に回線は切れます。
- IPファクスの設定にかかわらず、通常のファクス送信になります。

ファクス送信を中止する

原稿の読み込みや送信を途中で中止します。

1 ✕ **→【はい】を押す**

ファクス受信の基本

ファクス受信の流れ

受信モードの設定の流れを説明します。受信モードを設定すると、電話モード以外では自動的にファクスを受信します。ここでは、受信したファクスを自動的に本製品の記録紙で印刷する自動受信を例に操作の流れを説明します。他に本製品のメモリで受信するメモリ受信、受信操作を自分で行う手動受信、本製品に接続されている電話機を使用して受信操作を行うリモート受信などさまざまな受信方法があります。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

補足

ファクス受信に使用できる記録紙のサイズは、A4、USレターです。

STEP 1　受信モードを選ぶ

本製品の受信モードには以下①～④の４種類があります。

使用目的に応じて、受信モードを選択します。

⇒53ページ「受信モードの種類」

● お使いの電話機を本製品と接続しない場合

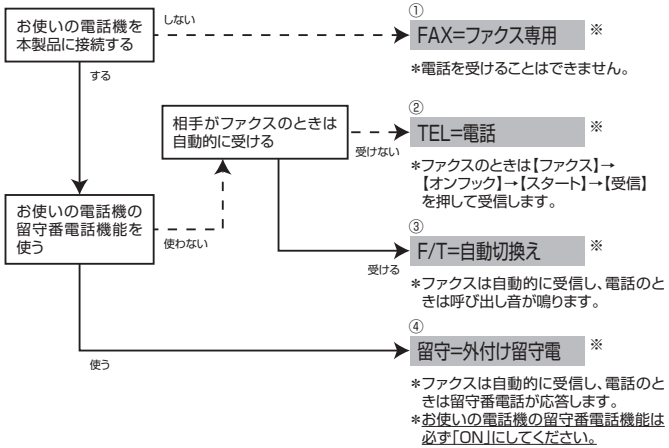
① ファクス専用モード

● お使いの電話機を本製品と接続する場合

② 電話モード

③ 自動切換えモード

④ 外付け留守電モード



※：受信モード設定時、画面に表示される選択項目です。

STEP 2　受信モードを設定する

STEP 1で選択したモードに合わせて、本体を設定します。

⇒57ページ「受信モードを設定する」

STEP 3　受信するファクスの印刷方法を設定する（必要に応じて）

必要に応じて、ファクスの印刷方法を設定します。

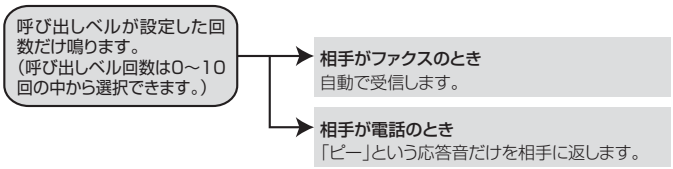
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」

■自動的に縮小して印刷する
■受信スタンプを設定する
■受信したファクスを両面印刷する

受信モードの種類

ファクス専用モード

本製品をファクス専用として使用するモードです。お買い上げ時はこのモードに設定されています。

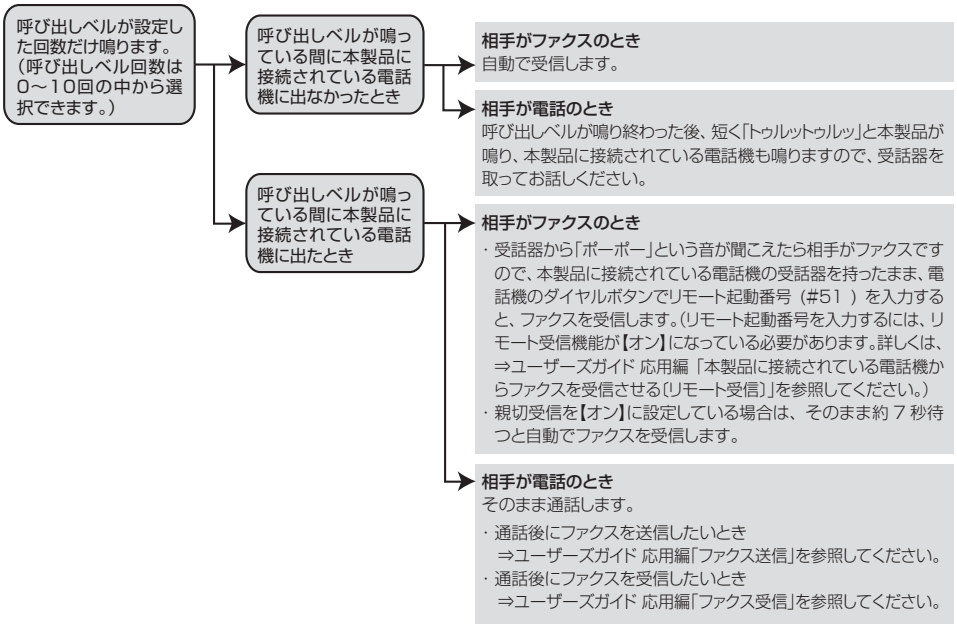


補足

- ファクス専用モードは、電話を受けても「ピー」という応答音を相手に返すだけです。電話機を本製品に接続してお使いになるときは、ファクス専用モードに設定しないでください。
- 呼び出しベル回数は、0～10回の中から選択できます。0回に設定すると呼び出しベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く受信したいときは呼び出しベル回数を0回か1回に設定してください。呼び出しベル回数の設定のしかたは⇒57ページ「呼び出しベル回数を設定する」を参照してください。

自動切換えモード

ファクスが送られてきたときは自動受信し、電話のときは本製品に接続されている電話機を呼び出す便利なモードです。

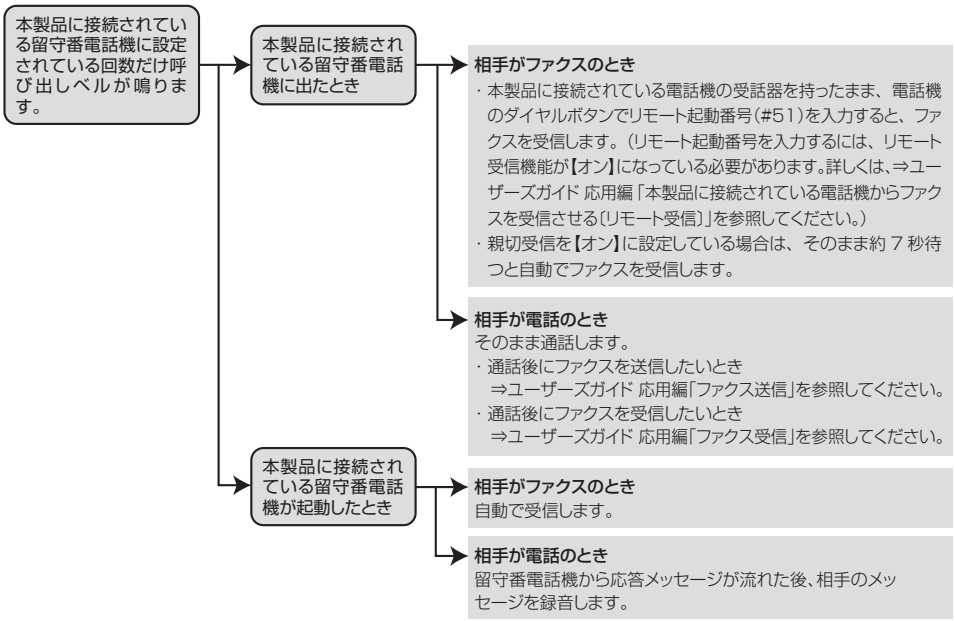


補足

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていると、【ファクス】→【オンフック】→【スタート】→【受信】を押してのファクス受信はできません。原稿を取り除いてから【ファクス】→【オンフック】→【スタート】→【受信】を押してください。
  ただし、以下の場合はADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていてもファクス受信します。
  - 親切受信　⇒ユーザーズガイド 応用編「親切受信で受信する」
  - リモート受信　⇒ユーザーズガイド 応用編「リモート受信の操作のしかた」
  - 自動受信　⇒ユーザーズガイド 応用編「さまざまな受信方法」
- 呼び出しベル回数の設定のしかたは⇒57ページ「呼び出しベル回数を設定する」を参照してください。
- 電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らし、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにすることができます。⇒57ページ「ファクス無鳴動受信を設定する」を参照してください。
- 自動切換えモードでは、本製品に接続されている電話機に出なかったときでも相手に通話料金がかかります。
- 回線状態により「ポーポー」という音が聞こえてもファクスに切り替わらない場合があります。そのときは【ファクス】→【オンフック】→【スタート】→【受信】を押してから受話器を戻してください。
- 通話中に突然ファクス受信に切り替わってしまうときは、親切受信の設定を【オフ】にしてください。
- 相手が手動送信ファクスの場合は、受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して【ファクス】→【オンフック】→【スタート】→【受信】を押してください。
- 呼び出しベル回数を 7 回以上に設定すると、特定の相手からのファクスが受信できない場合があります。呼び出しベル回数を6回以下に設定することをおすすめします。
- 本製品と接続している電話によっては、電話機から呼び出しベルが鳴らない場合があります。このときは、呼び出しベル回数の設定を長めにしてください。
- 本製品に複数台の電話機を接続したときは、お使いの電話機のベルが鳴らない場合があります。

外付け留守電モード

ファクスを自動で受けたい場合、また、本製品に接続されている留守番電話機で電話やメッセージを受けたい場合に適したモードです。



注意

本製品に接続されている留守番電話機の設定に関する留意点を以下に示します。

- 留守番電話機の設定は「留守」にしておいてください。
- 応答するまでのベル回数は短め（1〜2回）に設定してください。
- 応答メッセージは、最初に4、5秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20秒以内）に録音してください。
- 応答メッセージには、BGMを録音しないでください。
- 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に入っていることを確認してください。

補足

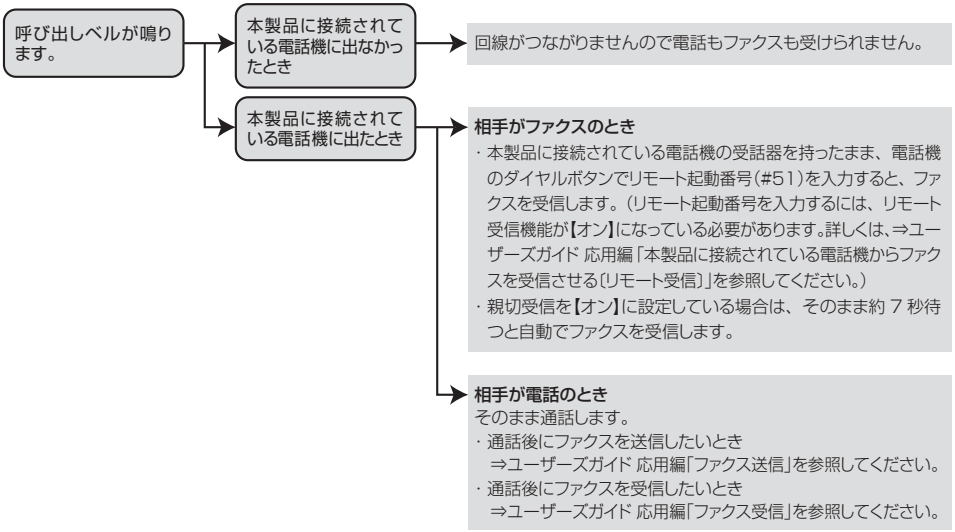
● ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていると、【ファクス】→【オンフック】→【スタート】→【受信】を押してのファクス受信はできません。原稿を取り除いてから【ファクス】→【オンフック】→【スタート】→【受信】を押してください。
ただし、以下の場合はADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていてもファクス受信します。
- 親切受信　⇒ユーザーズガイド 応用編「親切受信で受信する」
- リモート受信　⇒ユーザーズガイド 応用編「さまざまな受信方法」
- 自動受信　⇒ユーザーズガイド 応用編「さまざまな受信方法」

● メッセージがいっぱいで留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも自動的には応答しません。

● 留守番電話機が持っている機能のうち、使えない機能（転送機能など）が生じる場合があります。

電話モード

本製品に接続されている電話機に出た後、手動でファクスが受けられます。主に、本製品に接続した電話機を使い、ファクスはあまり受けない場合に適したモードです。



補足

ファクス受信について

- 本製品に接続されている電話機で電話に出たときもファクス受信できます。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていると、【ファクス】→【オンフック】→【スタート】→【受信】を押してのファクス受信はできません。原稿を取り除いてから【ファクス】→【オンフック】→【スタート】→【受信】を押してください。
  ただし、以下の場合はADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていてもファクス受信します。
  - 親切受信　⇒ユーザーズガイド 応用編「親切受信で受信する」
  - リモート受信　⇒ユーザーズガイド 応用編「さまざまな受信方法」
  - 自動受信　⇒ユーザーズガイド 応用編「さまざまな受信方法」
- 相手が手動送信ファクスの場合は、受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して【ファクス】→【オンフック】→【スタート】→【受信】を押してください。

キャッチホン※契約をされているとき

- NTTとキャッチホンまたはキャッチホンIIの契約をされている方は、キャッチホン / キャッチホンIIサービスを利用することができます（局番なしの116番にお問い合わせください）。
- キャッチホンの具体的な操作方法については、お使いの電話機の操作方法に従ってください。
- ファクスの送信や受信中にキャッチホンの電話がかかると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。
- キャッチホンでファクス受信するときに、ファクスを何枚も受信し、時間がかかる場合がありますので、最初の相手との通話が終わってからファクス受信することをおすすめします。

※:「キャッチホン」はNTTの登録商標です。ご利用の電話会社によっては同様のサービスでも名称が異なることがあります。

受信モードを設定する

1 →【全てのメニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【受信モード】を押す

2 受信モードを選択する

【FAX=ファクス専用/F/T=自動切換え/留守=外付け留守電/TEL=電話】から選択します。

3 を押す

補足

【FAX=ファクス専用】以外を設定した場合は、必ず電話機を本製品に接続してください。

呼び出しベル回数を設定する

受信モードが【FAX=ファクス専用】と【F/T=自動切換え】のときに、自動受信するまでの呼び出しベル回数を設定します。

1 →【全てのメニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【呼出ベル回数】を押す

2 呼出ベル回数を選ぶ

【0/1/2/3/4/5/6/7/8/9/10】から選択します。

3 を押す

補足

- 呼び出しベル回数は、0 回に設定すると呼び出しベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く受信したいときは呼び出しベル回数を0回か1回に設定してください。
- 本製品に電話機を接続している場合、本製品の呼び出しベル回数を0回に設定しても本製品に接続されている電話機のベルが1～2回鳴ることがあります。
- 呼び出しベル回数を7～10回に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼び出しベル回数を6回以下に設定されることをおすすめします。
- 受信モードが【FAX= ファクス専用】や【F/T= 自動切換え】のとき、本製品に接続されている電話機も、ここで設定された回数だけ呼び出しベルが鳴ります。
- ベルの音量を設定するには⇒ユーザーズガイド 応用編「着信音量を設定する」を参照してください。

再呼び出しベル回数を設定する

受信モードが【F/T=自動切換え】のときに電話がかかってくると、呼び出しベルの後に、「トゥルットゥルッ」と呼び出しベルが鳴ります。このベルの鳴る回数を設定します。

1 →【全てのメニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【再呼出ベル回数】を押す

2 再呼び出しベル回数を選ぶ

【8/15/20】から選択します。

3 を押す

補足

本製品に接続されている電話機に出なかった場合は、設定した回数だけ再呼び出しベルが鳴った後、自動的に電話が切れます。

ファクス無鳴動受信を設定する

受信モードが【F/T=自動切換え】のときに、電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにします。

1 →【全てのメニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【ファクス無鳴動受信】を押す

2 【オン】を押す

3 を押す

ファクスの見かた

受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/印刷する

「みるだけ受信」は受信したファクスの内容を画面で確認できる機能です。受信したファクスは、メモリに保存されます。受信したファクスを画面で見るには、みるだけ受信を【オン(画面で確認)】に設定してください。受信したファクスを印刷するようにしたい場合は、【オフ(受信したら印刷)】に設定してください。お買い上げ時は、【オフ(受信したら印刷)】に設定されています。

注意

みるだけ受信と、【PCファクス受信】または【ファクス転送】を同時に設定している場合は、ファクスの受信データはPCまたは転送先ファクス機に送信され、本製品には残りません。【PCファクス受信】または【ファクス転送】で【本体でも印刷する】を設定していても印刷されません。受信したファクスを本製品で確認することができなくなるためご注意ください。

みるだけ受信を設定する

1 を押す

2 【みるだけ受信】を押す



ボタンには現在の状態が表示されています。

補足

→【全てのメニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【みるだけ受信】を順に押しても設定できます。

3 【オン(画面で確認)】を押す

【みるだけ受信を[オン(画面で確認)]にしますか?】と表示されます。

4 【はい】を押す

【受信したファクスはメモリに保存され画面で確認できます 印刷はされませんがよろしいですか?】と表示されます。

5 メッセージを確認して、【はい】を押す

6 を押す

新着ファクスを見る

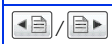
みるだけ受信設定時には、ファクスを受信すると、新着を知らせるメッセージが待ち受け画面に表示されます。

1 【確認】を押す

2 確認したいファクスを選んで押す

目的のファクスが表示されていないときは、上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して画面をスクロールさせます。新着ファクスには左側に新着マーク（青色）が表示されます。

3 下表を参考にして操作を行う

ボタン	操作内容
▲/▼	縦方向にスクロールします
◀/▶	横方向にスクロールします。
	前のページ/次のページを表示します。
	90度ずつ右回転します。
	拡大/縮小表示します。
	ファクスをメモリから消去します。 ⇒60ページ「ファクスをメモリから消去する」
	ファクス一覧に戻ります。
【スタート】	ファクスを印刷します。 ⇒59ページ「ファクスを印刷する」

補足

- 受信したファクスの画像が大きい場合は、表示に時間がかかることがあります。
- 画面に表示できるファクス一覧は、99件分です。不要なファクスのデータは削除してください。

4 を押す

既存のファクスを再度見たいときは

1 【ファクス】を押す

2 【受信ファクス】を押す

受信ファクスの一覧が表示されます。

3 確認したいファクスを選ぶ

目的のファクスが表示されていないときは、上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して画面をスクロールさせます。既読ファクスには、左側に既読マーク（灰色）が表示されます。

4 新着ファクスを見るときと同様に、画面を操作して内容を確認する

ファクスを印刷する

1 【ファクス】を押す

2 【受信ファクス】を押す

受信ファクスの一覧が表示されます。

3 印刷したいファクスを選ぶ

目的のファクスが表示されていないときは、上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して画面をスクロールさせます。既読ファクスには、左側に既読マーク（灰色）が表示されます。

4 印刷したいファクスが画面に表示された状態で【スタート】を押す

5 印刷したいファクスのページを選ぶ

【全てのページをプリント / 表示ページのみプリント/表示ページ以降プリント】から選択します。
印刷後、【全てのページを消去しますか？】と表示されます。

6 【はい】または【いいえ】を押す

【はい】を押すと、表示されているファクスの全てのページが消去されます。
【いいえ】を押すと、表示されているファクスはメモリに残ります。

7 を押す

ファクスをメモリから消去する

1 【ファクス】を押す

2 【受信ファクス】を押す
受信ファクスの一覧が表示されます。

3 消去したいファクスを選ぶ
目的のファクスが表示されていないときは、上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して画面をスクロールさせます。既読ファクスには、左側に既読マーク（灰色）が表示されます。

4 消去したいファクスが画面に表示された状態で を押す

5 【はい】を押す
ファクスのデータが消去されます。

6 を押す

すべてのファクスを印刷する

みるだけ受信設定時、メモリに保存されているファクスデータを、新着ファクスおよび既読ファクスごとにまとめて印刷できます。

1 【ファクス】を押す

2 【受信ファクス】を押す
受信ファクスの一覧が表示されます。

3 【印刷/消去】を押す

4 【全て印刷(新着ファクス)】または【全て印刷(既読ファクス)】を押す
【全て印刷(新着ファクス)】が表示されるのは、未読のファクスがある場合のみです。

5 を押す

すべてのファクスを消去する

みるだけ受信設定時、メモリに保存されているファクスデータを新着ファクス、既読ファクスごとにまとめて消去できます。

1 【ファクス】を押す

2 【受信ファクス】を押す
受信ファクスの一覧が表示されます。

3 【印刷/消去】を押す

4 【全て消去(新着ファクス)】または【全て消去(既読ファクス)】を押す
【全て消去(新着ファクス)】が表示されるのは、未読のファクスがある場合のみです。
【消去しますか？】と表示されます。

5 【はい】を押す
表示されているファクス一覧のデータが全て消去されます。

6 を押す

ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する）

【みるだけ受信】を【オフ(受信したら印刷)】に設定すると、みるだけ受信が解除され、以降受信するファクスは自動的に印刷されます。

補足

みるだけ受信を解除すると、メモリに保存されているすべてのファクスデータが消去されます。印刷しておきたいデータがある場合は、みるだけ受信の解除設定時に、画面の指示に従って印刷してください。あらかじめ個別に印刷したり、すべてのファクスデータを印刷しておくこともできます。⇒59ページ「ファクスを印刷する」、⇒60ページ「すべてのファクスを印刷する」

1 を押す

2 【みるだけ受信】を押す



ボタンには現在の状態が表示されています。

3 【オフ(受信したら印刷)】を押す

【みるだけ受信をオフにすると今後受信ファクスは全て印刷されますがよろしいですか？】と表示されます。【いいえ】を押すと、みるだけ受信の解除をキャンセルします。

4 【はい】を押す

【PCファクス受信】または【ファクス転送】を設定している場合、またはメモリ内にファクスデータがない場合、操作は終了です。
⇒手順7へ

5 【全て消去】または【全て印刷してから消去】を押す

【全て消去】を押すと、【ファクスを消去しますか？】と表示されます。⇒手順6へ
【全て印刷してから消去】を押すと、メモリに保存されている受信ファクスが印刷され、メモリから消去されます。ここで操作は終了です。⇒手順7へ

6 【はい】を押す

メモリに保存されている受信ファクスが消去されます。

7 を押す

みるだけ受信は解除され、今後はファクスを受信すると本製品で自動的に印刷します。
【PCファクス受信】または【ファクス転送】を設定している場合は、【本体でも印刷する】を設定している場合のみ、自動的に印刷します。

受信したファクスが印刷できないときは（メモリ代行受信）

【みるだけ受信】を【オフ(受信したら印刷)】にして、受信ファクスを印刷するように設定していても、以下の場合は、送られてきたファクスを自動的にメモリに記憶します。

- カバーが開いているとき
- 記録紙がなくなったとき
- トナーがなくなったとき
- 記録紙がつまったとき
- 記録紙のサイズを間違ってセットしたとき

画面の指示に従って操作すると、メモリに記憶された内容を印刷できます。
⇒ユーザーズガイド 応用編「メモリ代行受信について」を参照してください。

補足

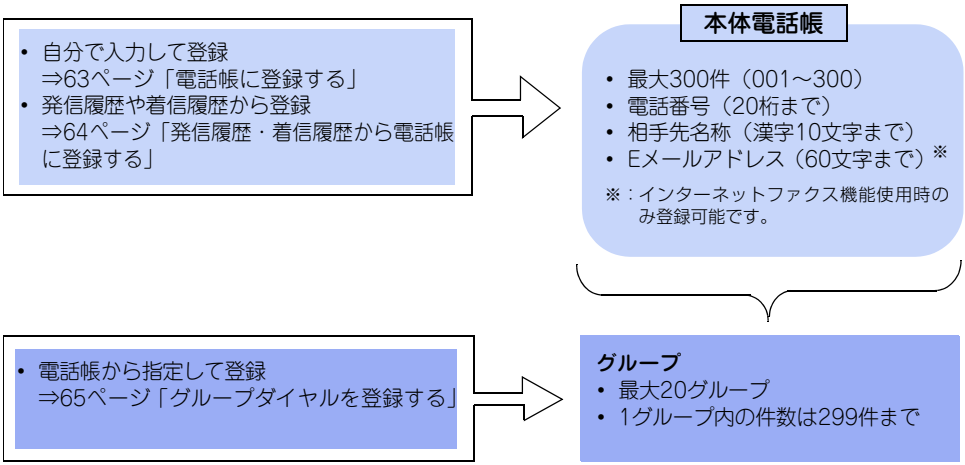
- メモリがいっぱいになると、それ以降はメモリ代行受信はできません。
- メモリ代行受信できるのは約 500 ページです。（ただしメモリの残量や原稿の内容によって変化します。）

電話帳の基本

電話帳について

本製品の電話帳に相手先情報を登録する方法や、電話帳を編集する方法について説明します。
電話帳に相手先の情報を登録するには、新しく自分で入力したり、履歴から登録することもできます。
グループダイヤルは、電話帳に登録した複数の相手先をまとめて1つのグループとして登録します。
電話帳を使用してファクス送信をする方法は、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。
また、本製品はインターネットファクス機能※ に対応しております。インターネットファクス機能を使用することにより、LDAPサーバーを使用したり、インターネット経由でファクス送信することができます。

※：MFC-L8650CDW は、インターネットファクスのダウンロードが必要です。インターネットファクス機能の詳細については、⇒「ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク」を参照してください。



また本製品は、ネットワーク上のLDAPサーバーに直接アクセスし、電話帳データーを流用することができます。
本体電話帳の登録件数を気にせずに相手先を指定できます。

電話帳に登録する

20桁までのファクス番号または60文字までのEメールアドレスと、漢字10文字（かな20文字）までの相手先の名称を最大300件登録することができます。

注意

■ファクス番号は必ず市外局番から登録してください。ナンバー・ディスプレイの名前/着信履歴が正しく表示されない場合があります。

■間違ったファクス番号を誤って登録しないよう注意してください。ファクス番号を登録した後、電話帳リストを印刷して確認してください。

■登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。送付書については⇒ユーザーズガイド 応用編「送付書を付けて送信する」を参照してください。

補足

- 電話帳にファクス情報サービスの情報番号を登録する場合、ダイヤル回線をお使いのときは、情報番号の前に【＊】を押してください。
- 文字入力のしかたについては⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」を参照してください。
- 電話帳は、リモートセットアップやウェブブラウザー設定から登録することもできます。⇒「ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク」を参照してください。
- 登録内容を忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷して確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「レポート・リストの種類」を参照してください。

1 【ファクス】→【電話帳】→【設定】→【電話帳登録】を押す

2 【名前】を押して、画面に表示されているキーボードで電話帳に表示する名前を入力し、【OK】を押す

名前は漢字10文字（ひらがな/カタカナ20文字）まで登録できます。読みがなは、自動的に15文字まで入力されます。⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」

3 【ヨミガナ】を押して、画面に表示されているキーボードで読みがなを編集し、【OK】を押す

編集する必要がない場合は、そのまま手順4へ進みます。読みがなは、電話帳検索時、五十音順に並べ替えるときに使われます。

4 【宛先】を押して、画面に表示されているキーボード、またはダイヤルボタンで番号を入力し、【OK】を押す

ファクス番号は20桁まで入力できます。入力できる文字は、以下のとおりです。

- 数字：0 ～ 9
- 記号：＊、＃
- スペース：▶を押す
- ポーズ：約3秒の待ち時間（画面には「p」と表示）

※カッコは入力できません。
Eメールアドレスは60文字まで入力できます。

補足

インターネットファクス利用時は、を押すと、Eメールアドレスを入力することができます。

5 登録内容を確認し【OK】を押す

6 を押す

発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する

画面に表示される発信履歴や着信履歴を見ながらそのまま電話帳に登録できます。着信履歴リストを印刷して、あらかじめ登録先や内容を確認しておくこともできます。
⇒ユーザーズガイド 応用編「レポート･リストの種類」

注意

■ナンバー・ディスプレイサービスを契約していない場合は、「着信履歴」を利用することはできません。

■【ナンバーディスプレイ】の設定が【外付け電話優先】の場合は、着信履歴が本製品に接続されている電話機に残りますので、本製品で着信履歴を利用することはできません。

■電話帳に同じ番号や同じ相手先名がすでに登録されていても、重複して登録されます。

1 【ファクス】→【履歴】を押す

2 【発信履歴】または【着信履歴】を押す

補足

最新の発信履歴1件と着信履歴30件が記録されています。

3 電話帳に登録したい番号を選ぶ

4 【設定】を押す

5 【電話帳に登録】を押す

6 【名前】を押して、画面に表示されているキーボードで電話帳に表示する名前を入力し、【OK】を押す

名前は漢字10文字（ひらがな/カタカナ20文字）まで登録できます。読みがなは、自動的に15文字まで入力されます。⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」

7 【ヨミガナ】を押して、画面に表示されているキーボードで読みがなを編集し、【OK】を押す

編集する必要がない場合は、そのまま手順8へ進みます。読みがなは、電話帳検索時、五十音順に並べ替えるときに使われます。

8 【宛先】に番号が入力されていることを確認する

変更したい場合は、【宛先】を押し、番号を変更して【OK】を押します。

9 登録内容を確認し【OK】を押す

10 を押す

グループダイヤルを登録する

電話帳に登録した複数の相手先を、まとめて1つのグループとして登録します。これをグループダイヤルといいます。
送信のたびに複数の相手先を指定する必要がなく、グループを指定するだけで送信できます。同報送信をするときに使うと便利です。グループダイヤルは、最大20グループ登録することができます。

注意

グループダイヤルに登録するためには、あらかじめ電話帳に登録しておく必要があります。ファクス番号またはEメールアドレスをそのままグループダイヤルに登録することはできません。

1 【ファクス】→【電話帳】→【設定】→【グループ登録】を押す

2 【名前】を押して、画面に表示されているキーボードで電話帳に表示するグループ名を入力し、【OK】を押す

名前は漢字10文字（ひらがな/カタカナ20文字）まで登録できます。読みがなは、自動的に15文字まで入力されます。⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」

3 【ヨミガナ】を押して、画面に表示されているキーボードで読みがなを編集し、【OK】を押す

編集する必要がない場合は、そのまま手順4へ進みます。読みがなは、電話帳検索時、五十音順に並べ替えるときに使われます。

4 【追加／消去】を押して、グループに登録する相手先を選んでチェックマークを付ける

最大299件登録することができます。

5 登録する相手先をすべて選び終わったら、【OK】を押す

6 登録内容を確認し【OK】を押す

7 を押す

電話帳を編集する

電話帳に登録している名前や番号を変更したり、消去できます。
送信待ちのファクスがある宛先（タイマー送信やファクス転送先など）は、画面で薄く表示されます。送信待ちのファクスをキャンセルするまでは、それらの宛先を変更したり消去することはできません。
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信待ちを確認または解除する」を参照してください。

電話帳を変更する

1 【ファクス】→【電話帳】→【設定】→【変更】を押す

2 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して一覧から変更する相手先を押す

3 変更したい内容（名前、ヨミガナ、宛先）を選択する

4 内容を変更し【OK】を押す

補足

文字を変更するときは、【◀】/【▶】を押してカーソルを移動して、修正する文字をハイライト表示し、を押します。その後新しい文字や数字を入力します。

5 必要に応じて手順3、4を繰り返す

6 変更内容を確認し【OK】を押す

7 を押す

電話帳を消去する

1 【ファクス】→【電話帳】→【設定】→【消去】を押す

2 一覧から消去する相手先またはグループを選んでチェックマークを付ける

3 消去する相手先またはグループをすべて選び終わったら、【OK】を押す

4 【はい】を押す

5 を押す

コピーの基本

コピーの流れ

基本的なコピー操作の流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1　原稿をセットする

原稿をセットするには次の2つの方法があります。

● ADF（自動原稿送り装置）にセットする

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続してコピーできます。

原稿が正しくセットされると、画面に【原稿セットOK】が表示されます。

● 原稿台ガラスにセットする

1枚ずつ原稿を読み取ります。本や厚みのある原稿などもコピーできます。

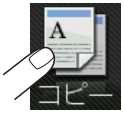
ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないことを確認してください。

⇒44ページ「原稿セットで注意すること」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

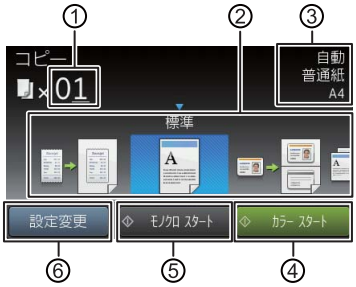
STEP 2　コピーモードに切り替える

画面の【コピー】を押してコピーモードに切り替えます。

コピー操作を行う場合には、必ずコピーモードになっていることを確認してください。



コピーモードに切り替えると、以下のようなコピー標準画面に切り替わります。



①	部数	コピーする部数が表示されます。
②	プリセット コピーメニュー	いろいろなコピーを最適に行うための設定値があらかじめ登録されています。左右にフリックして表示することができます。⇒70ページ「プリセットコピーメニューについて」
③	コピー設定情報	現在設定されているプリセットコピーメニューや記録紙タイプ、記録紙サイズの情報が表示されます。
④	カラー スタート	カラーでコピーします。
⑤	モノクロ スタート	モノクロでコピーします。
⑥	設定変更	コピー画質や拡大/縮小など、さまざまな設定を変更できます。⇒71ページ「コピー設定について」

STEP 3　部数を入力する

部数（1～99）をダイヤルボタンで入力します。



STEP 4　コピー設定をする

プリセットコピーメニューを選択します。

プリセットコピーにはいろいろなコピーを最適に行うための設定値があらかじめ登録されています。

⇒70ページ「プリセットコピーメニューについて」

必要に応じて【設定変更】を押してコピーの仕上がりかたを設定します。

⇒71ページ「コピー設定について」

● コピーの出力形式を設定したいとき

■ソートコピー　⇒72ページ「1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」
■レイアウトコピー（N in 1コピー）⇒73ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウト コピー（N in 1コピー）〕」
■2 in 1IDコピー　⇒73ページ「2 in 1 IDコピーをする」
■両面コピー　⇒74ページ「両面コピーをする」
■両面レイアウトコピー　⇒200ページ「両面レイアウトコピー」
■記録紙トレイ設定　⇒75ページ「記録紙トレイを設定する」

ポイント

ソートコピーをしたいとき
ADF（自動原稿送り装置）を使ってコピーしてください。

● コピーの倍率を変更したいとき

■拡大･縮小コピー　⇒72ページ「拡大･縮小コピーをする」

● コピーの質を調整したいとき

■画質　⇒76ページ「画質を設定する」
■コピー濃度　⇒76ページ「コピー濃度を設定する」
■コントラスト　⇒76ページ「コントラストを設定する」
■色の濃さ　⇒199ページ「カラー調整」
■地色除去コピー　⇒200ページ「地色除去コピー」

●コピーで使用する記録紙を節約したいとき

■記録紙節約　⇒73ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウト コピー（N in 1コピー）〕」
⇒200ページ「両面レイアウトコピー」

STEP 5　スタートする

● ADF（自動原稿送り装置）からコピーするとき

【カラー スタート】または【モノクロ スタート】を押します。

正しく原稿がセットされていない場合は、原稿台ガラスの読み取りがスタートします。

● 原稿台ガラスからコピーするとき

【カラー スタート】または【モノクロ スタート】を押します。

ポイント

コピーを途中で中止したいとき

を押します。

プリセットコピーメニューについて

プリセットコピーとは、いろいろなコピーを最適に行うための設定値があらかじめ登録されている機能です。通常のコピーを行う場合は、【標準】を選択してください。以下の表は、プリセットコピーメニューとそれぞれの初期設定値を表しています。■部分はプリセット機能を有効にする値であるため変更しないでください。変更するとプリセットメニューは【標準】になります。

プリセットコピーメニュー 設定変更	レシート	標準 通常のコピーをします。お買い上げ時の設定です。	2in1(ID) カードサイズの原稿の両面を1枚の記録紙に割り付けてコピーします。	2in1 2枚の原稿を1枚の記録紙に割り付けてコピーします。	片面⇒両面 片面2枚の原稿を両面1枚にコピーします。	両面⇒両面 両面1枚の原稿を両面1枚にコピーします。	記録紙節約 両面コピー機能やレイアウトコピー機能を使用して印刷する記録紙の消費量を抑えます。
コピー画質	レシート	自動	自動	自動	自動	自動	自動
拡大/縮小	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
コピー濃度	0	0	−1	0	0	0	0
コントラスト	0	0	0	0	0	0	0
スタック/ソート	スタックコピー	スタックコピー	スタックコピー	スタックコピー	スタックコピー	スタックコピー	スタックコピー
レイアウト コピー	オフ(1in1)	オフ(1in1)	2in1(ID)	2in1(縦長) ※2in1(横長)に変更可能	オフ(1in1)	オフ(1in1)	4in1(縦長) ※4in1(横長)に変更可能
カラー調整	0	0	0	0	0	0	0
両面コピー	オフ	オフ	オフ	オフ	片面⇒両面 長辺綴じ原稿 ※片面⇒両面 短辺綴じ原稿 に変更可能	両面⇒両面	片面⇒両面 長辺綴じ原稿 ※片面⇒両面 短辺綴じ原稿 に変更可能
両面レイアウトコピー	長辺綴じ⇒長辺綴じ	長辺綴じ⇒長辺綴じ	長辺綴じ⇒長辺綴じ	長辺綴じ⇒長辺綴じ	長辺綴じ⇒長辺綴じ	長辺綴じ⇒長辺綴じ	長辺綴じ⇒長辺綴じ
トレイ選択	多目的トレイ> トレイ1> トレイ2※	多目的トレイ> トレイ1> トレイ2※	多目的トレイ> トレイ1> トレイ2※	多目的トレイ> トレイ1> トレイ2※	多目的トレイ> トレイ1> トレイ2※	多目的トレイ> トレイ1> トレイ2※	多目的トレイ> トレイ1> トレイ2※
地色除去コピー	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ

※：オプションの増設記録紙トレイ（LT-320CL/LT-325CL）を増設したときにメニューが表示されます。

コピー設定について

必要に応じて、コピーの仕上げに関する設定を行います。

分類	機能	設定操作	参照
倍率	拡大/縮小	【コピー】→【設定変更】→【拡大/縮小】	⇒72ページ「拡大･縮小コピーをする」
出力形式	ソートコピー	【コピー】→【設定変更】→【スタック/ソート】	⇒72ページ「1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」
	レイアウト コピー	【コピー】→【設定変更】→【レイアウト コピー】	⇒73ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウト コピー（N in 1コピー）〕」
	2 in 1 IDコピー	【コピー】→【設定変更】→【レイアウト コピー】→【2in1(ID)】	⇒73ページ「2 in 1 IDコピーをする」
	両面コピー	【コピー】→【設定変更】→【両面コピー】	⇒74ページ「両面コピーをする」
	両面レイアウトコピー	【コピー】→【設定変更】→【両面レイアウトコピー】	⇒200ページ「両面レイアウトコピー」
	トレイ選択	【コピー】→【設定変更】→【トレイ選択】	⇒75ページ「記録紙トレイを設定する」
質	画質	【コピー】→【設定変更】→【コピー画質】	⇒76ページ「画質を設定する」
	コピー濃度	【コピー】→【設定変更】→【コピー濃度】	⇒76ページ「コピー濃度を設定する」
	コントラスト	【コピー】→【設定変更】→【コントラスト】	⇒76ページ「コントラストを設定する」
	カラー調整	【コピー】→【設定変更】→【カラー調整】	⇒199ページ「カラー調整」
	地色除去コピー	【コピー】→【設定変更】→【地色除去コピー】	⇒200ページ「地色除去コピー」

拡大･縮小コピーをする

倍率を変えてコピーすることができます。

1 **原稿をセットした後、【コピー】を押し、部数を入力する**

2 **【設定変更】を押す**

3 **上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して【拡大/縮小】を押す**

4 **倍率を選択し【OK】を押す**

【カスタム(25-400%)】を選択したときは、ダイヤルボタンで倍率（25%～400%）を入力して【OK】を押してください。

5 **【カラー スタート】または【モノクロ スタート】を押す**

補足

原稿によっては画像が欠ける場合があります。

1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕

コピーした記録紙を1部ごとにまとめて、ページ順に並べて出力します。



ソートコピー

1 **原稿をセットした後、【コピー】を押し、部数を入力する**

2 **【設定変更】を押す**

3 **上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して【スタック/ソート】を押す**

4 **【ソートコピー】を押して【OK】を押す**

5 **【カラー スタート】または【モノクロ スタート】を押す**

原稿を原稿台ガラスにセットしている場合は【はい】を押して、次の原稿をセットした後、【OK】を押します。
この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、【いいえ】を押します。

補足

原稿の読み込み中に【メモリがいっぱいです】が表示されたときは⇒129ページ「画面にエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）」を参照してください。

複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウト コピー（N in 1コピー）〕

2枚または4枚の原稿を1枚にコピーすることができます。
コピーのしかたは以下の種類から選択できます。

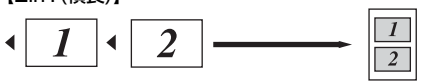
補足
2 in 1 IDコピーの場合は、⇒73ページ「2 in 1 IDコピーをする」を参照してください。

ADF（自動原稿送り装置）の場合

【2in1(縦長)】



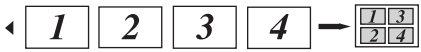
【2in1(横長)】



【4in1(縦長)】



【4in1(横長)】

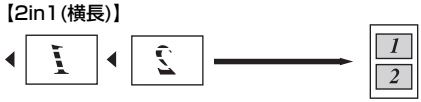


原稿台ガラスの場合

【2in1(縦長)】



【2in1(横長)】



【4in1(縦長)】



【4in1(横長)】



1 原稿をセットした後、【コピー】を押し、部数を入力する

2 【設定変更】を押す

3 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して【レイアウト コピー】を押す

4 レイアウトを選択して【OK】を押す

【オフ(1in1)/2in1(縦長)/2in1(横長)/2in1(ID)/4in1(縦長)/4in1(横長)】から選択します。

補足
【2in1(縦長)/2in1(横長)】は、【コピー】→【2 in 1】のプリセットコピーメニューからも設定できます。

5 【カラー スタート】または【モノクロ スタート】を押す

原稿を原稿台ガラスにセットしている場合は【はい】を押して、次の原稿をセットした後、【OK】を押します。
この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、【いいえ】を押します。

補足
- レイアウトコピー（N in 1コピー）では、拡大／縮小機能は使えません。
- 記録紙のサイズは【A4】または【USレター】がセットされていることを確認してください。

2 in 1 IDコピーをする

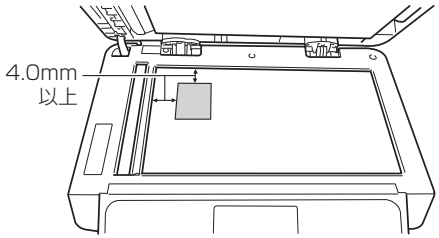
IDカードや身分証明書などカードサイズの表裏を、そのサイズのままコピーすることができます。原稿は原稿台ガラスにセットしてください。ADF（自動原稿送り装置）からコピーはできません。

補足
IDカードや身分証明書などの個人情報の取り扱いには、十分注意してください。

1 【コピー】を押し、部数を入力する

2 **原稿台ガラスの左側に、裏向きにしてコピーするカードをおく**

イラストのように、原稿台ガラスの左側に、端から4.0mm以上空けてカードをセットしてください。



3 **【設定変更】を押す**

4 **上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して【レイアウト コピー】を押す**

5 **【2in1(ID)】を押して【OK】を押す**

補足

- 【2in1(ID)】を選択すると、【コピー濃度】の設定は【－1】になります。
- 【コピー】→【2in1(ID)】のプリセットコピーメニューからも設定できます。その場合は、【コピー画質】の設定は【自動】、【コピー濃度】の設定は【－1】になります。

6 **【カラー スタート】または【モノクロ スタート】を押す**

7 **【はい】を押す**

画面に【IDカードを裏返してください [OK]を押してください】が表示されます。

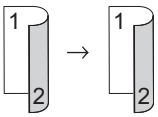
8 **原稿台ガラスのカードを裏返して【OK】を押す**

両面コピーをする

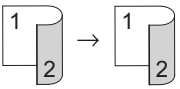
片面2枚の原稿を両面1枚、または両面1枚の原稿を両面1枚にコピーすることができます。両面コピーはADF（自動原稿送り装置）から原稿送りさせることをおすすめします。
両面印刷ができる記録紙は、A4サイズ（60g/m^2～105g/m^2）のみです。

両面→両面

縦

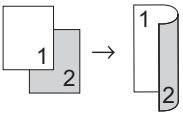


横

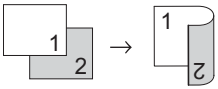


片面→両面 長辺綴じ原稿

縦

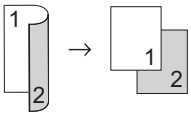


横

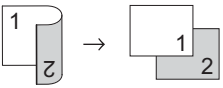


両面→片面 長辺綴じ原稿

縦

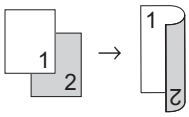


横

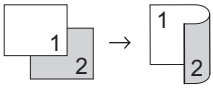


片面→両面 短辺綴じ原稿

縦

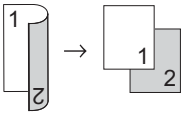


横

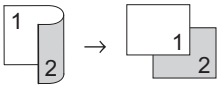


両面→片面 短辺綴じ原稿

縦



横



1 原稿をセットした後、【コピー】を押し、部数を入力する

2 【設定変更】を押す

3 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して【両面コピー】を押す

4 両面コピーの方法を選択して【OK】を押す

補足

【両面⇒両面/片面⇒両面 長辺綴じ原稿/片面⇒両面 短辺綴じ原稿】は、【コピー】→【両面⇒両面/片面⇒両面】のプリセットコピーメニューからも設定できます。

5 【カラー スタート】または【モノクロ スタート】を押す

原稿を原稿台ガラスにセットしている場合は【スキャン】を押して、次の原稿をセットした後、【OK】を押します。
この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、【完了】を押します。

補足

原稿台ガラスからの両面コピーは、【片面⇒両面 長辺綴じ原稿】または【片面⇒両面 短辺綴じ原稿】のみです。

記録紙トレイを設定する

コピーするときに使用するトレイを、一時的に変更することができます。

1 原稿をセットした後、【コピー】を押し、部数を入力する

2 【設定変更】を押す

3 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して【トレイ選択】を押す

4 トレイを選択して【OK】を押す

補足

【記録紙トレイ#2】または【トレイ 2】は、オプションの増設記録紙トレイ（LT-320CL/LT-325CL）を増設したときに表示されます。

5 【カラー スタート】または【モノクロ スタート】を押す

画質を設定する

【コピー画質】の設定を変更します。
画質は以下の中から選択することができます。
- 【自動】：
  自動的に画質を調整します。
- 【テキスト】：
  薄い文字をはっきりと印刷します。
- 【写真】：
  グラデーションをきれいに印刷します。
- 【レシート】：
  レシートの文字をきれいに印刷します。

設定変更で【2 in 1 (ID)】を選択したときは、画質は以下の中から選択することができます。
- 【自動】：
  自動的に画質を調整します。
- 【明るめ】：
  顔色を明るく印刷します。

1 原稿をセットした後、【コピー】を押し、部数を入力する

2 【設定変更】を押す

3 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して【コピー画質】を押す

4 画質を選択して【OK】を押す

5 【カラー スタート】または【モノクロ スタート】を押す

コピー濃度を設定する

コピーの濃度を5段階で調整することができます。

1 原稿をセットした後、【コピー】を押し、部数を入力する

2 【設定変更】を押す

3 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して【コピー濃度】を押す

4 濃度を選択して【OK】を押す

5 【カラー スタート】または【モノクロ スタート】を押す

コントラストを設定する

コントラストを5段階で調整することができます。

1 原稿をセットした後、【コピー】を押し、部数を入力する

2 【設定変更】を押す

3 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して【コントラスト】を押す

4 コントラストを選択して【OK】を押す

5 【カラー スタート】または【モノクロ スタート】を押す

USBダイレクトプリントの基本

USBダイレクトプリントの流れ

コンピューターを使用しないで、USBメモリから直接データをプリントする操作の流れを説明します。

補足

- セキュリティ設定やUSBハブ機能付きのUSBメモリなど、ご使用のUSBメモリによっては、本製品に接続しても動作しない場合があります。
- 本製品は、PictBridge（ピクトブリッジ）に対応していません。ただし、お使いのデジタルカメラがマスストレージモードに対応している場合は、デジタルカメラ内のメモリカードをUSBメモリと同様に記憶装置として認識します。デジタルカメラをマスストレージ接続モードに設定し、本製品とUSBケーブルで接続してください。写真データを印刷するときは本製品の画面を操作します。
- セキュリティ機能ロック3.0が［オン］※の場合は、USBダイレクトプリントを使用することができません。
  ⇒ユーザーズガイド 応用編「使用できる機能を制限する［セキュリティ機能ロック3.0］」を参照してください。

※：USBダイレクトプリントが制限されているときのみ

STEP 1　データ形式を確認する

USBダイレクトプリントで印刷できるデータ形式は以下のとおりです。

ただし、PRN形式の場合は、STEP 4で印刷の設定をすることができません。

- PDF version1.7（JBIG2イメージファイル、JPEG2000イメージファイルおよびレイヤ情報を持つファイルは未対応です。）
- JPEG
- Exif+JPEG
- PRN（本製品のプリンタードライバーで作成されたデータ）
- TIFF（ブラザー製品でスキャンしたデータ）
- XPS version1.0形式

ポイント

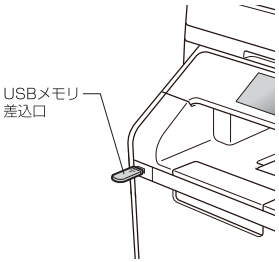
PRN形式のファイルを保存したいとき

プリンタードライバー画面で［ファイルへ出力］項目にチェックを付けます。

STEP 2　USB メモリを本製品に接続する

USBメモリをUSBメモリ差込口に接続します。本製品がUSBメモリを認識すると、USB ダイレクトプリントモードに切り替わり、画面に選択メニューが表示されます。

- 本製品がディープスリープモードのときは、USBメモリを接続しても認識しません。[ホーム]を押して待ち受け状態にしてください。



STEP 3　印刷するフォルダーやデータを選択する

（【USB】→）【USBダイレクトプリント】を押して、上下にフリック、または【▲】/【▼】を押してフォルダーやデータを選択します。

● 操作方法

- フォルダー内を表示するときは、【フォルダー名】を押します。
- 1 つ上の階層に戻るときは、  を押します。

● フォルダー名やデータ名の表示

- フォルダー名の前に  が表示されます。
- 画面に表示できない特殊な文字は、空白（スペース）が表示されます。

STEP 4　印刷内容を設定する

● プリントしたい部数（1～999）をダイヤルボタンで入力する

【テンポラリ設定】を押し、上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して以下の設定項目を選択します。設定後、  で 1 つ前の画面に戻ります。

- 記録紙タイプ
- 記録紙サイズ
- レイアウト
- 印刷の向き（JPEG 形式選択時のみ）
- 両面印刷：
  JPEG形式選択時は設定できません。
  両面印刷できる記録紙は、A4サイズ（60g/m^2～105g/m^2）のみです。
- 部単位
- トレイ選択
- プリント画質
- PDF オプション（PDF 形式選択時のみ）

ポイント

印刷内容をあらかじめ設定したいとき

操作パネルからのメニューで設定しておくことができます。
⇒ユーザーズガイド 応用編「USB ダイレクトプリント」を参照してください。

STEP 5　プリントを開始する

以下の順で操作を行い、プリントを開始します。

●【カラー スタート】または【モノクロ スタート】を押す

【デバイスを抜かないでください】が表示されている間は、USBメモリを抜かないでください。

●  を押す

プリントの基本

プリントの流れ

コンピューターからプリントする操作の流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1　準備する（プリンタードライバーのインストール）

付属のCD-ROMの中にあるプリンタードライバーをインストールします。（Windows®）※

※ Macintosh のプリンタードライバーは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）から、ダウンロードしてください。（http://support.brother.co.jp/）

⇒かんたん設置ガイド

⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

STEP 2　コンピューターで印刷を選択する

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

STEP 3　プリンターを選択する

［印刷］ダイアログボックスで本製品のプリンター名を選択します。

STEP 4　印刷内容を設定する

［詳細設定］をクリックして印刷の詳細を設定し［OK］をクリックします。

用紙サイズ、印刷の向き、部数、用紙種類、印刷品質、カラー /モノクロ、文書種類、レイアウト、両面印刷／小冊子印刷、給紙方法などを設定します。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

STEP 5　プリントを開始する

［印刷］をクリックします。

スキャンの基本

スキャンの流れ

原稿をコンピューターに読み込みます。スキャンには、操作パネルからスキャンする方法とコンピューターからスキャンする方法があります。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1　準備する（スキャナードライバーのインストール、ネットワーク設定）

スキャンする前に以下の2つを準備します。すでに準備が終了している場合は、STEP 2から操作してください。

● スキャナードライバーをインストールする

付属のCD-ROMの中にあるスキャナードライバーをインストールします。（Windows®）※

※ Macintosh のプリンタードライバーは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）から、ダウンロードしてください。（http://support.brother.co.jp/）

⇒かんたん設置ガイド

⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

● ネットワークを設定する

ネットワークプリンターとして使用している場合は、ネットワークの設定は終了しています。

まだネットワークの設定が終了していない場合は、本製品にTCP/IPを設定します。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

STEP 2　スキャンのしかたを決める

スキャンの目的や特徴によって、スキャンのしかたが異なります。ご都合に応じて、最適なスキャン方法を決めてから操作を始めてください。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

STEP 3　原稿をセットする

原稿をセットするには次の2つの方法があります。

● ADF（自動原稿送り装置）にセットする

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続してスキャンできます。また、自動両面スキャンもできます。

● 原稿台ガラスにセットする

1枚ずつ手動でスキャンします。本や厚みのある原稿などもスキャンできます。

⇒44ページ「原稿セットで注意すること」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

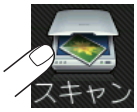
●操作パネルからスキャンする

以降の操作の詳細は、以下を参照してください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

STEP 4　スキャンモードに切り替える

画面の【スキャン】を押してスキャンモードに切り替えます。

スキャン操作を行う場合には、必ずスキャンモードになっていることを確認してください。



STEP 5　スキャンの機能を選択する

機能を選択します。

- OCR
- ファイル
- イメージ
- USBメモリ（スキャン to USB）
- Eメール添付
- Eメール送信
- (S)FTPサーバー
- ネットワーク
- Webサービス※

※: Windows Vista® SP2以降、Windows® 7またはWindows® 8のみ

STEP 6　保存先／送信先を選択する

- スキャンしたデータの保存先／送信先を選択します。USB接続の場合は保存先の選択は必要ありません。
- 必要に応じて、解像度やファイル名、両面スキャンの読み取り（ADFに原稿をセットした場合）などを設定します。

STEP 7　スキャンを開始する

【スタート】を押します。

●コンピューターからスキャンする

以降の操作の詳細は、以下を参照してください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

STEP 4　アプリケーションでスキャンを選択する

アプリケーション側でスキャンボタンまたはスキャンメニューを選択します。

STEP 5　スキャンの詳細を設定する

ダイアログボックスで、解像度や明るさ、画像の種類などスキャンの詳細を設定します。

STEP 6　スキャンを開始する

ダイアログボックスでスキャン開始を指示します。

3 日常のお手入れ

定期メンテナンス

下記の部品を定期的に清掃することをおすすめします。
•記録紙トレイ　•原稿台ガラス　•スキャナーウインドー　•コロナワイヤー　•ドラムユニット　•給紙ローラー

⚠警告

■ ドラムユニットやトナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。
また、火気のある場所に保管しないでください。
トナーに引火して、火災ややけどの原因となります。



■ 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。
また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
可燃性スプレーの例は次のとおりです。
・ほこり除去スプレー　・殺虫スプレー　・アルコールを含む除菌、消臭スプレー
・アルコールなどの有機溶剤や液体など

■ トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布で拭き取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

本製品外部を清掃する

!重要

■ 中性洗剤を使ってください。シンナーやベンジンを浸した布で拭かないでください。

■ アンモニアの成分を含んでいる洗剤は使わないでください。

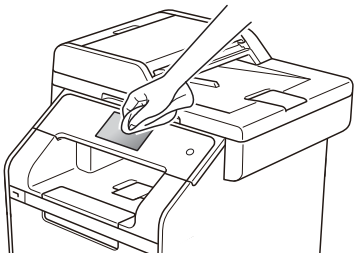
■ 操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネルにひびが入ったり、パネル上の印刷が消えたりすることがあります。

本製品は柔らかい布で軽く拭いてください。

タッチパネルを清掃する

1 本製品の電源をOFFにする

2 乾いた柔らかい布で軽く拭く

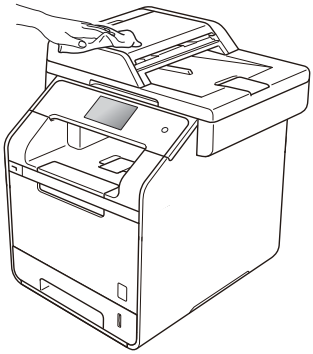


3 本製品の電源をONにする

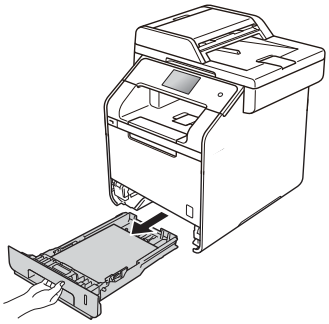
本製品外部を清掃する

1 本製品の電源をOFFにする

2 乾いた柔らかい布で軽く拭く



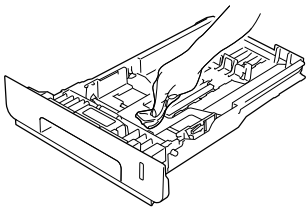
3 記録紙トレイを完全に引き出す



4 記録紙トレイから記録紙を取り出す

記録紙トレイ内につまった記録紙がある場合は取り除いてください。

5 記録紙トレイの内側と外側を拭く



6 記録紙をセットして、記録紙トレイを本製品に戻す

7 本製品の電源をONにする

原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する

いつもきれいな画質を得るためにスキャナーの清掃を行ってください。スキャナーが汚れていると、そのまま画質の汚れとなって送信やコピーがされます。送信やコピーで黒っぽくなったり、細い線が入るときには、スキャナーを清掃してください。

⚠警告



ベンジンやシンナー、可燃性スプレー、アルコールなどの有機溶剤、液体を使用しないでください。火災の原因になります。

!重要

操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネル上の印刷が消えることがあります。

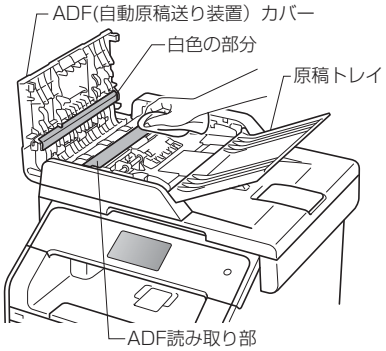
補足

清掃には水やぬるま湯を含ませた柔らかい布を固く絞ってご使用ください。

1 本製品の電源をOFFにする

2 原稿トレイと ADF（自動原稿送り装置）カバーを開く

3 ADF（自動原稿送り装置）カバー（白色の部分）とADF読み取り部を拭く



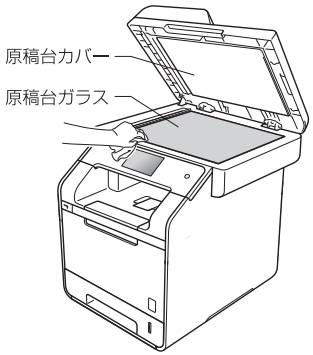
4 ADF（自動原稿送り装置）カバーと原稿トレイを閉じる

ADF（自動原稿送り装置）カバーの中心を押して、左右が閉じていることを確認してください。

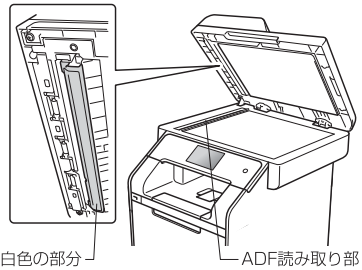
5 原稿台カバーを開く

6 清掃する

1 原稿台ガラスと原稿台カバーを拭く

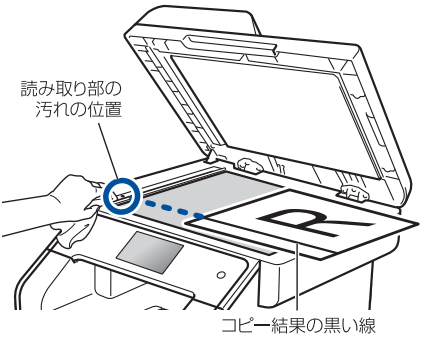


2 原稿台カバー（白色の部分）とADF読み取り部を拭く



注意

■コピーで黒く細い線が入るときには、ADF 読み取り部の清掃を行ってください。非常に細かい汚れ（ボールペンのインクや修正液など）が付着している場合がありますので、ていねいに拭いてください。



■汚れが見えない場合は、ADF 読み取り部のガラスを手で触れて汚れの位置を確認し、水やぬるま湯を含ませた柔らかい布を固く絞って念入りに拭いてください。最後にADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてコピーし、黒い線が消えたか確認してください。

7 原稿台カバーを閉じる

8 本製品の電源をONにする

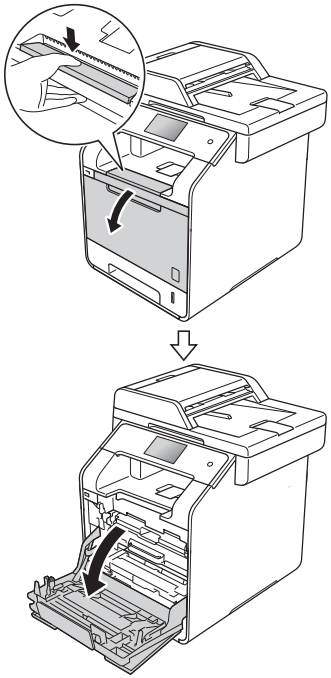
本製品内部を清掃する

本製品内部のスキャナーウインドーが汚れていると、印刷の濃度が薄くなります。次の手順でスキャナーウインドーを清掃してください。

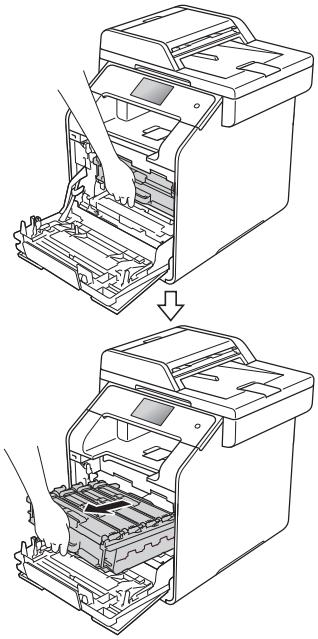
1 本製品の電源をOFFにする

2 清掃部を開く

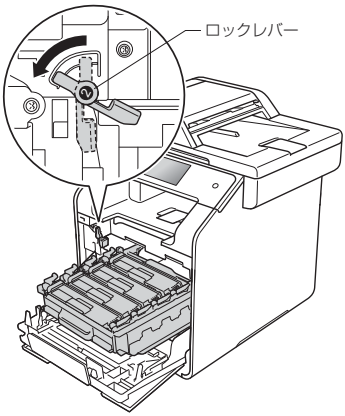
1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く



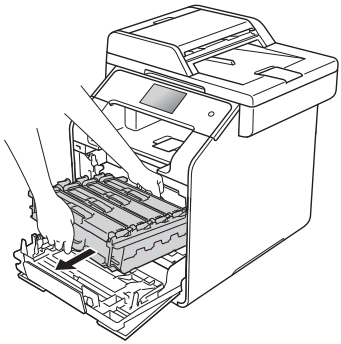
2 ドラムユニットの青色の取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す



3 本製品左側にある青色のロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す

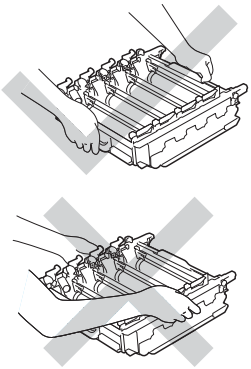


4 ドラムユニットの青色の取っ手を持って、本製品から取り出す



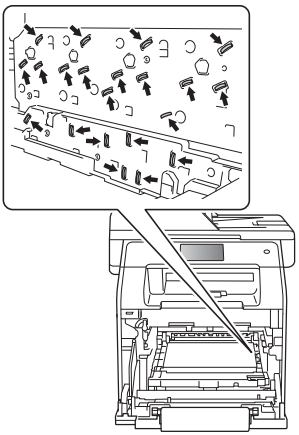
! 重要

■ ドラムユニットを持つときは、ドラムユニットの青色の取っ手を持ってください。

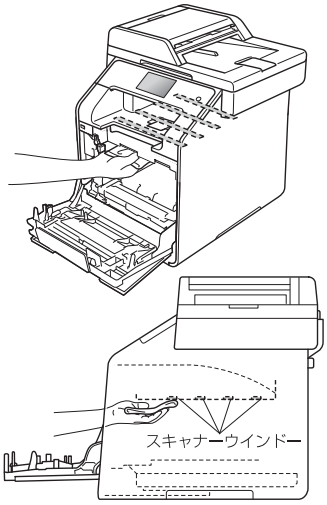


■ ドラムユニットを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■ 本製品の内部を操作するときは、以下の図で矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。



3 柔らかい乾いた布でスキャナーウインドーを拭く

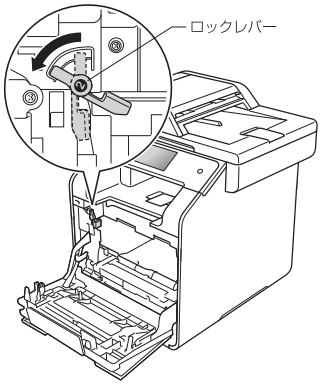


注意

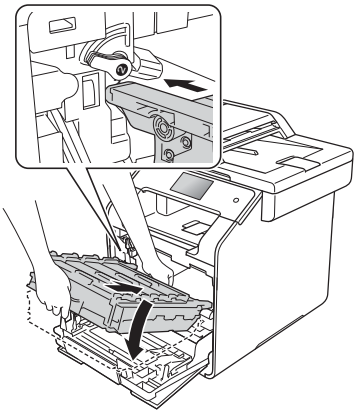
スキャナーウインドーはアルコールを浸した布で拭かないでください。

4 清掃部を閉じる

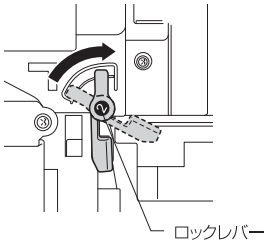
1 本製品左側にある青色のロックレバーがイラストのように上がっていることを確認する



2 ドラムユニットの先端の部分をイラストのように入れる



3 ロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す
ドラムユニットを奥へ押し込む前にロックレバーを下げてください。



4 ドラムユニットを奥へ押し込む
5 フロントカバーを閉じる

5 本製品の電源をONにする

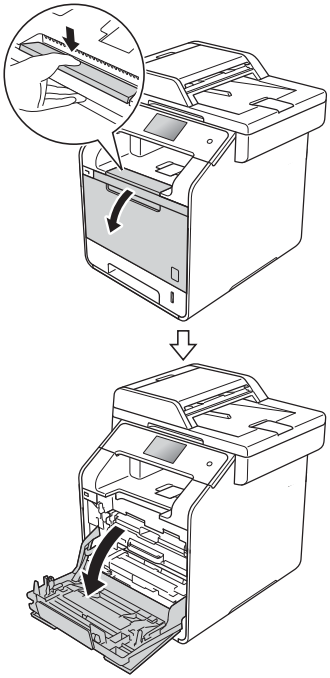
コロナワイヤーの清掃

コロナワイヤーが汚れていると、印刷された画像が黒っぽく汚れたり、垂直の線が入ることがあります。印刷したページに汚れが入る場合は、コロナワイヤーを清掃してください。

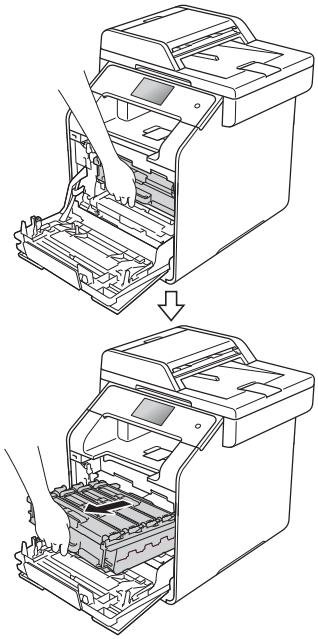
1 本製品の電源がONになっていることを確認する

2 清掃部を開ける

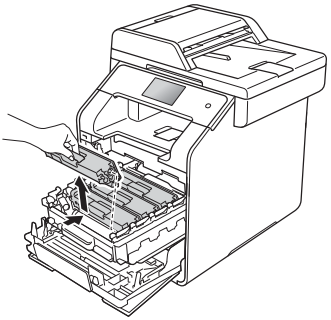
1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く



2 ドラムユニットの青色の取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す



3 すべてのトナーカートリッジをドラムユニットから取り出す



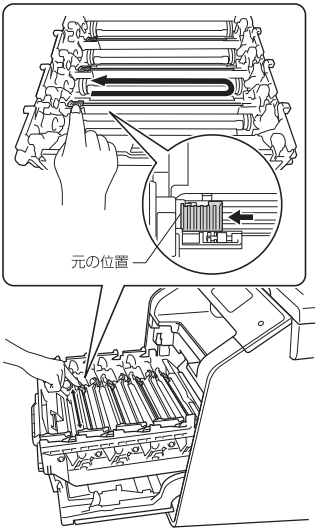
! 重要

■ トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■ トナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

3 清掃する

1 青色のつまみを2、3回往復させ、ドラムユニット内部のコロナワイヤーを清掃する

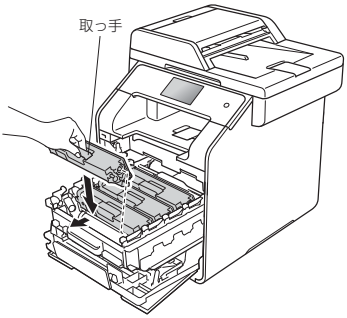


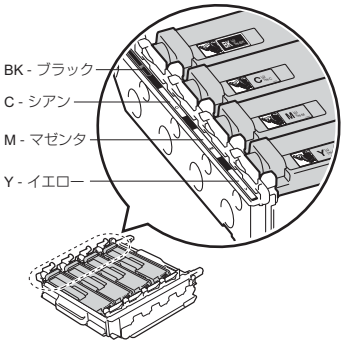
2 青色のつまみを元の位置に戻す
元の位置に戻っていないと、印刷した用紙に縦縞が入る場合があります。

3 残りのコロナワイヤーも清掃する

4 清掃部を閉じる

1 トナーカートリッジをドラムユニットの色表示に合わせて、正しい位置に取り付ける
取り付け後、トナーカートリッジの取っ手を手前に倒します。正しく取り付けると、カチッと音がします。





2 残りのトナーカートリッジもドラムユニットに取り付ける
3 ドラムユニットを奥へ押し込む
4 フロントカバーを閉じる

ドラムユニットの清掃

印刷したページに約 94mm 間隔で規則的な汚れが見つかったときは、ドラムユニットの清掃が必要です。

1 ドラムチェックシートを印刷する

1 本製品が待機状態であることを確認する

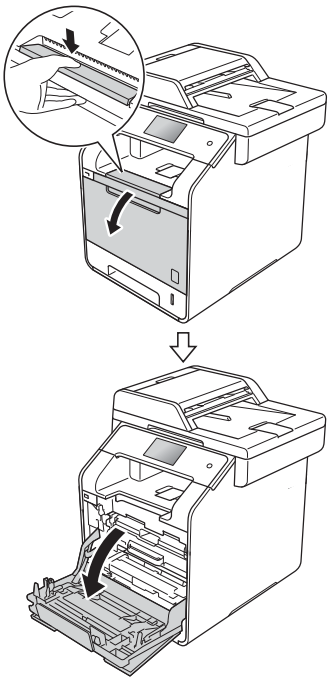
2 →【全てのメニュー】→【レポート印刷】→【ドラム汚れ印刷】を押し【OK】を押す
ドラムチェックシートが印刷されます。

3 を押す

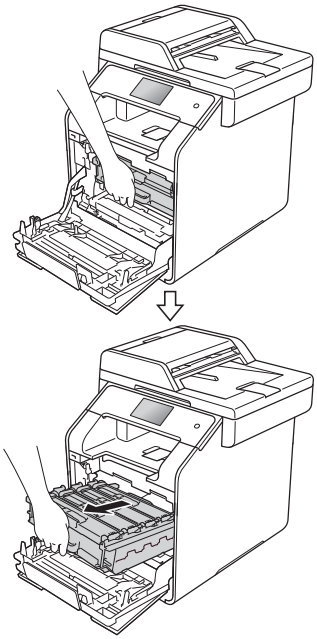
2 本製品の電源をOFFにする

3 ドラムユニットを取り出す

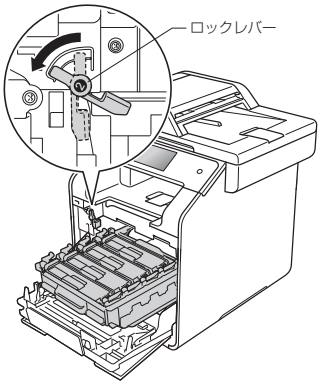
1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く



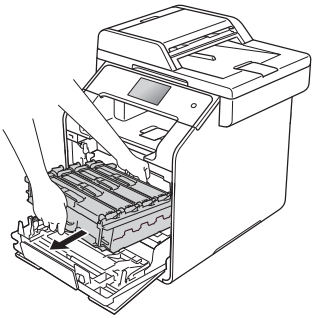
2 ドラムユニットの青色の取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す



3 本製品左側にある青色のロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す

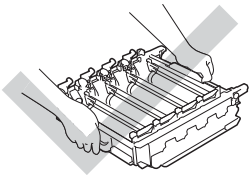


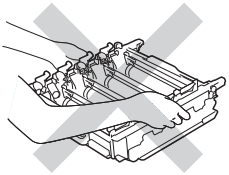
4 ドラムユニットの青色の取っ手を持って、本製品から取り出す



! 重要

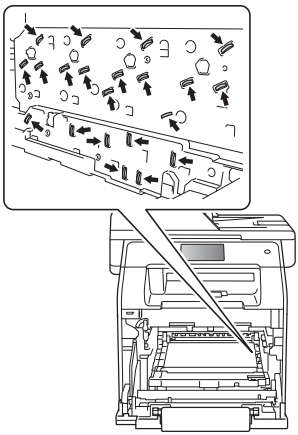
■ ドラムユニットを持つときは、ドラムユニットの青色の取っ手を持ってください。



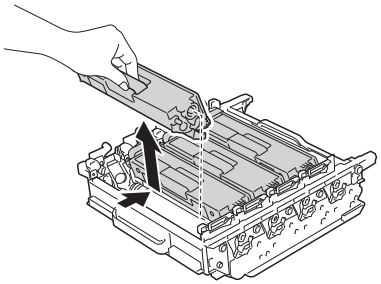


■ ドラムユニットを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■ 本製品の内部を操作するときは、以下の図で矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。



5 すべてのトナーカートリッジをドラムユニットから取り出す

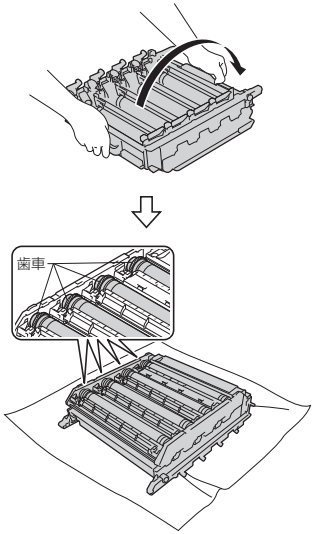


! 重要

■ トナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

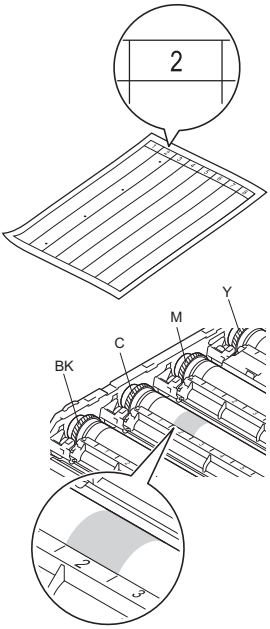
4 清掃する

1 ドラムユニットの歯車が青色の取っ手の左側になるように、取っ手を持ってドラムユニットを裏返す



2 印刷したドラムチェックシートを確認する
印刷された色と、該当する番号を確認します。

3 感光ドラムの汚れの場所を探す
ドラムチェックシートの番号と、ドラムユニットの該当番号を照らし合わせて、感光ドラムの汚れの場所を探します。

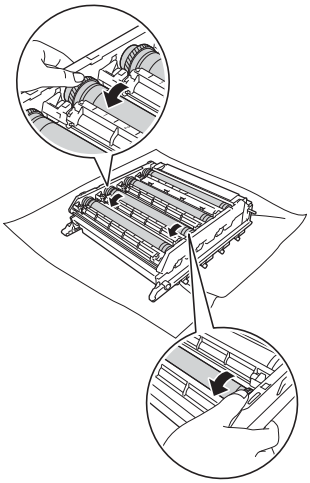


補足

例）ドラムチェックシートの「2」の欄にシアンの点がある場合は、ドラムユニットの該当番号「2」の範囲内の感光ドラム上に汚れがあります。

4 感光ドラムの汚れの場所を特定する

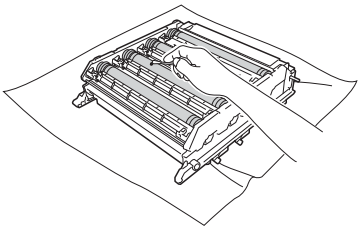
両手でドラムユニットの端を手前にゆっくり回しながら、感光ドラムの汚れの場所を手前にします。



! 重要

- 感光ドラムの表面は指で触れないでください。
- ドラムユニットの取り扱いには細心の注意を払ってください。

5 感光ドラムの表面に付いた汚れや付着物を綿棒でふき取る



注意

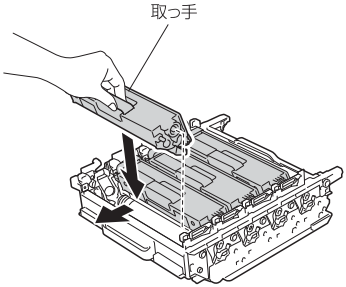
- 感光ドラムの表面は指で触れないでください。
- 感光ドラムの表面を尖ったもので拭かないでください。
- 電動器具は使用しないでください。

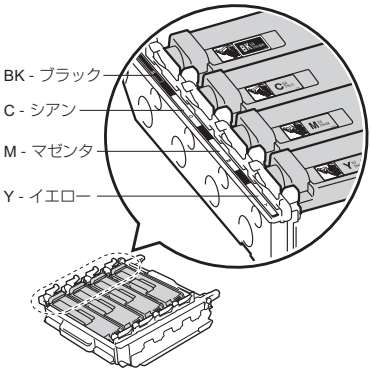
5 トナーカートリッジをドラムユニットに取り付ける

1 トナーカートリッジをドラムユニットの色表示に合わせて、正しい位置に取り付ける

取り付け後、トナーカートリッジの取っ手を手前に倒します。正しく取り付けると、カチッと音がします。

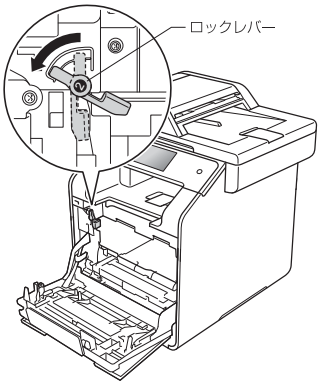
2 残りのトナーカートリッジもドラムユニットに取り付ける



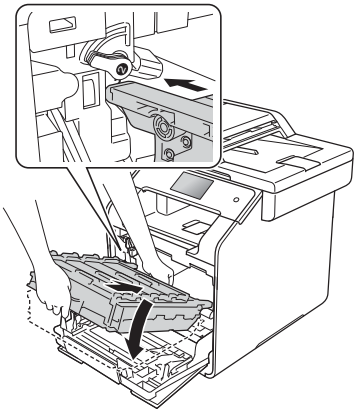


6 元の状態に戻す

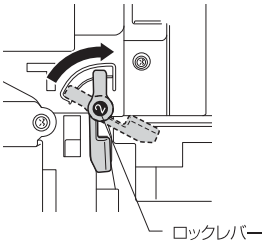
1 本製品左側にある青色のロックレバーがイラストのように上がっていることを確認する



2 ドラムユニットの先端の部分をイラストのように入れる



3 ロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す
ドラムユニットを奥へ押し込む前にロックレバーを下げてください。



4 ドラムユニットを奥へ押し込む

5 フロントカバーを閉じる

7 本製品の電源をONにする

給紙ローラーの清掃

給紙ローラーが汚れていると、記録紙を正常に給紙しないことがあります。その場合は、次の手順で給紙ローラーを清掃してください。

1 本製品の電源をOFFにする

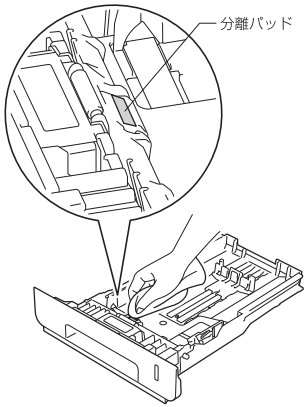
2 記録紙トレイを完全に引き出す

3 記録紙トレイから記録紙を取り出す

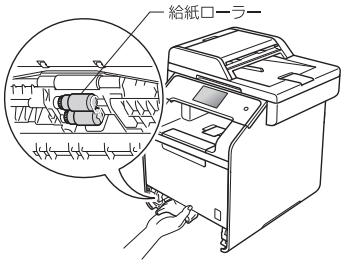
記録紙トレイ内につまった記録紙がある場合は取り除いてください。

4 清掃する

1 水またはぬるま湯を浸した柔らかい布を固く絞り、記録紙トレイ内の分離パッドを拭く



2 本製品内部にある給紙ローラー(2つ)を拭く

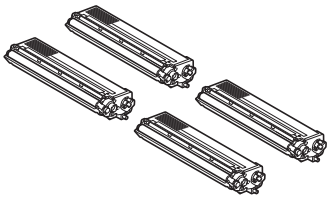
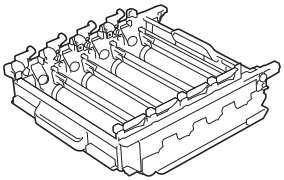
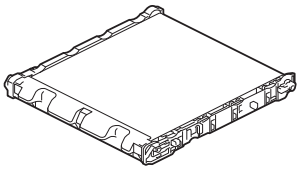
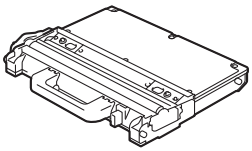


5 記録紙をセットして、記録紙トレイを本製品に戻す

6 本製品の電源をONにする

消耗品の交換

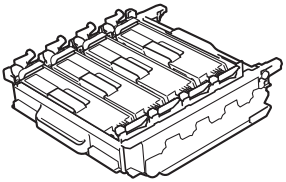
消耗品

トナーカートリッジ • 標準タイプ：　TN-391BK（ブラック）/ TN-391C（シアン）/ TN-391M（マゼンタ）/ TN-391Y（イエロー） • 大容量タイプ：TN-396BK（ブラック）/ TN-396C（シアン）/ TN-396M（マゼンタ）/ TN-396Y（イエロー）	ドラムユニット DR-391CL
	
⇒101ページ	⇒105ページ
ベルトユニット BU-320CL	**廃トナーボックス** WT-320CL
	
⇒112ページ	⇒118ページ

トナーカートリッジとドラムユニットについて

注意

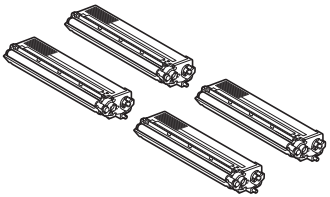
本製品では、画像を作成するドラムユニットにトナーカートリッジを取り付けて使用する仕組みになっています。トナーの残量がなくなったり、ドラムユニットが寿命により使用できなくなったりしたときには、必ず分離して、使用できなくなった部品のみを廃却し交換してください。



ドラムユニットにトナーカートリッジを取り付けた状態

トナーカートリッジ

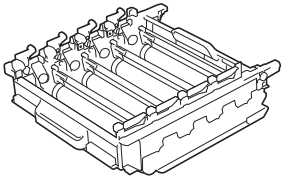
型番、印刷可能枚数については以下の表を参照してください。



シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの文字を書いたり表面に色づけするための粉末（トナー）が入っています。

ドラムユニット

型番：DR-391CL



トナーを記録紙に写すユニットです。

	シアン		マゼンタ		イエロー		ブラック	
	型番	印刷可能枚数	型番	印刷可能枚数	型番	印刷可能枚数	型番	印刷可能枚数
付属トナーカートリッジ	–	約1,500枚	–	約1,500枚	–	約1,500枚	–	約2,500枚
標準トナーカートリッジ	TN-391C	約1,500枚	TN-391M	約1,500枚	TN-391Y	約1,500枚	TN-391BK	約2,500枚
大容量トナーカートリッジ	TN-396C	約3,500枚	TN-396M	約3,500枚	TN-396Y	約3,500枚	TN-396BK	約4,000枚

印刷可能枚数はJIS X 6932（ISO/IEC 19798）規格に基づく公表値を満たしています。
（JIS X 6932（ISO/IEC 19798）とはカラー電子写真方式プリンター用トナーカートリッジの印刷枚数を測定するための試験方法を定めた規格です。）

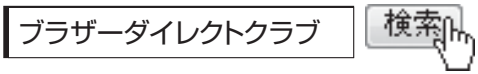
交換のしかたについては、⇒101ページ「トナーカートリッジの交換」、または⇒105ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法

お近くの家電量販店で取り扱っておりますが、弊社直販サイトのダイレクトクラブでもご購入できます。インターネット、電話またはご注文シートのFAXにてご注文いただくことができます。

●インターネットからのご注文

ブラザーダイレクトクラブ
http://direct.brother.co.jp



●お電話でのご注文

フリーダイヤル： 0120-118-825
（土・日・祝日、長期休暇を除く9時～12時、13時～17時）

●FAXでのご注文

ご注文シートをダイレクトクラブまでFAXしてください。
FAX番号：052-825-0311

トナーカートリッジとドラムユニット交換時の注意

⚠警告



■ ドラムユニットやトナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。
また、火気のある場所に保管しないでください。
トナーに引火して、火災ややけどの原因となります。



■ 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。
また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
可燃性スプレーの例は次のとおりです。
・ほこり除去スプレー　・殺虫スプレー　・アルコールを含む除菌、消臭スプレー
・アルコールなどの有機溶剤や液体など

■ トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布で拭き取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

⚠注意

■ トナーが飛び散ることがありますので、目に入ったりしないように注意してください。

■ 誤ってトナーが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

！重要

■ ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■ 使用済みのトナーカートリッジにはトナーの粉が残っている場合があるので、取り扱いには注意してください。

■ トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■ 開封したドラムユニットが直射日光や過度の室内光を受けると、ドラムユニットが損傷することがあります。

■ トナーカートリッジは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品をご使用ください。⇒ 97 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。純正品以外のトナーカートリッジやリサイクルトナーを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

■ ドラムユニットは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品をご使用ください。⇒ 97 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。純正品以外のドラムユニットを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

注意

■トナーカートリッジは、本製品に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。

■使用済みのトナーカートリッジを廃棄するときは、アルミニウムバッグ※に入れ、しっかりと封をして、粉末がカートリッジからこぼれないようにしてください。販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。⇒33ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。なお、お客様で処理される場合は、地域の規則に従って廃棄してください。

■ドラムユニットは本製品に取り付ける直前に開封してください。

■使用済みのドラムユニットを廃棄するときは、プラスチックバッグ※に入れ、しっかりと封をして、粉末がドラムユニットからこぼれないようにしてください。販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。⇒33ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。なお、お客様で処理される場合は、地域の規則に従って廃棄してください。

※: 新品のトナーカートリッジ、またはドラムユニットが入っていた袋をご利用ください。

トナーカートリッジの交換

ブラザー製消耗品のリサイクルにご協力をお願いいたします。⇒33ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。

補足

- 本製品は、次の 2 つの方法でトナーカートリッジの交換時期を検出します。　①印刷に使用される各色のドット数のカウントによる検出。②現像ローラーの回転数のカウントによる検出。このいずれかが上限値になると印刷を停止し、画質劣化や製品損傷を防ぎます。
- 最良の性能を発揮させるために、ブラザー純正ドラムユニットおよびトナーカートリッジを使用してください。本製品は、清潔でちりやほこりが発生せず、適度の換気が行われている環境において使用してください。
- お近くでトナーカートリッジが手に入らないときは、⇒ 98 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法」を参照してください。
- トナーカートリッジを交換するタイミングに合わせて、本製品も掃除することをおすすめします。詳しくは⇒82ページ「定期メンテナンス」を参照してください。

まもなくトナーカートリッジ交換のメッセージ

本製品はトナーカートリッジの寿命を検知し、交換時期が近づくと画面に次のメッセージが表示されます。

まもなくトナー交換

補足

- 画面に【まもなくトナー交換】のメッセージが表示されたときは、トナーカートリッジの交換時期が近づいています。画面に表示された色の新しいトナーカートリッジを購入し、【トナーを交換してください】が表示される前に準備しておいてください。
- 印刷結果がかすれる場合は、トナーカートリッジ内のトナーを均等にするために、両手でドラムユニット（トナーカートリッジを装着したまま）を持ち、数回左右にゆっくりと振ってください。

トナーカートリッジ交換のメッセージ

さらに使い続けると画面に次のメッセージが表示されます。

トナーを交換してください

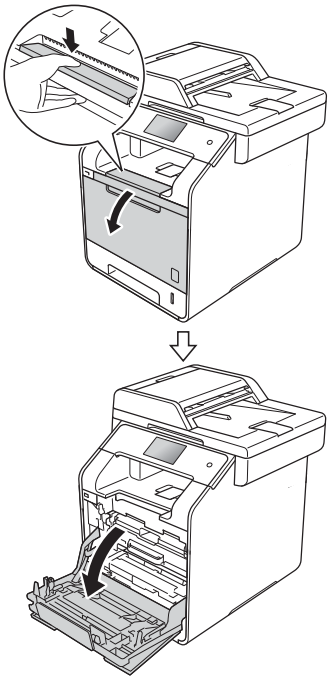
交換する必要のあるトナーカートリッジの色が表示されます。
一度この表示になるとトナーカートリッジを交換しないと印刷やコピーができなくなります。新しいトナーカートリッジに交換してください。

トナーカートリッジを交換する

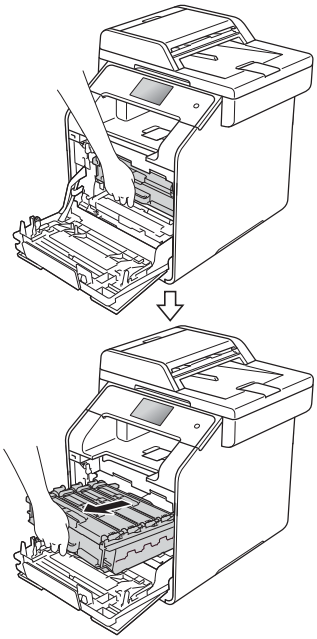
1 本製品の電源がONになっていることを確認する

2 トナーカートリッジを取り出す

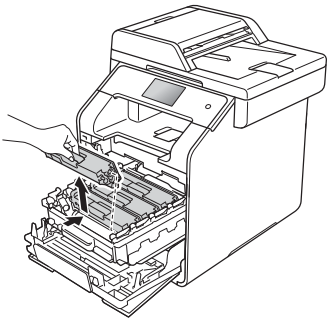
1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く



2 ドラムユニットの青色の取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す



3 すべてのトナーカートリッジをドラムユニットから取り出す



⚠警告

■ トナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。
また、火気のある場所に保管しないでください。トナーに引火して、火災ややけどの原因となります。

■ 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。
また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
可燃性スプレーの例は次のとおりです。
・ほこり除去スプレー
・殺虫スプレー
・アルコールを含む除菌、消臭スプレー
・アルコールなどの有機溶剤や液体など

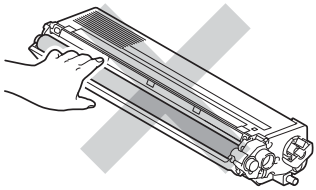
■ トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布で拭き取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

!重要

■ トナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■ 印刷品質の劣化を防止するため、イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。

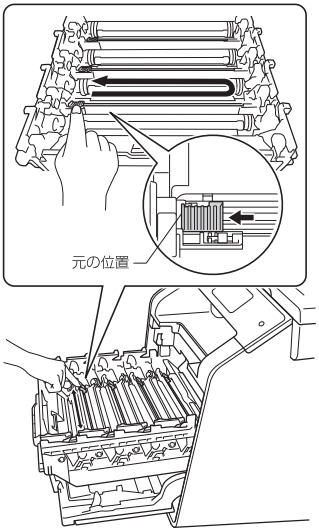
<トナーカートリッジ>



■ トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

3 コロナワイヤーを清掃する

1 青色のつまみを2、3回往復させ、ドラムユニット内部のコロナワイヤーを清掃する

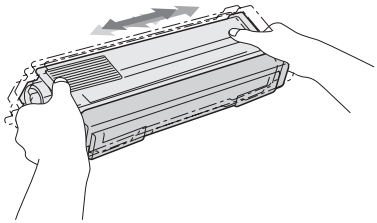


2 青色のつまみを元の位置に戻す
元の位置に戻っていないと、印刷した用紙に縦縞が入る場合があります

3 残りのコロナワイヤーも清掃する

4 交換する

1 新しいトナーカートリッジを開封し、トナーが均等になるように左右に5～6回ゆっくりと振る



! 重要

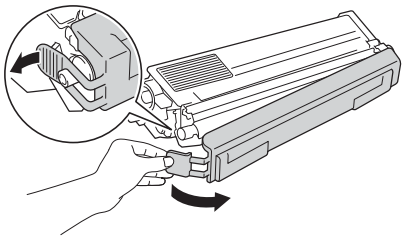
■ トナーカートリッジは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品をご使用ください。⇒97 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。
純正品以外のトナーカートリッジやリサイクルトナーを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

■ 純正品以外のトナーカートリッジやリサイクルトナーを使用した場合、故障の原因となり、本製品の保証が無効になります。

注意

トナーカートリッジは、本製品に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。

2 保護カバーを取り除く

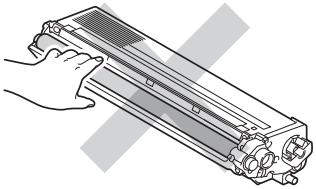


! 重要

新しいトナーカートリッジの保護カバーを取り外した後、トナーカートリッジをドラムユニットに取り付けてください。

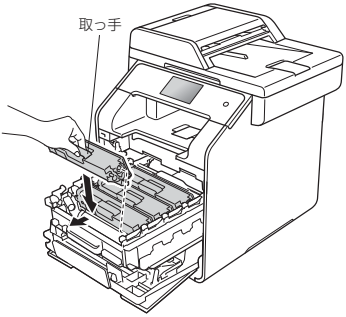
印刷品質の劣化を防止するため、イラストのグレー部分には触れないようにしてください。

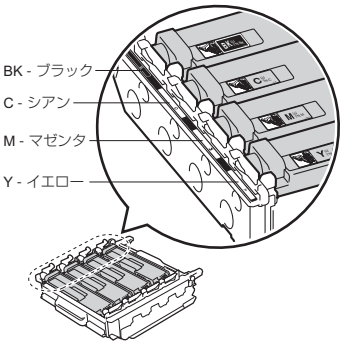
＜トナーカートリッジ＞



3 トナーカートリッジをドラムユニットの色表示に合わせて、正しい位置に取り付ける

取り付け後、トナーカートリッジの取っ手を手前に倒します。正しく取り付けると、カチッと音がします。





5 元の状態に戻す

1 ドラムユニットとトナーカートリッジを元の位置に戻す

2 フロントカバーを閉じる

注意

画面に【お待ちください】と表示されますので、そのままお待ちください。途中で本製品の電源をOFFにしたり、フロントカバーを開けると、新しいトナーを検知できない場合があります。

ドラムユニットの交換

本製品は、ドラムの回転数によってドラムユニットの交換時期が決定され、あらかじめ設定されている回転数に達すると、画面にドラムユニットの交換をお知らせするメッセージが表示されます。印刷を続けることもできますが、印刷品質が低下します。
ブラザー製消耗品のリサイクルにご協力をお願いいたします。詳しくは⇒33ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。

補足

- ドラムユニットの交換時期に影響する要因は、湿度や湿度、記録紙の種類、使用するトナーの種類、印刷ジョブごとの印刷枚数などです。理想的な印刷条件下での平均的なドラムユニットの交換周期は約 25,000 枚です。実際のドラムユニットの印刷可能枚数は、印刷条件によってはこれよりも大幅に少ないこともあります。このため、実際の印刷可能枚数を保証することはできません。
- 最良の性能を発揮させるために、ブラザー純正ドラムユニットおよびトナーカートリッジを使用してください。本製品は、清潔でちりやほこりが発生せず、適度の換気が行われている環境において使用してください。
- お近くでドラムユニットが手に入らないときは、⇒98ページ「トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法」を参照してください。
- ドラムユニットを交換するタイミングに合わせて、本製品も掃除することをおすすめします。
⇒82ページ「定期メンテナンス」を参照してください。

ドラムユニットエラーのメッセージ

ドラム お手入れ

【ドラム お手入れ】のメッセージが表示されたときは、コロナワイヤーが汚れています。コロナワイヤーの清掃をしてください。⇒88ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。
コロナワイヤーの清掃をしても、【ドラム お手入れ】表示が消えない場合は、新しいドラムユニットを購入し、交換してください。
⇒107ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。

まもなくドラムユニット交換のメッセージ

本製品はドラムユニットの寿命を検知し、交換時期が近づくと画面に表示して、お知らせします。

まもなくドラム交換

【まもなくドラム交換】のメッセージが表示されたときは、ドラムユニットの交換時期が近づいています。新しいドラムユニットを購入し、【ドラム交換】が表示される前に準備しておいてください。

補足

メッセージが表示されていても、しばらくの間はドラムユニットを交換せずに継続して印刷できることもありますが、しだいに印刷品質は低下しますので、新しいドラムユニットを購入し、交換することをおすすめします。

ドラムユニット交換のメッセージ

さらに使い続けると画面に次のメッセージが表示されます。

ドラム交換

【ドラム交換】のメッセージが表示されたときは、ドラムユニットを交換してください。

ドラムユニット停止のメッセージ

ドラム停止

【ドラム停止】のメッセージが表示されたときは、印刷品質を保証できません。新しいドラムユニットに交換してください。
ドラムユニットを交換したときは、ドラムユニットのカウンターをリセットしてください。

ドラムユニットを交換する

新しいドラムユニットに交換した場合は、ドラムユニットのカウンターをリセットする必要があります。

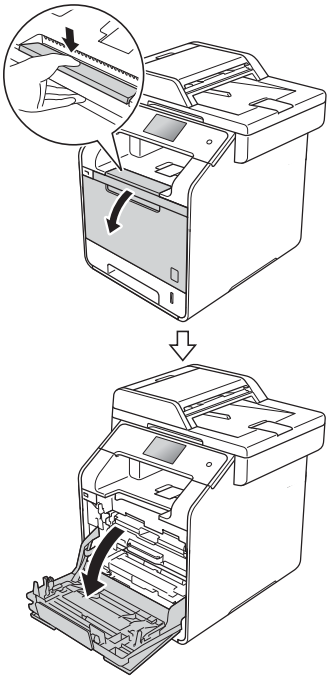
! 重要

使用済みのドラムユニットを交換する場合は、トナーの粉が残っていることがあるので、取り扱いには注意してください。

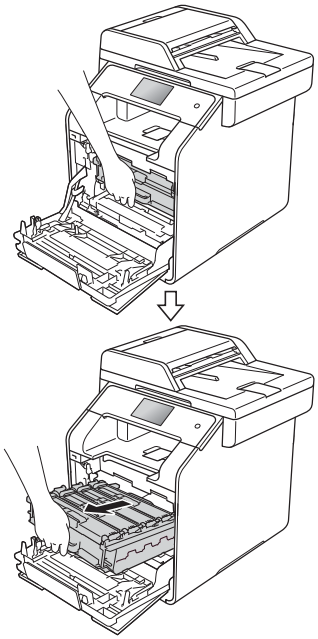
1 本製品の電源がONになっていることを確認する

2 ドラムユニットを取り出す

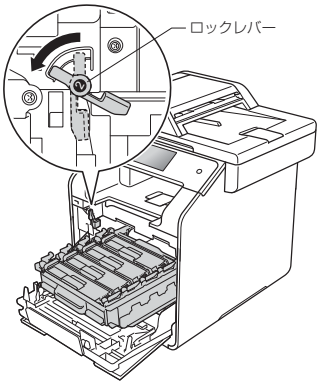
1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く



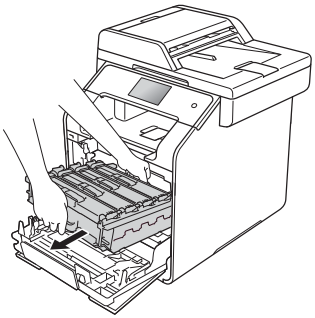
2 ドラムユニットの青色の取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す



3 本製品左側にある青色のロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す

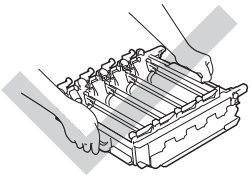


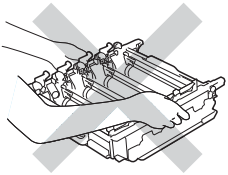
4 ドラムユニットの青色の取っ手を持って、本製品から取り出す



! 重要

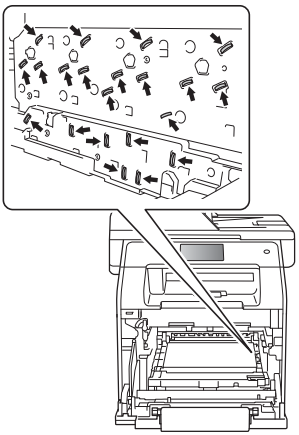
■ ドラムユニットを持つときは、ドラムユニットの青色の取っ手を持ってください。



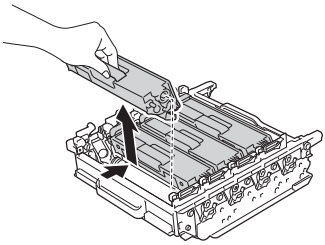


■ ドラムユニットを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■ 本製品の内部を操作するときは、以下の図で矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。



5 すべてのトナーカートリッジをドラムユニットから取り出す



⚠警告

■ トナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。
また、火気のある場所に保管しないでください。
トナーに引火して、火災ややけどの原因となります。

■ 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。
また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
可燃性スプレーの例は次のとおりです。
・ほこり除去スプレー
・殺虫スプレー
・アルコールを含む除菌、消臭スプレー
・アルコールなどの有機溶剤や液体など

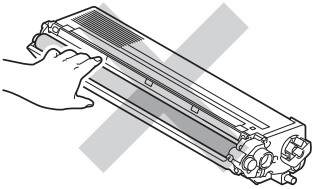
■ トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布で拭き取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

!重要

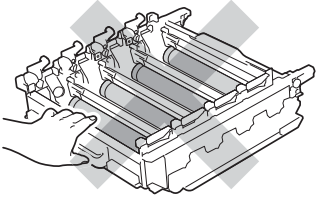
■ トナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

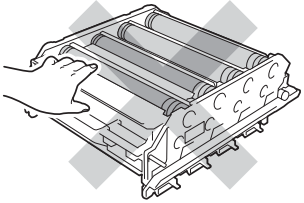
■ 印刷品質の劣化を防止するため、イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。

＜トナーカートリッジ＞



＜ドラムユニット＞

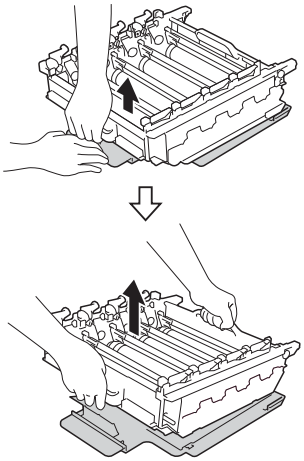




■ トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

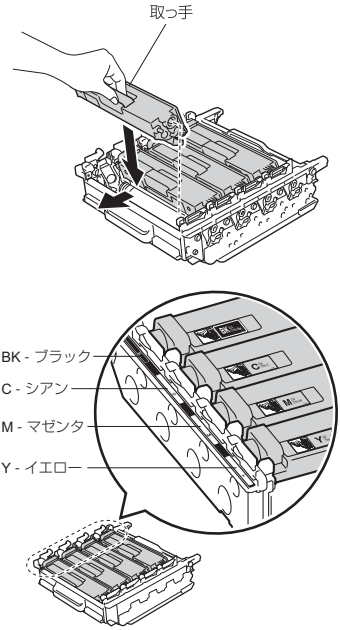
3 交換する

1 新しいドラムユニットを開封し、保護カバーを外す



2 トナーカートリッジをドラムユニットの色表示に合わせて、正しい位置に取り付ける

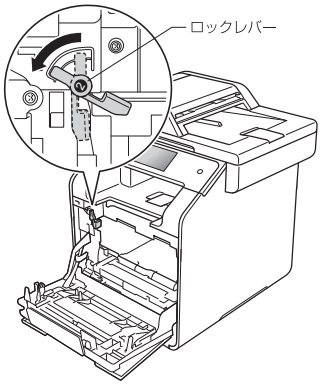
取り付け後、トナーカートリッジの取っ手を手前に倒します。正しく取り付けると、カチッと音がします。



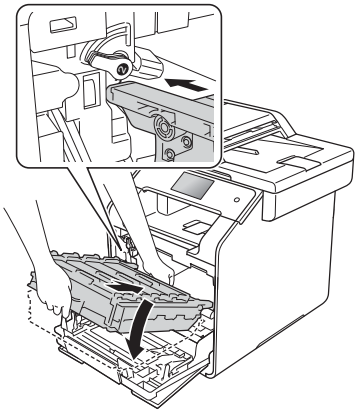
3 残りのトナーカートリッジもドラムユニットに取り付ける

4 元の状態に戻す

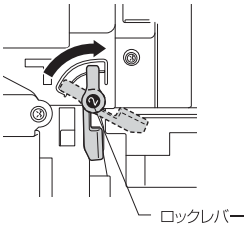
1 本製品左側にある青色のロックレバーがイラストのように上がっていることを確認する



2 ドラムユニットの先端の部分をイラストのように入れる



3 ロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す
ドラムユニットを奥へ押し込む前にロックレバーを下げてください。



4 ドラムユニットを奥へ押し込む

5 フロントカバーを閉じる

ドラムユニットのカウンターをリセットする

ドラムユニットを交換したときは、ドラムユニットのカウンターをリセットしてください。

1 本製品が待機状態であることを確認する
画面にエラーメッセージが表示されているときは、を押して待機状態にしてください。

2 →【全てのメニュー】を押す

3 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して【製品情報】を押す

4 【消耗品リセット】を押す

5 【ドラム】を押す

6 【はい】を押す

7 を押す

ベルトユニットの交換

ブラザー製消耗品のリサイクルにご協力をお願いいたします。詳しくは⇒33 ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。

まもなくベルトユニット交換のメッセージ

まもなくベルトユニット交換

【まもなくベルトユニット交換】のメッセージが表示されたときは、ベルトユニットの交換時期が近づいています。

補足

画面に【まもなくベルトユニット交換】が表示されていても、しばらくの間はベルトユニットを交換せずに継続して印刷できることもありますが、しだいに印刷品質は低下しますので、新しいベルトユニットを購入し、交換することをおすすめします。

ベルトユニット交換のメッセージ

さらに使い続けると画面に次のメッセージが表示されます。

ベルトユニット交換

【ベルトユニット交換】のメッセージが表示されたときは、ベルトユニットを交換する必要があります。
ベルトユニットを交換したときは、ベルトユニットのカウンターをリセットしてください。

⚠警告



■ ベルトユニットを火の中に投げ込まないでください。
また、火気のある場所に保管しないでください。
火災ややけどの原因となります。



■ 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。
また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
可燃性スプレーの例は次のとおりです。
・ほこり除去スプレー
・殺虫スプレー
・アルコールを含む除菌、消臭スプレー
・アルコールなどの有機溶剤や液体など

■ トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布で拭き取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

⚠注 意

■ トナーが飛び散ることがありますので、目に入ったりしないように注意してください。
■ 誤ってトナーが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

! 重 要

■ ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。
■ トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
■ ベルトユニットは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品をご使用ください。純正品以外のベルトユニットを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

注意

■使用済みのベルトユニットを廃棄するときは、プラスチックバッグ※に入れ、しっかりと封をしてください。販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。
⇒33ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。なお、お客様で処理される場合は、地域の規則に従って廃棄してください。

■ベルトユニットの誤った取り扱いによる故障は保証の対象とはなりません。

■ベルトユニットは再利用しないでください。

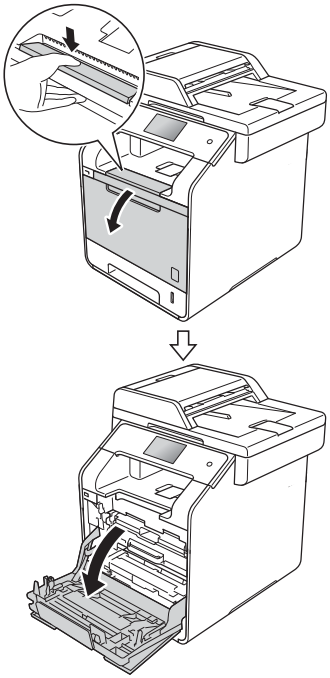
※ :新品のベルトユニットが入っていた袋をご利用ください。

ベルトユニットを交換する

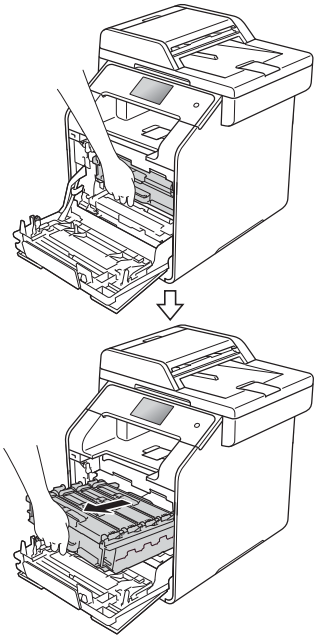
1 本製品の電源がONになっていることを確認する

2 ベルトユニットを取り出す

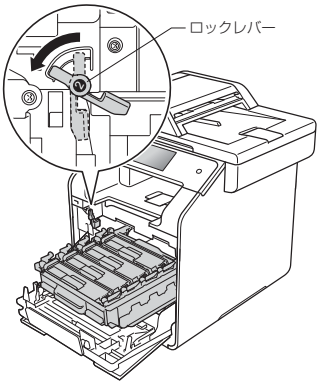
1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く



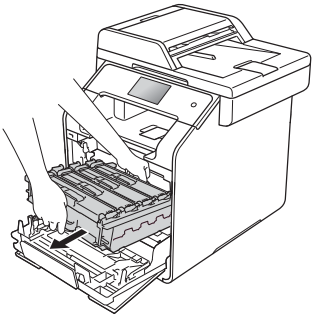
2 ドラムユニットの青色の取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す



3 本製品左側にある青色のロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す

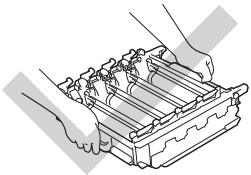


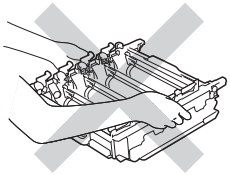
4 ドラムユニットの青色の取っ手を持って、本製品から取り出す



! 重要

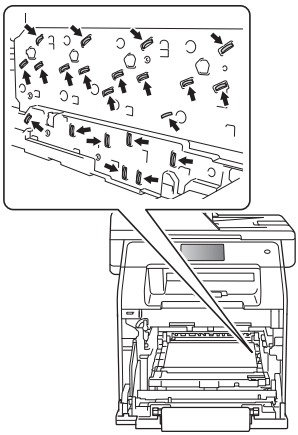
■ ドラムユニットを持つときは、ドラムユニットの青色の取っ手を持ってください。





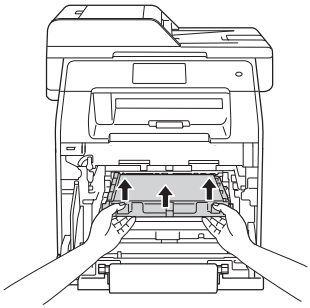
■ ドラムユニットを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■ 本製品の内部を操作するときは、以下の図で矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。



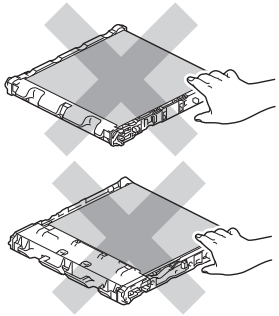
■ ドラムユニットの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

5 ベルトユニットの青色の部分を両手で持ってベルトユニットを持ち上げ、ゆっくり取り出す



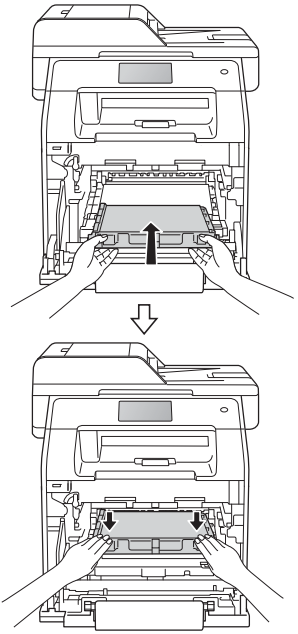
! 重要

ベルトユニットを持つときは、イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。



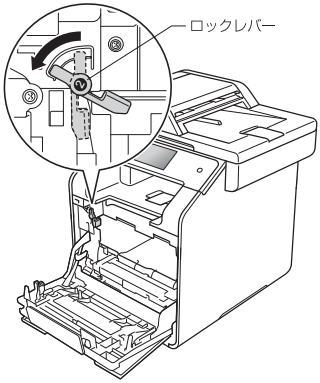
3 交換する

新しいベルトユニットを開封し、本製品に取り付ける

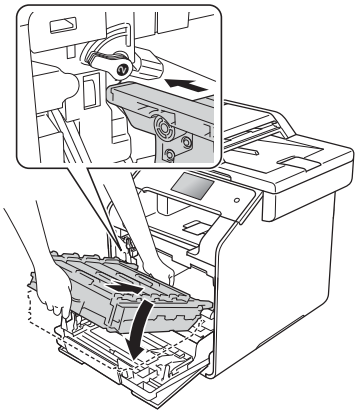


4 元の状態に戻す

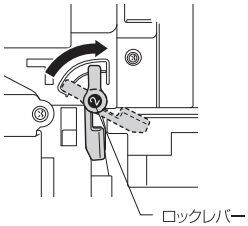
1 本製品左側にある青色のロックレバーがイラストの位置にあるか確認する



2 ドラムユニットの先端の部分をイラストのように入れる



3 ロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す
ドラムユニットを奥へ押し込む前にロックレバーを下げてください。



4 ドラムユニットを奥へ押し込む
5 フロントカバーを閉じる

ベルトユニットのカウンターをリセットする

ベルトユニットを交換したときは、ベルトユニットのカウンターをリセットしてください。

1 **本製品が待機状態であることを確認する**
画面にエラーメッセージが表示されているときは、を押して待機状態にしてください。

2 →【全てのメニュー】を押す

3 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して【製品情報】を押す

4 【消耗品リセット】を押す

5 【ベルトユニット】を押す

6 【はい】を押す

7 を押す

廃トナーボックスの交換

ブラザー製消耗品のリサイクルにご協力をお願いいたします。詳しくは⇒33 ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。

まもなく廃トナーボックス交換のメッセージ

まもなく廃トナーボックス交換

【まもなく廃トナーボックス交換】のメッセージが表示されたときは、廃トナーボックスの交換時期が近づいています。

廃トナーボックス交換のメッセージ

廃トナーボックス交換

【廃トナーボックス交換】のメッセージが表示されたときは、廃トナーボックスが一杯になっているので、廃トナーボックスを交換してください。

⚠警告

■ 廃トナーボックスを火の中に投げ込まないでください。
また、火気のある場所に保管しないでください。
爆発するおそれがあります。



■ 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。
また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
可燃性スプレーの例は次のとおりです。
・ほこり除去スプレー　・殺虫スプレー　・アルコールを含む除菌、消臭スプレー
・アルコールなどの有機溶剤や液体など

■ トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布で拭き取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

⚠注意

■ トナーが飛び散ることがありますので、目に入ったりしないように注意してください。

■ 誤ってトナーが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

! 重要

■ ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■ トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■ 廃トナーボックスは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品をご使用ください。純正品以外の廃トナーボックスを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

注意

■使用済みの廃トナーボックスを廃棄するときは、プラスチックバッグ※ に入れ、しっかりと封をしてください。販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。
⇒33ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。なお、お客様で処理される場合は、地域の規則に従って廃棄してください。

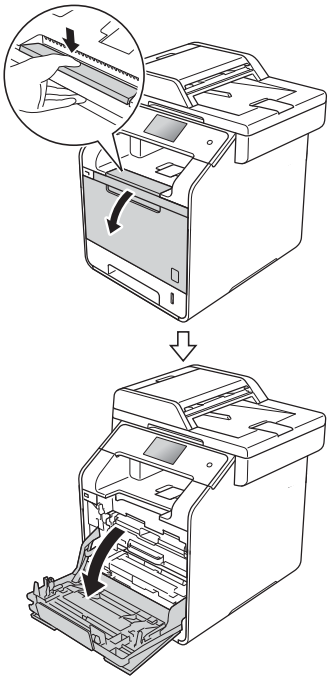
■廃トナーボックスは再利用しないでください。

※ :新品の廃トナーボックスが入っていた袋をご利用ください。

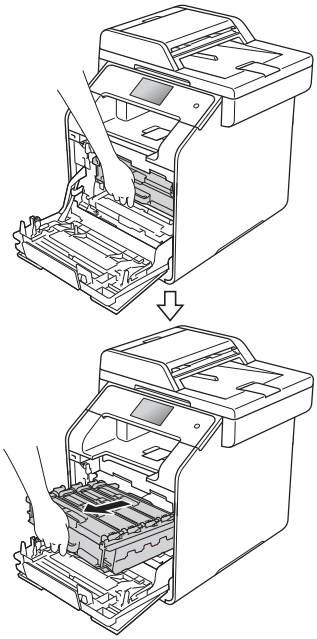
廃トナーボックスを交換する

1 廃トナーボックスを取り出す

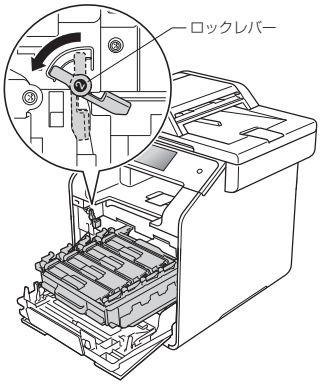
1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く



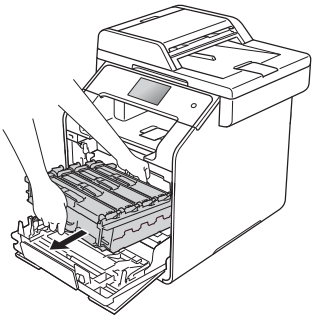
2 ドラムユニットの青色の取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す



3 本製品左側にある青色のロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す

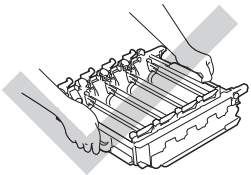


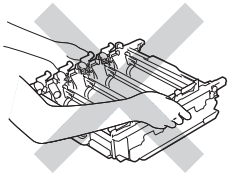
4 ドラムユニットの青色の取っ手を持って、本製品から取り出す



! 重要

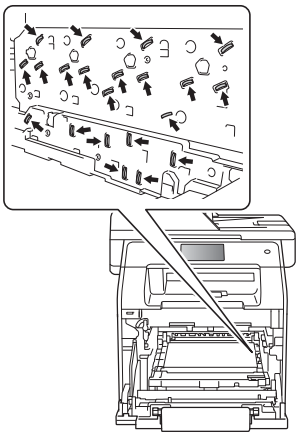
■ ドラムユニットを持つときは、ドラムユニットの青色の取っ手を持ってください。





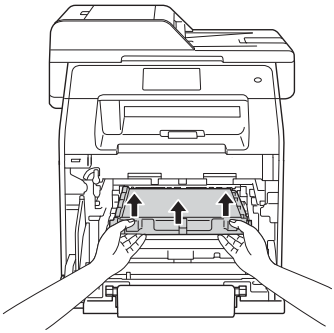
■ ドラムユニットを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■ 本製品の内部を操作するときは、イラストの矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。



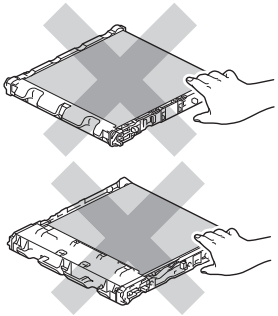
■ ドラムユニットの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

5 ベルトユニットの青色の部分を両手で持ってベルトユニットを持ち上げ、ゆっくり取り出す

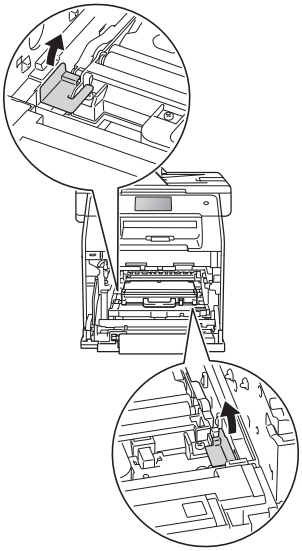


! 重要

ベルトユニットを持つときは、イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。



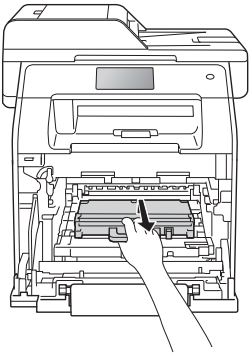
6 橙色の保護部材（2つ）を取り外す



補足

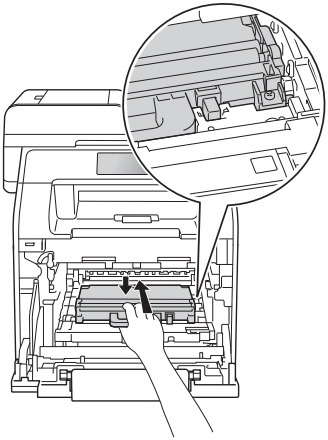
この手順は、はじめて廃トナーボックスを取り出すときのみ必要です。橙色の保護部材は工場出荷時に取り付けられています。廃トナーボックスの交換後、再度取り付ける必要はありません。

7 青色の取っ手を持って廃トナーボックスを取り出す



2 交換する

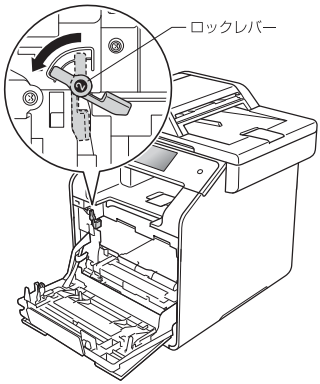
新しい廃トナーボックスを開封し、青色の取っ手を持って本製品に取り付ける



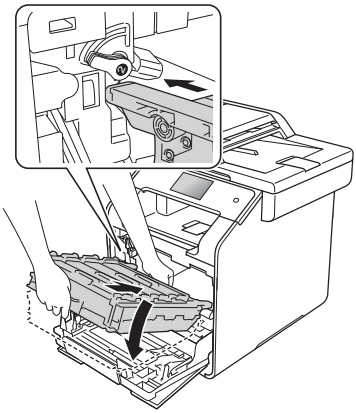
3 元の状態に戻す

1 ベルトユニットを本製品に戻す

2 本製品左側にある青色のロックレバーがイラストのように上がっていることを確認する

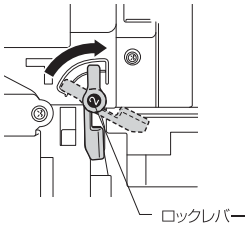


3 ドラムユニットの先端の部分をイラストのように入れる



4 ロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す

ドラムユニットを奥へ押し込む前にロックレバーを下げてください。



5 ドラムユニットを奥へ押し込む

6 フロントカバーを閉じる

定期交換部品の交換

画面に以下のエラーメッセージが表示されたときは、お客様相談窓口にご連絡ください。

- PF キットMP 交換
- PF キット1 交換
- PF キット2 交換
- ヒーター 交換
- レーザー 交換

補足

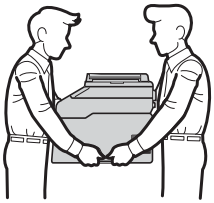
- PFキットMPとは多目的トレイ用のローラーホルダと分離パッドのキットです。
- PF キット 1/PF キット 2 とは標準記録紙トレイおよび増設記録紙トレイ用のローラーホルダ、分離パッド、分離パッドバネのキットです。
- PF キットMP の概算寿命は50,000 枚、その他の定期交換部品の概算寿命は100,000 枚です。残り寿命の確認は⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。

本製品を再梱包するときは

本製品を引越しなどで移動させるときには、購入時に梱包されていた箱や部品を使って再梱包します。以下に再梱包する手順を説明します。

⚠警告

- 本製品の質量は 20.0kg 以上あります。安全のため、本製品を持ち運ぶ際は、必ず 2 人以上でお持ちください。また、本製品を置くときには、指をはさまないように注意してください。
- オプションの増設記録紙トレイ（トレイ 2）をご使用の場合は、本製品から取り外してください。



⚠注意

再梱包を行う場合は、前もって電源を OFF にし、本製品内部を十分に冷ましてください。

! 重要

- 輸送中の破損を防ぐために、お買い上げ時に使用されていた梱包材を使用して、お買い上げ時の状態に再梱包してください。お買い上げ時に使用されていた梱包材は、開梱時に捨てずに大切に保管しておいてください。
- 本製品には、相応の輸送保険を掛けてください。

1 本製品の電源をOFFにし、熱が冷めるまで10分以上待つ

2 コード、ケーブルを取り外す

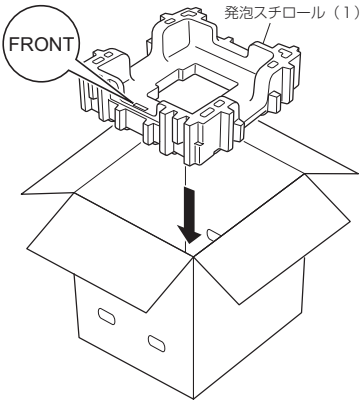
1 電源プラグをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す

本製品の背面と壁側のコンセントを両方とも外してください。

2 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す

3 発泡スチロール（1）を外箱に入れる

発泡スチロール（1）の「FRONT」の印を確認してください。

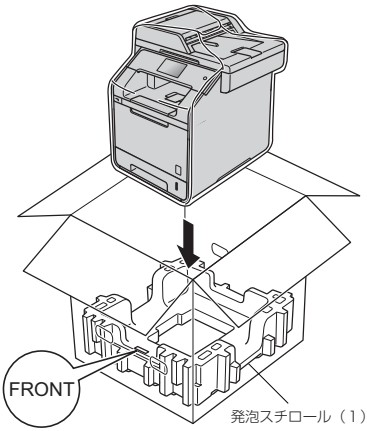


4 本製品や付属品を梱包する

1 本製品をビニール袋に入れる

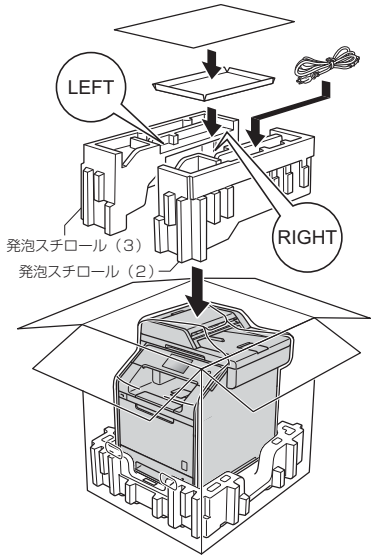
2 本製品をセットする

発泡スチロール（1）の「FRONT」の印と本製品の前面を合わせてセットしてください。



3 イラストのように、本製品の上に発泡スチロール（2）（3）をセットし、電源コードなどを入れる

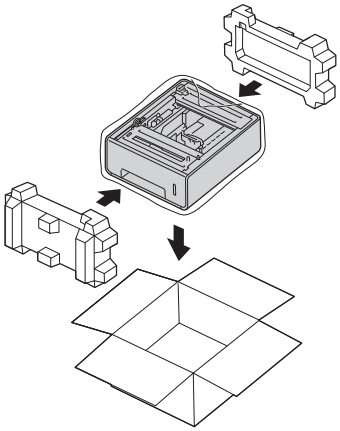
発泡スチロール（2）の「RIGHT」と本製品の右面、発泡スチロール（3）の「LEFT」と本製品の左面を合わせてセットしてください。



4 外箱をテープで閉じる

増設記録紙トレイの再梱包

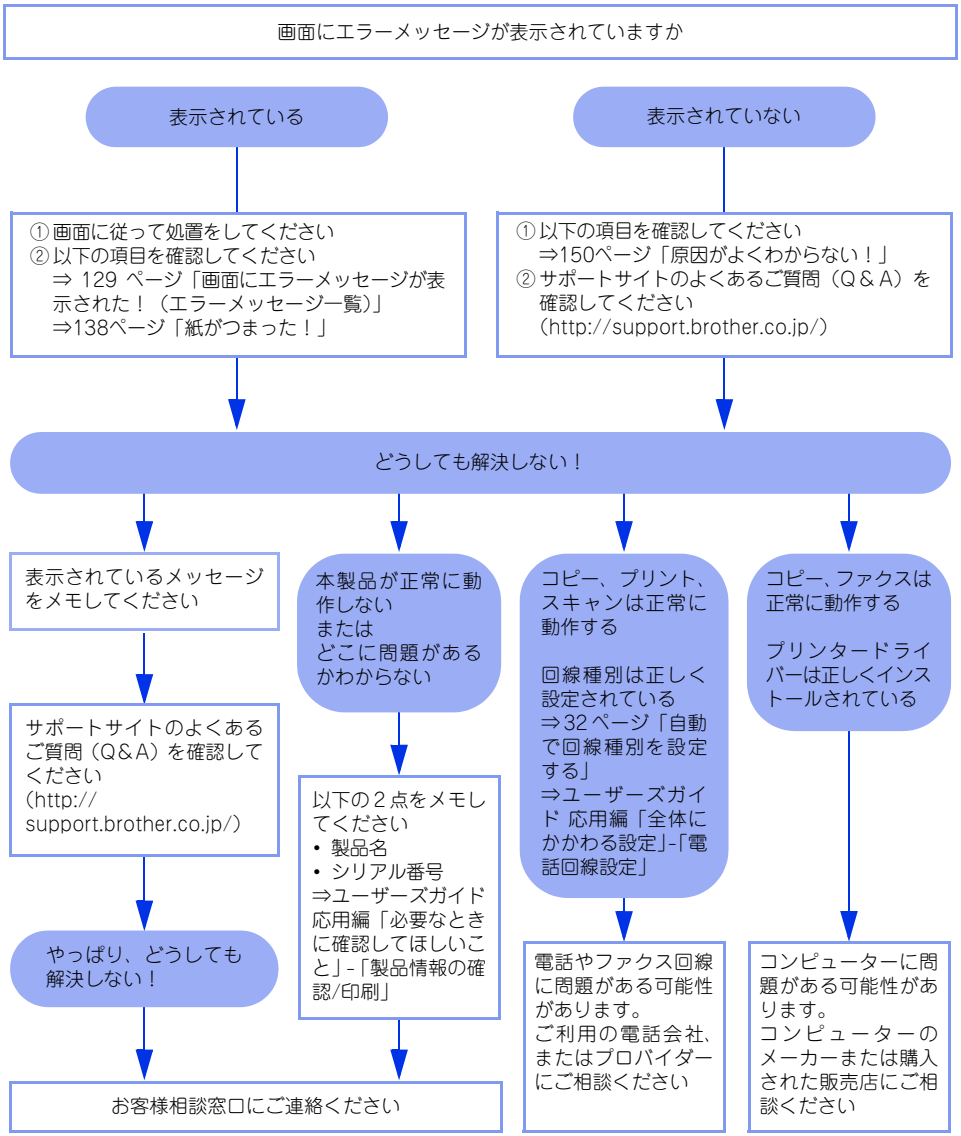
イラストのように増設記録紙トレイを再梱包してください。



4 困ったときには

解決のステップ～修理依頼される前に～

本製品を使用中にトラブルが起きたときの解決までのステップを説明します。
修理依頼される前にここを読んでみてください。



画面にエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）

本製品や電話回線に異常が発生した場合は、エラーメッセージとともに対処方法が画面に表示されます。画面に表示された対処方法や、下記の処置を行ってもエラーが解決しないときは、エラーメッセージを控えた後でお客様相談窓口にご連絡ください。

画面表示	解決方法
DIMM Error	**本製品の電源を OFF にし、メモリ（SO-DIMM）をいったん取り外し、再度正しく取り付けてください** 数秒後電源を入れ直します。再度エラーメッセージが表示された場合は、メモリ（SO-DIMM）を新しいものに交換してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。
IP取得方法をAutoにしてください	**→【ネットワーク】→【有線 LAN】または【無線 LAN】→【TCP/IP】の【IP取得方法】を【Auto】に設定してください** ⇒「ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク」を参照してください。
IPファクスをオフにしてください	**→【全てのメニュー】→【ファクス】→【データコネクト設定】の【IPファクス】を【オフ】に設定してください** ⇒ユーザーズガイド 応用編「IP ファクスの設定をする」を参照してください。
PF キット1 交換	**PF キット 1 の交換が必要です** お客様相談窓口にご連絡ください。
PF キット2 交換	**PF キット 2 の交換が必要です** お客様相談窓口にご連絡ください。
PF キットMP 交換	**PF キット MP の交換が必要です** お客様相談窓口にご連絡ください。
USBメモリに書き込みできません	**USB メモリの書き込み禁止機能をオフにしてください**
アクセスできません	**データ処理中に USB メモリなどの USB デバイスが取り外されました** を押して、USB デバイスを再度差し込み、ダイレクトプリントで印刷をしてください。

画面表示	解決方法
色ずれ補正 色補正	**【リトライ】を押して、再度色補正または色ずれ補正を行ってください** **本製品の電源を OFF にして、数秒後電源を入れ直し、色補正または色ずれ補正を行ってください** 色補正や色ずれ補正については、⇒ユーザーズガイド 応用編「色合いや色ずれを補正する」を参照してください。 **新しいベルトユニットを取り付けてください** ⇒ 112 ページ「ベルトユニットの交換」を参照してください。 **何度もエラーメッセージが表示される場合は、本製品を購入した販売店またはお客様相談窓口にご連絡ください**
印刷データがいっぱいです	**を押し、保存されているセキュリティ印刷のデータを消去してください** **市販のメモリ（SO-DIMM）で本製品のメモリを増やしてください** ⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。
印刷できません	**本製品の電源を OFF にして、数分後に電源を入れ直してください** メモリに記憶されたファクスデータは、電源を OFF にしても消去されません。ファクスデータをコンピューターに保存するときは、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。 **それでも問題が解決しない場合は、本製品のメモリに残っているファクスデータを別のファクス機に転送した後、お客様相談窓口にご連絡ください** ファクスデータの転送方法は、⇒ 137 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」を参照してください。
印刷ページ数超過	**セキュリティ機能ロック 3.0 で、印刷枚数の制限を確認してください** 詳しくは、管理者にお問い合わせください。
カバーが開いています	**定着ユニットカバーを完全に閉じてください** バックカバーを開けて、定着ユニットカバーを閉め直してください。紙がつまっている場合は、紙を取り除き、定着ユニットカバーを閉めてください。 **フロントカバー、または ADF（自動原稿送り装置）カバーを完全に閉じてください**

画面表示	解決方法
紙詰まり MPトレイ	**多目的トレイでつまっている記録紙を取り除いてください** ⇒ 141 ページ「多目的トレイに記録紙がつまったとき」を参照してください。
紙詰まり 後ろ	**本製品の背面でつまっている記録紙を取り除いてください** ⇒ 143 ページ「背面に記録紙がつまったとき」を参照してください。
紙詰まり トレイ1 紙詰まり トレイ2	**記録紙トレイでつまっている記録紙を取り除いてください** ⇒ 142 ページ「記録紙トレイに記録紙がつまったとき」を参照してください。
紙詰まり 内部	**本製品の内部でつまっている記録紙を取り除いてください** ⇒ 144 ページ「本製品の内部に記録紙がつまったとき」を参照してください。
紙詰まり 両面	**記録紙トレイの裏側でつまっている記録紙を取り除いてください** ⇒ 147 ページ「両面印刷時に記録紙がつまったとき」を参照してください。
機能がロックされています	**セキュリティ機能ロック 3.0 で、カラー印刷の制限を確認してください** 詳しくは、管理者にお問い合わせください。
記録紙を送れません	**記録紙を補給するか、記録紙を正しくセットしてください** それでも問題が解決しない場合は、給紙ローラーが汚れている可能性があります。給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 95 ページ「給紙ローラーの清掃」を参照してください。 **多目的トレイの記録紙を正しくセットしてください**
結露が発生しています	**本製品の電源スイッチを ON のままで、フロントカバーを完全に開けます。そのままの状態で 30 分放置し結露の原因となる水蒸気などを取り除いた後、フロントカバーを閉じて、電源を入れ直してください** それでも問題が解決されない場合は、本製品を購入した販売店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。
原稿が詰まっています	**ADF（自動原稿送り装置）につまっている原稿を取り除いてください** 原稿を取り除いたら、✕を押してください。 **読み込む原稿を短くして、読み込ませてください** ✕を押して、原稿をセットし直してください。

画面表示	解決方法
サイズエラー	**正しいサイズの記録紙をセットしてください** プリンタードライバーで設定した記録紙と、トレイにセットしている記録紙が違う可能性があります。確認して正しい記録紙をセットし、【OK】を押してください。
サイズエラー 両面	**両面印刷可能な正しいサイズ（A4）の記録紙をセットしてください** 両面印刷できない記録紙がセットされている可能性があります。確認して正しい記録紙をセットしてください。 両面印刷可能な記録紙をプリンタードライバーで設定してください。両面印刷できる記録紙サイズの詳細は、⇒216 ページ「用紙仕様」を参照してください。
使用不能なUSB機器です	**接続したデバイスを取り外して、電源を入れ直してください** 本製品に対応していない、または壊れている USB 機器が接続されている可能性があります。 **接続したデバイス（USB メモリなど）を確認してください** 接続しているデバイス（USB メモリなど）が、フォーマットされていない、壊れている、または互換性がない可能性があります。また、正しく差し込まれているか確認してください。
切断されました	**少し時間を置いて、もう一度、送信または受信をしてください**
正しく読み取れません	**本製品の電源を OFF にして、もう一度電源を入れてください** メモリに記憶されたファクスデータは、電源を OFF にしても消去されません。ファクスデータをコンピューターに保存するときは、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。 **を押して、両面スキャン可能な正しい用紙サイズに変更してください** ⇒ユーザーズガイド 応用編「原稿のこと」、⇒ 44 ページ「原稿セットで注意すること」を参照してください。
タッチパネルエラー	**電源を入れ直してください** 電源投入直後はタッチパネルに触れないでください。 **タッチパネルの操作面や隙間に異物がないか確認してください** タッチパネルの下側の隙間の異物は、かための紙などを挿入してかき出してください。
小さい記録紙を印刷します	**バックカバー（背面排紙トレイ）を開けてください** もし印刷された用紙がバックカバー内にあれば取り除き、【リトライ】を押してください。

画面表示	解決方法
中間機器（モデムなど）の接続や電源状態を 確認してください　解決しない時は回線事業者へ「回線からの供給電圧がない」ことをお伝えください	**モデムやターミナルアダプターなどが正しく接続されていること、また、これらの機器の電源がオンになっていることを確認してください。** モデムやターミナルアダプターなどの接続が外れているか、電源がオフになっている可能性があります。解決しない場合は、回線事業者へ「回線からの供給電圧がない」ことをお伝えください。
通信エラー	**別のファクスから送信するか、接続をし直して送信できるか確認してください** 電話回線の状況が悪くなっているか、接続が誤っている可能性があります。通信できない場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
トナーが確認できません	**ドラムユニットを取り出し、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外してください** 再度トナーカートリッジをドラムユニットに戻し、ドラムユニットを本製品に戻してください
トナーがセットされていません	**画面に表示されている色のトナーカートリッジをいったん取り外し、再度正しく取り付けてください** **(BK)：ブラック、(C)：シアン、(M)：マゼンタ、(Y)：イエロー** ⇒ 102 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。 **ドラムユニットを取り出し、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り出してください** 再度、トナーカートリッジをドラムユニットに戻し、ドラムユニットを本製品に戻してください。
トナーを交換してください	**画面に表示されている色のトナーカートリッジを交換してください** ファクスを印刷中、画面に【トナーを交換してください】が表示された場合は、ファクスデータはメモリに保存されます。 ⇒101ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
ドラム お手入れ	**コロナワイヤー（ドラムユニット）を掃除してください** ⇒ 88 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 **ドラムユニットが正しく装着されているか確認してください** ドラムユニットを取り出し、再度本製品に戻してください。
ドラム交換	**ドラムユニットの交換時期です** 印刷品質が目立って低下したら、ドラムユニットを交換してください。 ⇒107ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。 **ドラムユニットのカウンターをリセットしてください** ⇒ 111 ページ「ドラムユニットのカウンターをリセットする」を参照してください。

画面表示	解決方法
ドラム停止	**ドラムユニットを交換してください** ⇒ 105 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
ドラムユニットがありません	**ドラムユニットを取り付けてください** ⇒ 105 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
トレイ2 を確認できません	**トレイ 2 をいったん引き出し、しっかりと押し戻してください**
トレイが開いています	**記録紙トレイを本製品に取り付けてください**
廃トナーボックスがありません	**廃トナーボックスを取り付けてください** ⇒ 118 ページ「廃トナーボックスの交換」を参照してください。
廃トナーボックス交換	**廃トナーボックスを交換してください** ⇒ 118 ページ「廃トナーボックスの交換」を参照してください。
話し中/応答がありません	**電話番号を確認し、もう一度かけ直してください**
ハブはサポートしていません	**USB メモリ差込口から USB ハブを外してください** USB メモリ差込口は、USB ハブに対応していません。
ヒーター確認中	**本製品の電源を OFF にします。2 ～ 3 秒後に電源を ON にして、そのまま 15 分お待ちください** メモリに記憶されたファクスデータは、電源を OFF にしても消去されません。
ヒーター交換	**ヒーターの交換が必要です** お客様相談窓口にご連絡ください。
ファイルがいっぱいです	**USB メモリ内のファイル数を減らしてください**
ファイル名を変えてください	**USB メモリ内に同じファイル名がある場合は、ファイル名を変更してください**
ベルトユニットがありません	**ベルトユニットを取り付けてください** ⇒ 112 ページ「ベルトユニットの交換」を参照してください。
ベルトユニット交換	**ベルトユニットを交換してください** ⇒ 112 ページ「ベルトユニットの交換」を参照してください。

画面表示	解決方法
まもなくトナー交換	**画面に表示された色の新しいトナーカートリッジを購入し、画面に【トナーを交換してください】が表示される前に準備しておいてください** **(BK):ブラック、(C):シアン、(M):マゼンタ、(Y):イエロー** 画面に【トナーを交換してください】が表示されるまでトナーカートリッジをご使用できますが、しだいに印刷品質は低下しますので、新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします。 ⇒ 101 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
まもなくドラム交換	**新しいドラムユニットを購入し、画面に【ドラム交換】が表示される前に準備しておいてください** 印刷品質が目立って低下したら、ドラムユニットを交換してください。 ⇒ 105 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
まもなく廃トナーボックス交換	**新しい廃トナーボックスを購入し、画面に【廃トナーボックス交換】が表示される前に準備しておいてください**
まもなくベルトユニット交換	**新しいベルトユニットを購入し、画面に【ベルトユニット交換】が表示される前に準備しておいてください** 画面に【ベルトユニット交換】が表示されるまでベルトユニットをご使用できますが、しだいに印刷品質は低下しますので、新しいベルトユニットに交換することをおすすめします。 ⇒ 112 ページ「ベルトユニットの交換」を参照してください。
メモリがいっぱいです	**ファクス送信・コピー実行中のとき** ✖を押してからもう一度試してください。原稿が複数枚の場合は、【読み取り分送信】または【読み取り分コピー】を押して読み込まれた分だけを送信、またはコピーしてください。 **印刷中のとき** 印刷するデータの解像度を下げてからもう一度試してください。 ⇒「ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク」を参照してください。 **保存されているデータを消去して、メモリの空き容量を確保してください** セキュリティ印刷のデータを保存している場合、印刷するかデータを消去してメモリの空き容量を確保してください。 **市販のメモリ（SO-DIMM）で本製品のメモリを増やしてください** ⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。

画面表示	解決方法
用紙サイズが合いません	**正しいサイズの記録紙をセットしてください** プリンタードライバーで設定した記録紙と、トレイにセットしている記録紙が違う可能性があります。確認して正しい記録紙をセットし、【リトライ】を押してください。 **プリンタードライバーで、正しい用紙サイズを設定してください**
利用できません	**セキュリティ機能ロック 3.0 で、使用制限されている機能を確認してください** 詳しくは、管理者にお問い合わせください。
両面印刷できません	**バックカバー（背面排紙トレイ）を完全に閉じてください** **両面印刷可能な正しい用紙サイズ（A4）を選択してください** プリンタードライバーの設定を確認してください。 設定した用紙サイズの用紙をトレイに入れてください。
冷却中 しばらくお待ちください	**ファンの音を聞き、回転しているかどうか確認してください** ファンが回転している場合は、排気口が塞がれていないか確認してください。排気口の前に障害物があるときは取り除き、電源を ON にしたまま約 10 分お待ちください。 ファンが回転していない場合は、電源を OFF にして、数分後に電源を入れ直してください。メモリに記憶されたファクスデータは、電源を OFF にしても消去されません。 **それでも問題が解決しない場合は、本製品のメモリに残っているファクスデータを別のファクス機に転送した後、お客様相談窓口にご連絡ください** ファクスデータの転送方法は、⇒ 137 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」を参照してください。
レーザー交換	**レーザーユニットの交換が必要です** お客様相談窓口にご連絡ください。
ログの書き込みができません	**印刷ログ機能の設定内容を確認してください** 詳しくは、管理者にお問い合わせください。

エラーが発生したときのファクスの転送方法

【印刷できません】などのエラーが解決されない場合は、本製品でファクスメッセージを印刷できません。以下の方法でメモリに残っているファクスメッセージを別のファクス機かコンピューターに転送できます。

別のファクス機に転送する場合

1 **を押して、エラーメッセージを閉じる**

2 **→【全てのメニュー】→【サービス】→【データ転送】→【ファクス転送】を押す**

- 【受信データはありません】と表示されたときは、メモリにファクスメッセージが残っていません。
- ファクス番号の入力画面が表示されたときは、メモリにファクスメッセージが残っています。手順3に進んでください。

3 **転送先のファクス番号を入力し、【スタート】を押す**

補足
発信元登録がされていないと転送ができません。

本製品と接続しているコンピューターにファクスメッセージを転送する場合

1 **を押して、エラーメッセージを閉じる**

2 **→【全てのメニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【PCファクス受信】→【オン】を押す**

3 **メッセージを確認して、【OK】を押す**

4 **PC-FAX受信を起動させたコンピューターを選ぶ**

USB 接続しているコンピューターを選ぶ場合は、【<USB>】を選んで【OK】を押します。

- メモリにファクスメッセージがあるときは、【ファクスをPC に転送しますか?/はい/いいえ】と表示されます。

5 **【はい】を押す**

6 **【本体では印刷しない】を押す**

7 **を押す**

コンピューターの「PC-FAX 受信」を起動させてください。起動方法について詳しくは、⇒「ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク」を参照してください。

補足
この操作後は、受信したすべてのファクスがコンピューターに転送されます。エラーが解決され、本製品で印刷できるようになったら、【PC ファクス受信】の設定を【オフ】に戻してください。詳しくは、⇒184ページ「PC ファクス受信」を参照してください。

通信管理レポートを別のファクス機に転送する場合

1 **を押して、エラーメッセージを閉じる**

2 **→【全てのメニュー】→【サービス】→【データ転送】→【レポート転送】を押す**

3 **転送先のファクス番号を入力し、【スタート】を押す**

補足
発信元登録がされていないと転送ができません。

紙がつまった！

紙づまりのときのメッセージ

画面にエラーメッセージが表示されます。解除方法を説明するイラストと説明文を【◀】または【▶】で見ることができます。

原稿がつまったとき ⇒139ページ「原稿がつまったとき」を参照してください。	原稿が詰まっています
記録紙がつまったとき ⇒141ページ「記録紙がつまったとき」を参照してください。	紙詰まり XXXX

【XXXX】は、紙づまりの場所によって表示が異なります。

！重要

使用できない記録紙は紙づまりや故障の原因になります。⇒ 36 ページ「使用できない記録紙」を参照してください。

原稿がつまったとき

画面に次のように表示されたときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がつまっています。

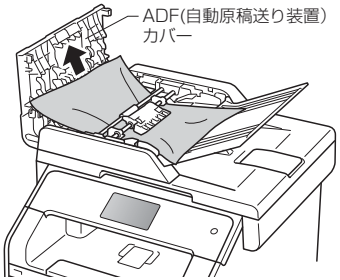
原稿が詰まっています

ADF（自動原稿送り装置）の入口で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 ADF（自動原稿送り装置）カバーを開き、つまった原稿を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。



補足

つまった原稿を取り除いたときに原稿が破れた場合は、内部に原稿が残っていないか確認してください。

3 ADF（自動原稿送り装置）カバーを閉じる

ADF（自動原稿送り装置）カバーの中心を押して、左右が閉じていることを確認してください。

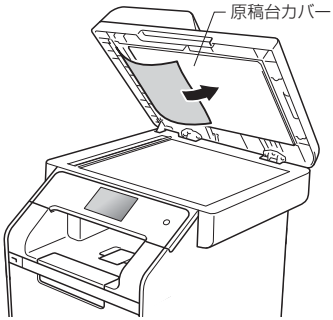
4 ✕を押す

ADF（自動原稿送り装置）内で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 原稿台カバーを開き、つまった原稿を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。



補足

つまった原稿を取り除いたときに原稿が破れた場合は、内部に原稿が残っていないか確認してください。

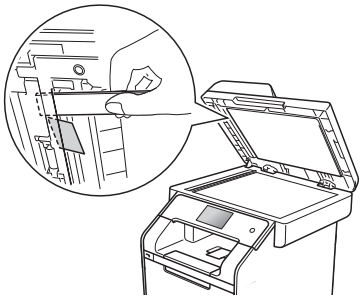
3 原稿台カバーを閉じる

4 ✕を押す

ADF（自動原稿送り装置）内に破れた原稿（紙片）などがつまったときは

1 原稿台カバーを開ける

2 かたい紙などを使い、破れた原稿（紙片）を取り除く



3 原稿台カバーを閉じる

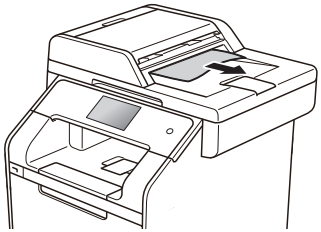
4 を押す

ADF（自動原稿送り装置）の出口で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 つまった原稿を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。



3 を押す

記録紙がつまったとき

多目的トレイに記録紙がつまったとき

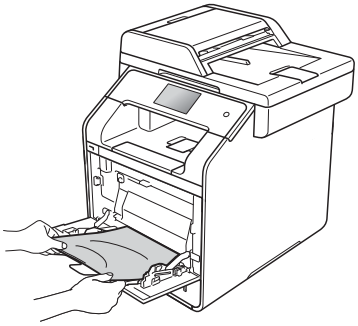
画面に次のように表示されたときは、多目的トレイに記録紙がつまっています。

紙詰まり MPトレイ

1 **多目的トレイからつまっていない記録紙を取り除く**

2 **多目的トレイからつまった用紙を取り除く**

両手でゆっくり引き出してください。



補足

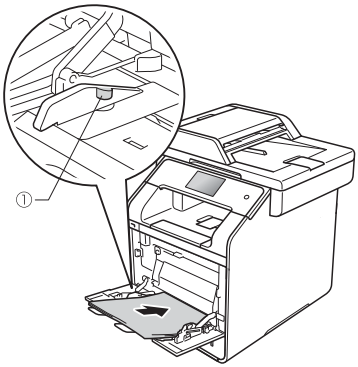
つまった記録紙を取り除いたときに記録紙が破れた場合は、本製品の内部に記録紙が残っていないか確認してください。詳しくは、⇒144ページ「本製品の内部に記録紙がつまったとき」を参照してください。

3 **紙づまりや給紙ミスを防ぐため、記録紙をよくさばく**



4 **多目的トレイに記録紙をセットする**

記録紙は用紙ガイドの両側にあるタブ①より下に収まるように入れてください。



5 **【リトライ】を押す**

記録紙トレイに記録紙がつまったとき

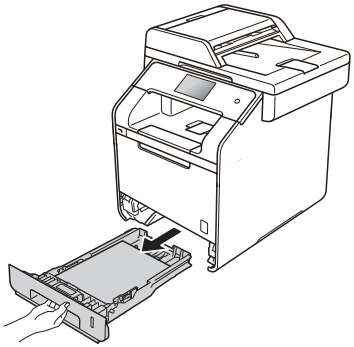
画面に次のように表示されたときは、記録紙トレイ(トレイ1)/増設記録紙トレイ(トレイ2)に記録紙がつまっています

紙詰まり トレイ1

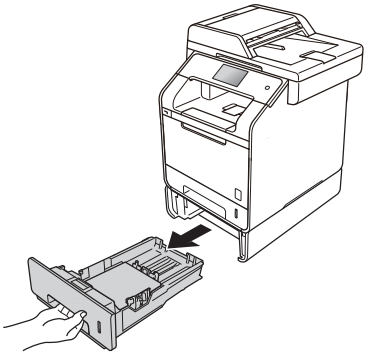
紙詰まり トレイ2

1 本製品から該当の記録紙トレイを完全に引き出す

<トレイ1>

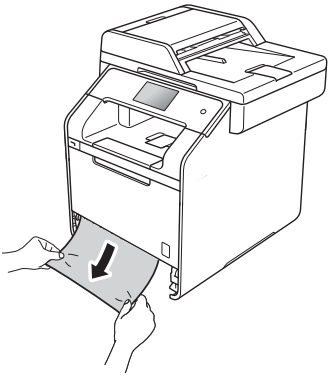


<トレイ2>



2 つまった記録紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。



補足

- つまった記録紙を下向きに引くと、かんたんに取り除くことができます。
- ペンやはさみのような先のとがったもので記録紙を取り除かないでください。
- つまった記録紙を取り除いたときに記録紙が破れた場合は、本製品の内部に記録紙が残っていないか確認してください。詳しくは、⇒144ページ「本製品の内部に記録紙がつまったとき」を参照してください。

3 記録紙が記録紙トレイの適切な位置にセットされているか確認する

- 記録紙がトレイの中で平らになっていること、▼▼▼マークより下の位置にあることを確認してください。
- 青色の記録紙ガイドをつまみながら記録紙ガイドをスライドさせて、印刷する用紙のサイズに合わせます。
- 記録紙ガイドが固定され動かないことを確認してください。

4 記録紙トレイを本製品に戻す

しっかりと奥までセットされているか確認してください。

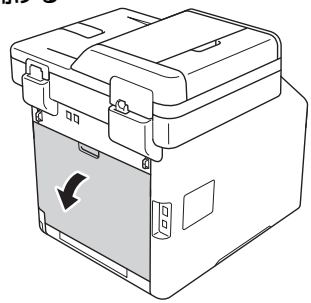
背面に記録紙がつまったとき

画面に次のように表示されたときは、バックカバー（背面排紙トレイ）内に記録紙がつまっています。

紙詰まり 後ろ

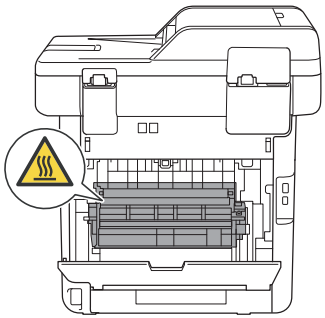
1 電源をONにしたまま、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 バックカバー（背面排紙トレイ）を開ける



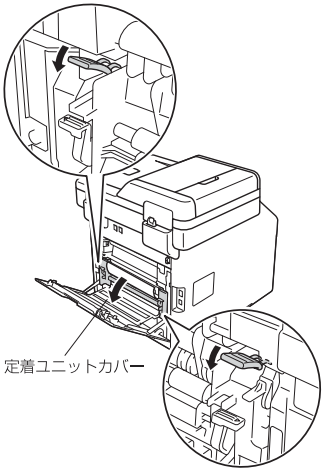
⚠警 告

本製品の使用直後は、内部に非常に高温になる部分があります。イラストのグレー部分には触れないでください。やけどの恐れがあります。



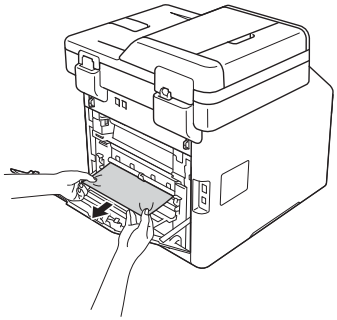
3 左右の青色のつまみを手前に引き、定着ユニットカバーを開く

左右の灰色のレバーの◀/▶マークが✉マークの位置になっていたら、元の位置までレバーを上げてください。



4 定着ユニットからつまった記録紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。



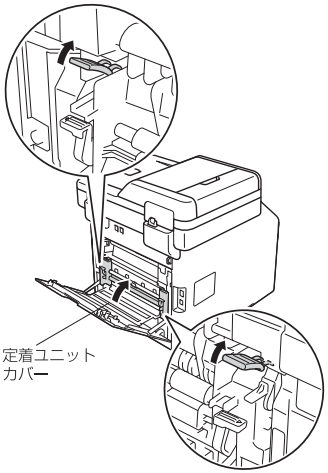
補足

- ペンやはさみのような先のとがったもので記録紙を取り除かないでください。
- つまった記録紙を取り除いたときに記録紙が破れた場合は、本製品の内部に記録紙が残っていないか確認してください。詳しくは、⇒144ページ「本製品の内部に記録紙がつまったとき」を参照してください。

5 元の状態に戻す

1 定着ユニットカバーを閉じる

- 左右の青色のつまみが上がり固定されたことを確認してください。



2 バックカバー（背面排紙トレイ）を閉じる

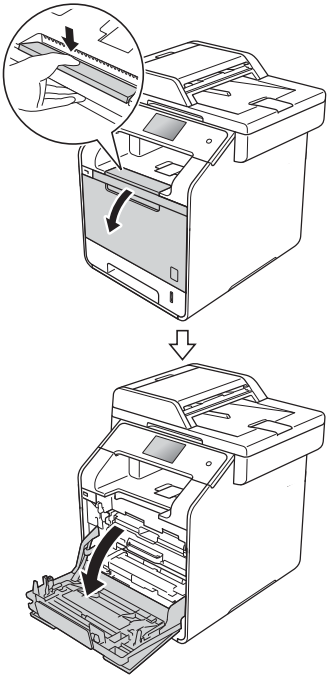
本製品の内部に記録紙がつまったとき

画面に次のように表示されたときは、本製品の内部に記録紙がつまっています。

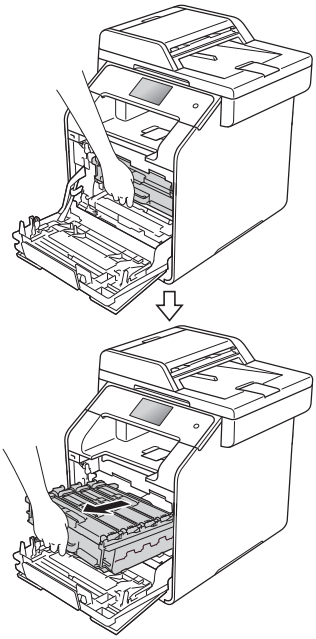
紙詰まり 内部

1 ドラムユニットを取り出す

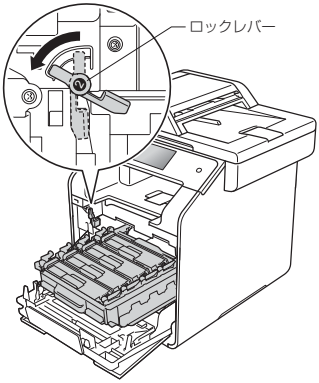
1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く



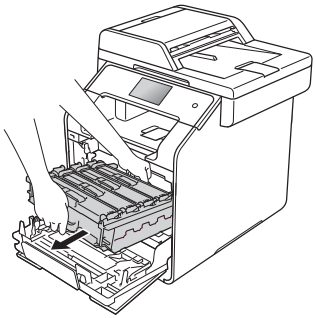
2 ドラムユニットの青色の取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す



3 本製品左側にある青色のロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す

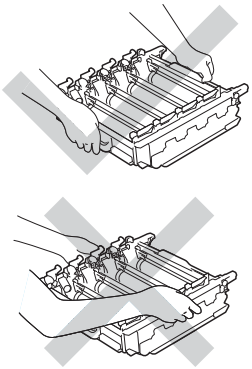


4 ドラムユニットの青色の取っ手を持って、本製品から取り出す



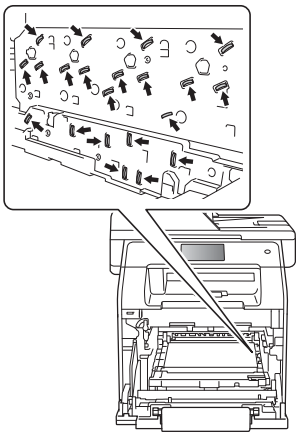
! 重要

■ ドラムユニットを持つときは、ドラムユニットの青色の取っ手を持ってください。



■ ドラムユニットを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

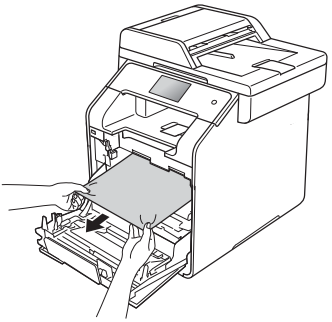
■ 本製品の内部を操作するときは、イラストの矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。



■ ドラムユニットの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

2 つまった記録紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。

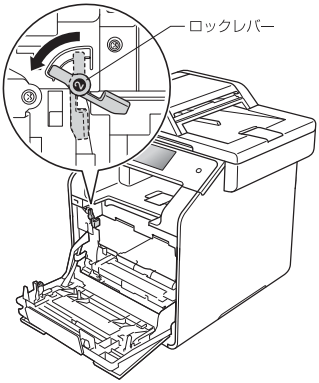


補足

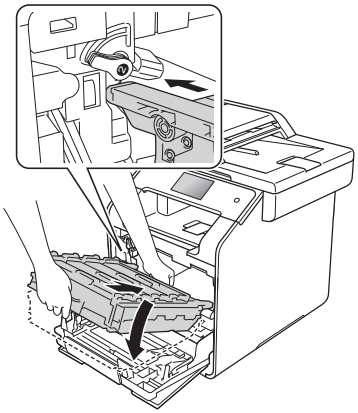
ペンやはさみのような先のとがったもので記録紙を取り除かないでください。

3 元の状態に戻す

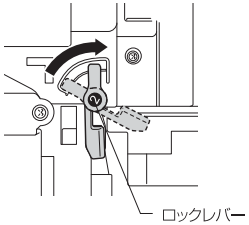
1 本製品左側にある青色のロックレバーがイラストのように上がっていることを確認する



2 ドラムユニットの先端の部分をイラストのように入れる



3 ロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す
ドラムユニットを奥へ押し込む前にロックレバーを下げてください。



4 ドラムユニットを奥へ押し込む
5 フロントカバーを閉じる

補足

- 本製品の内部からつまった紙や破れた紙を取り除いた後、本製品にコンピューターからのデータが残っている場合は、残りのデータが印刷されます。
- 本製品の内部に記録紙がつまっているときに本製品の電源を OFF にした場合は、印刷開始後、不完全なデータを印刷することがあります。
本製品の電源をONにする前に、コンピューターの印刷実行ジョブを削除してください。

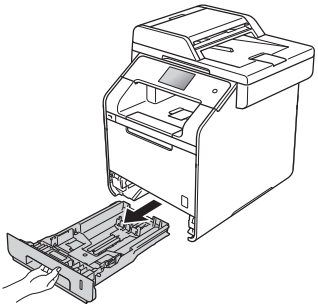
両面印刷時に記録紙がつまったとき

画面に次のように表示されたときは、記録紙トレイ底面か定着ユニットに原稿がつまっています。

紙詰まり 両面

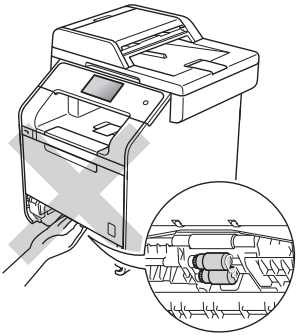
1 電源をONにしたまま、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 本製品から記録紙トレイを完全に引き出す

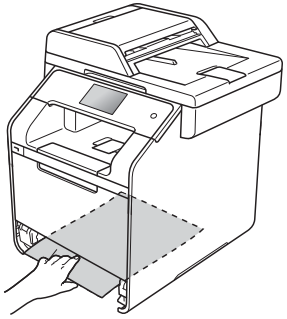


注意

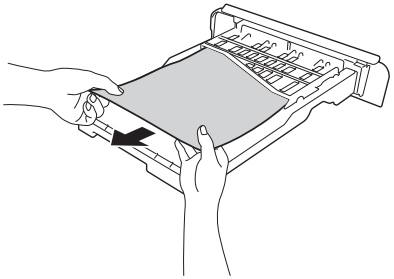
給紙ローラーの部分（イラストのグレー部）に手が触れないようにしてください。給紙ローラーが高速で回り、けがをするおそれがあります。



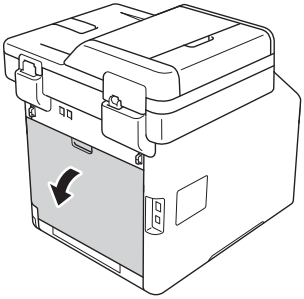
3 本製品の底面につまった記録紙がないか確認する



4 本製品の底面に記録紙がつまっていない場合は、記録紙トレイの裏側を確認する

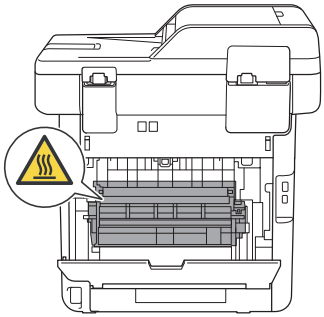


5 記録紙トレイに記録紙がつまっていない場合は、バックカバー（背面排紙トレイ）を開く



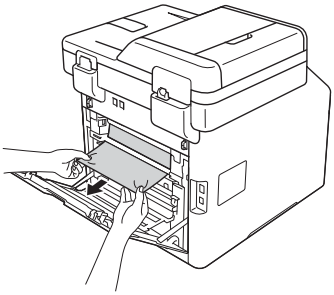
⚠警告

本製品の使用直後は、内部に非常に高温になる部分があります。イラストのグレー部分には触れないでください。やけどの恐れがあります。



6 つまった記録紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。



補足

- ペンやはさみのような先のとがったもので記録紙を取り除かないでください。
- つまった記録紙を取り除いたときに記録紙が破れた場合は、本製品の内部に記録紙が残っていないか確認してください。詳しくは、⇒144ページ「本製品の内部に記録紙がつまったとき」を参照してください。

7 本製品のバックカバー（背面排紙トレイ）をしっかりと閉じる

8 記録紙トレイを本製品に戻す

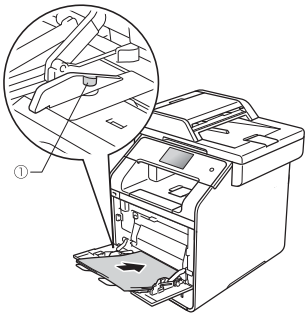
しっかりと奥までセットされているか確認してください。

原因がよくわからない！

困ったときには（コピー／印刷）

コピー／印刷ができない

ここを確かめてください	対処方法
電源プラグは正しく接続されていますか	電源プラグ（本体側、コンセント側）を確実に差し込んでください。
本製品の電源はONになっていますか	本製品の電源を ON にしてください。 ＜電源が入らない場合＞ • （落雷やパワーサージなどの）瞬間的に発生する大電流によって、本製品内部で安全装置が動作した可能性があります。 • 本製品の電源を OFF にして、電源プラグを抜いてください。10 分後に電源プラグを差し込み、本製品の電源を ON にしてください。
トナーカートリッジが正しく取り付けられていますか	トナーカートリッジとドラムユニットを正しく取り付けてください。⇒ 101 ページ「トナーカートリッジの交換」、⇒ 105 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
給紙ローラーが汚れていませんか	⇒ 95 ページ「給紙ローラーの清掃」を参照してください。
画面に【記録紙を送れません】が表示されていませんか	記録紙がまっすぐにセットされていることを確認してください。また、記録紙が丸まっていないか、記録紙が折れ曲がっていないか確認してください。
記録紙トレイに記録紙を多くセットしていませんか	記録紙を少し減らしてセットしてください。
記録紙トレイに記録紙を正しくセットしていますか	⇒ 37 ページ「記録紙トレイに記録紙をセットする」を参照してください。
記録紙トレイが正しくセットされていますか	⇒ 37 ページ「記録紙トレイに記録紙をセットする」を参照してください。

ここを確かめてください	対処方法
多目的トレイに記録紙を正しくセットしていますか	記録紙をよくさばき、記録紙の先端をずらし、記録紙の先端が軽く当たるまで差し込んでください。記録紙が用紙ガイドの両端にあるマーク①より下に収まっているか確認してください。 ⇒ 39 ページ「多目的トレイに記録紙をセットする」を参照してください。 
記録紙がつまってないか確認してください	⇒138ページ「紙がつまった！」を参照してください。 トップカバー、またはバックカバーを確実に閉めてください。
プリンタードライバーの給紙方法は正しいですか	プリンタードライバーの給紙方法を確認してください。 • 多目的トレイから印刷したい場合は、プリンタードライバーの［給紙方法］が［多目的トレイ］になっていることを確認してください。 • 記録紙トレイから印刷したい場合は、プリンタードライバーの［給紙方法］が［自動選択］、［トレイ 1］または［トレイ 2］※ になっていることを確認してください。 ※：増設記録紙トレイを増設したときに表示されます。
封筒を給紙しない	多目的トレイから封筒の給紙ができます。使用しているアプリケーションが印刷する封筒の大きさに設定されていることを確認してください。使用しているアプリケーションソフトのページ設定、または文章設定メニューで設定することができます。使用しているアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
バックカバー（背面排紙トレイ）内部の左右両側の灰色レバーの位置はあっていますか	バックカバー内部の左右両側の灰色レバーの位置を確認してください。⇒ 37 ページ「記録紙トレイに記録紙をセットする」、⇒ 39 ページ「多目的トレイに記録紙をセットする」を参照してください。

ここを確かめてください	対処方法
原稿が正しく送り込まれていますか（ADF（自動原稿送り装置）使用時）	• 原稿を一度取り出し、もう一度確実に挿入してください。 • ADF（自動原稿送り装置）カバーをもう一度閉じ直してください。 • 原稿が薄すぎたり厚すぎたりしている場合や、原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっている場合は、原稿台ガラスからファクスやコピーをしてください。 ⇒ 45 ページ「ADF（自動原稿送り装置）にセットする」を参照してください。 • 原稿のサイズを確認してください。 • 原稿挿入口に破れた原稿などがつまっている場合があります。ADF（自動原稿送り装置）カバーを開け、つまっている原稿を取り除いてください。 ⇒ 139 ページ「原稿がつまったとき」を参照してください。
原稿が斜めになって送り込まれていませんか（ADF（自動原稿送り装置）使用時）	原稿ガイドを原稿に合わせてください。

両面印刷ができない

ここを確かめてください	対処方法
プリンタードライバーの設定は正しいですか	プリンタードライバーが［両面印刷］に設定されているか確認してください。
用紙サイズを正しく設定していますか	用紙サイズが正しく設定されているか確認してください。
バックカバー（背面排紙トレイ）が完全に閉じていますか	バックカバーが完全に閉じているか確認してください。

コピーできない

ここを確かめてください	対処方法
コピーモードになっていますか	【コピー】を押してコピーモードにしてください。
セキュリティ機能ロック3.0が設定されていませんか	本製品の管理者にセキュリティ機能ロック 3.0 が設定されていないか確認してください。

コンピューターから印刷できない

以下の順番で確認してください。

ここを確かめてください	対処方法
①ケーブルが正しく接続されていますか	• 本製品側とコンピューター側の両方のケーブルを差し直してください。(USB ハブなどを経由しては接続できません。) • 複数の機器がコンピューターに接続されている場合は、一時的に本製品以外を取り外して、印刷・コピー・ファクス・スキャンができるか試してください。
②本製品が通常ご使用になるプリンターに設定されていますか	本製品のアイコンにチェックマークが付いているか確認してください。付いていない場合は、次の手順に従って、チェックマークを付けます。 <Windows Server® 2012 R2> スタート画面上で、[コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェア] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。 本製品のアイコンを右クリックし、[通常使うプリンターに設定] をクリックしてチェックを入れます。 <Windows® 8、またはWindows Server® 2012> デスクトップの右下にマウスを移動し、メニューバーが表示されたら [設定] - [コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[通常使うプリンターに設定] をクリックしてチェックを入れます。 <Windows® 7、またはWindows Server® 2008 R2> メニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[通常使うプリンターに設定] にカーソルを合わせ、通常使うプリンタードライバーにチェックを入れます。 <Windows Vista®、またはWindows Server® 2008> メニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[通常使うプリンタに設定] をクリックしてチェックを入れます。 <Windows® XP、またはWindows Server® 2003> [スタート] - [コントロール パネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[通常使うプリンタに設定] をクリックしてチェックを入れます。
③画面にエラーメッセージが表示されていませんか	⇒ 129 ページ「画面にエラーメッセージが表示された！(エラーメッセージ一覧)」を参照してください。

ここを確かめてください	対処方法
④オフラインの状態になっていませんか	本製品がオフラインになっていないか確認します。 <Windows Server® 2012 R2> スタート画面上で、[コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェア] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。 本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。 [プリンター] をクリックし、[プリンターをオフラインで使用する] にチェックがある場合は、オフラインの状態です。[プリンターをオフラインで使用する] をクリックし、チェックを外してください。 <Windows® 8、またはWindows Server® 2012> デスクトップの右下にマウスを移動し、メニューバーが表示されたら [設定] - [コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。 本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。[プリンター] をクリックし、[プリンターをオフラインで使用する] にチェックがある場合は、オフラインの状態です。チェックを外してオンラインにしてください。 <Windows® 7、またはWindows Server® 2008 R2> メニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。(BR-Script3 プリンタードライバーをインストールしている場合は、ご使用のプリンタードライバーをクリックします。) [プリンター] をクリックし、[プリンターをオフラインで使用する] にチェックがある場合は、オフラインの状態です。チェックを外してオンラインにしてください。 <Windows Vista®、またはWindows Server® 2008> メニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[プリンタをオンラインで使用する] がメニューにある場合は、オフラインの状態です。[プリンタをオンラインで使用する] をクリックしてください。 <Windows® XP、またはWindows Server® 2003> [スタート] - [コントロール パネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[プリンタをオンラインで使用する] がメニューにある場合は、オフラインの状態です。[プリンタをオンラインで使用する] をクリックしてください。

ここを確かめてください	対処方法
⑤一時停止の状態になっていませんか	本製品が一時停止の状態になっていないか確認します。 <Windows Server® 2012 R2> スタート画面上で、[コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェア] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。 本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。 [Brother MFC-XXXX Printer 一時停止] が表示されていたら、再開させたい印刷データを右クリックし、[再開] をクリックしてください。 <Windows® 8、またはWindows Server® 2012> デスクトップの右下にマウスを移動し、メニューバーが表示されたら [設定] - [コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。 [Brother MFC-XXXX Printer- 一時停止] が表示されていたら、再開させたい印刷データを右クリックし、[再開] をクリックしてください。 <Windows® 7、またはWindows Server® 2008 R2> メニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。(BR-Script3 プリンタードライバーをインストールしている場合は、ご使用のプリンタードライバーをクリックします。) [Brother MFC-XXXX Printer- 一時停止] が表示されていたら、再開させたい印刷データを右クリックし、[再印刷] をクリックしてください。 <Windows Vista®、またはWindows Server® 2008> メニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷の再開] がメニューにある場合は、一時停止の状態です。[印刷の再開] をクリックしてください。 <Windows® XP、またはWindows Server® 2003> [スタート] - [コントロール パネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷の再開] がメニューにある場合は、一時停止の状態です。[印刷の再開] をクリックしてください。

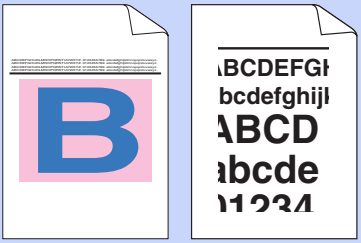
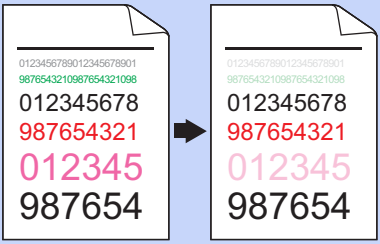
ここを確かめてください	対処方法
⑥印刷待ちのデータがありませんか	• 印刷に失敗した古いデータが残っている場合があります。以下の方法でデータを削除してください。 <Windows Server® 2012 R2> スタート画面上で、[コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェア] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。 本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。 印刷データを選択し、[ドキュメント] メニューから [キャンセル] を選択します。 <Windows® 8、または Windows Server® 2012> デスクトップの右下にマウスを移動し、メニューバーが表示されたら [設定] - [コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。印刷データを選択し、[ドキュメント] メニューから [キャンセル] を選択します。 <Windows® 7、または Windows Server® 2008 R2> メニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。(BR-Script3 プリンタードライバーをインストールしている場合は、ご使用のプリンタードライバーをクリックします。) 印刷データを選択し、[ドキュメント] メニューから [キャンセル] を選択します。 <Windows Vista®、または Windows Server® 2008> メニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。本製品のアイコンをダブルクリックして、印刷データを選択します。[ドキュメント] メニューから [キャンセル] を選択します。 <Windows® XP、または Windows Server® 2003> [スタート] - [コントロール パネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] の順にクリックします。本製品のアイコンをダブルクリックして、印刷データを選択します。[ドキュメント] メニューから [キャンセル] を選択します。 • 本製品内に残っているデータを消去する場合は、 を押してください。

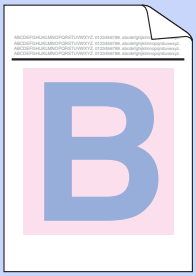
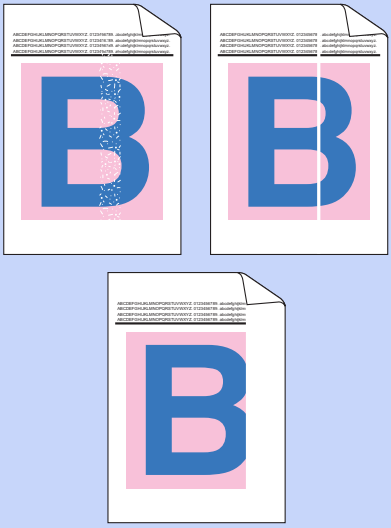
ここを確かめてください	対処方法
⑦印刷先（ポート）の設定が間違っていませんか	<Windows Server® 2012 R2> スタート画面上で、［コントロール パネル］をクリックし、［ハードウェア］の［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。 本製品のアイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］をクリックします。［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。 <Windows® 8、またはWindows Server® 2012> デスクトップの右下にマウスを移動し、メニューバーが表示されたら［設定］-［コントロール パネル］をクリックし、［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。 本製品のアイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］をクリックします。［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。 <Windows® 7、またはWindows Server® 2008 R2> メニューから［デバイスとプリンター］をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］をクリックします。（BR-Script3 プリンタードライバーをインストールしている場合は、ご使用のプリンタードライバーをクリックします。） ［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。 <Windows Vista®、またはWindows Server® 2008> メニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］-［プリンタ］の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。 <Windows® XP、またはWindows Server® 2003> ［スタート］-［コントロール パネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。
⑧セキュリティ機能ロックが設定されていませんか	ネットワーク管理者に連絡して、セキュリティ機能ロックが設定されていないか確認してください。
⑨Adobe® Illustrator®を使用していますか	印刷解像度が高すぎる可能性があります。印刷解像度を低く設定してください。
⑩お使いのコンピューターを再起動して、本製品の電源を入れ直してください	本製品とコンピューターを確認しても印刷できない場合は、コンピューターを再起動し、本製品の電源を入れ直してください。
⑪プリンタードライバーをアンインストールし、再インストールしてください	本製品の電源を入れ直しても印刷できない場合は、プリンタードライバーをアンインストールしてからコンピューターを再起動し、⇒「かんたん設置ガイド」に従ってもう一度ドライバーをインストールしてください。

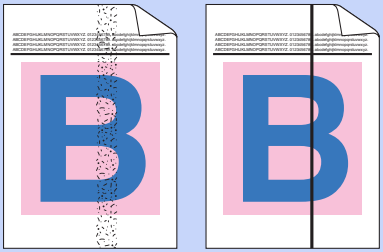
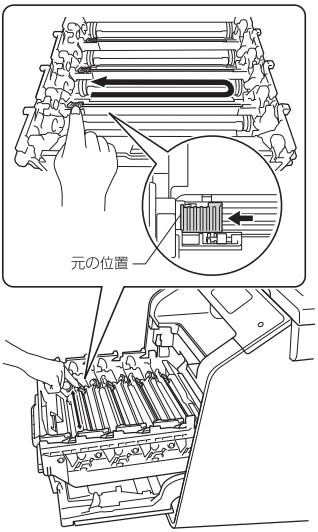
コピー／印刷結果が悪い

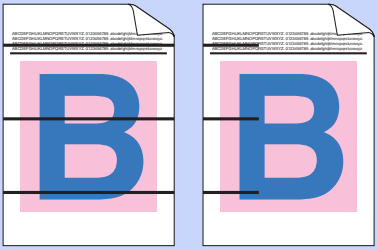
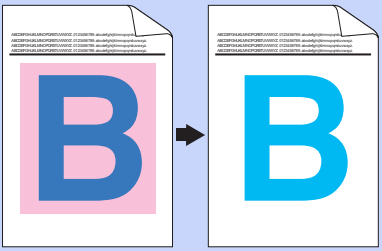
印刷した内容に問題がある場合は、はじめに次の手順を確認してください。
それでも解決しない場合は、「こんなコピー /印刷結果のときは」の問題例やイラストを確認し、対処方法に従ってください。

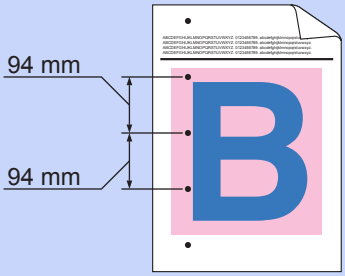
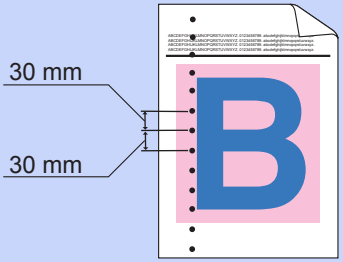
1. 本製品の仕様を満たしている記録紙を使用しているか確認してください。⇒ 34 ページ「記録紙の基本」を参照してください。
2. ドラムユニットとトナーカートリッジが正しく取り付けられているか確認してください。

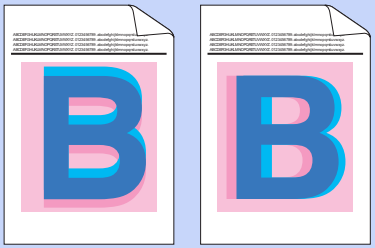
こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
印刷結果が圧縮され、水平の縞が現れるまたは、上下左右の文章が切れる 	原稿の上下左右に印刷不可能領域があるので、ご利用のアプリケーションソフトで余白を調整して印刷し直してください。
色付きの文字・鉛筆などで書いた薄い文字の原稿をコピーしたときに、印刷結果が薄い 	画質の設定を【テキスト】または【レシート】に設定し、コピー濃度やコントラストを調整してください。⇒ 76 ページ「画質を設定する」、⇒ 76 ページ「コピー濃度を設定する」、「コントラストを設定する」を参照してください。

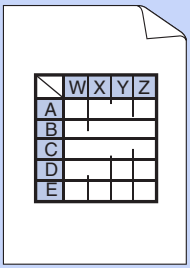
こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
全体的に色が薄い、またはぼやけている 	• プリンタードライバーの拡張機能から色補正を行います。詳しくは、⇒ユーザーズガイド　応用編「色補正」を参照してください。 • コピーの場合は、コピー濃度やコントラストを調整してください。⇒ 76 ページ「コピー濃度を設定する」、「コントラストを設定する」を参照してください。 • 【省エネモード】の【トナー節約モード】が【オフ】になっているか確認してください。 詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「省エネ設定」を参照してください。 • プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか確認してください。詳しくは、⇒ 34 ページ「記録紙の基本」、⇒「ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク」を参照してください。 • 4つすべてのトナーカートリッジをゆっくり振ってください。 • 乾いた起毛がない柔らかい布で、スキャナーウインドーの汚れやちりをふき取ってください。詳しくは、⇒ 85 ページ「本製品内部を清掃する」を参照してください。
白い線が縦方向に現れる 	• 乾いた起毛がない柔らかい布で、原稿台ガラスやスキャナーウインドーの汚れやちりをふき取ってください。詳しくは、⇒ 83 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」、⇒ 85 ページ「本製品内部を清掃する」を参照してください。 • 小さな紙片や異物が製品内部やトナーカートリッジ、ドラムユニットなどに挟まっていないか確認してください。

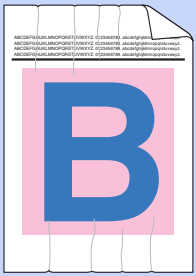
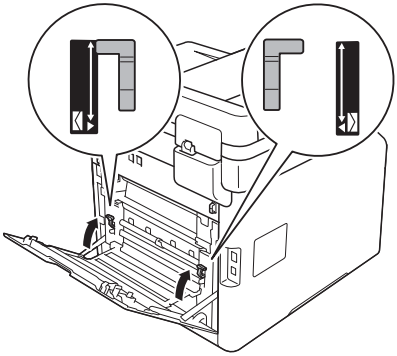
こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
色の付いた線が縦方向に現れる 	• 原稿台ガラスの読み取り部を清掃してください。詳しくは、⇒ 83 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。 • ドラムユニットの青色のつまみをスライドさせて、ドラムユニットのコロナワイヤー（各色に 1 本ずつ）をすべて清掃してください。詳しくは、⇒ 88 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 • ドラムユニットの青色のつまみが元の位置にあることを確認してください。  • 問題の色を特定し、新しいトナーカートリッジに交換してください。詳しくは、⇒ 101 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。交換するトナーカートリッジの色を特定する方法も含めた解決方法は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）(http://support.brother.co.jp/) の「よくあるご質問（Q&A）」をご覧ください。 • 新しいドラムユニットに交換してください。詳しくは、⇒ 105 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

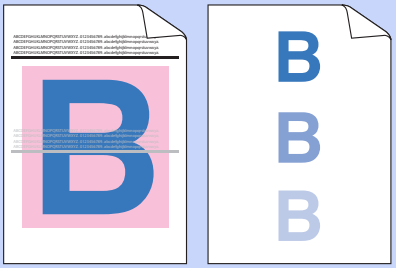
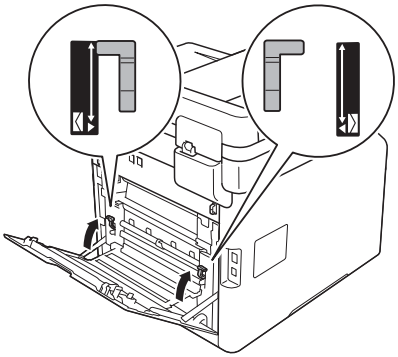
こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
色の付いた線が横方向に現れる 	• 線の間隔が 30mm ごとの場合は、問題の色を特定し、新しいトナーカートリッジに交換してください。詳しくは、⇒ 101 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。交換するトナーカートリッジの色を特定する方法も含めた解決方法は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）(http://support.brother.co.jp/) の「よくあるご質問（Q&A）」をご覧ください。 • 新しいドラムユニットに交換してください。詳しくは、⇒ 105 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
白い部分が現れる 	• プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか確認してください。詳しくは、⇒ 34 ページ「記録紙の基本」、⇒「ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク」を参照してください。 • 高温多湿などの特定の環境条件がこの問題の原因になる場合があります。設置環境を確認してください。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。 • 新しいドラムユニットに交換してください。詳しくは、⇒ 105 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
何も印刷されない または一部の色が抜けている 	• 問題の色を特定し、新しいトナーカートリッジに交換してください。詳しくは、⇒ 101 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。交換するトナーカートリッジの色を特定する方法も含めた解決方法は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）(http://support.brother.co.jp/) の「よくあるご質問（Q&A）」をご覧ください。 • 新しいドラムユニットに交換してください。詳しくは、⇒ 105 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

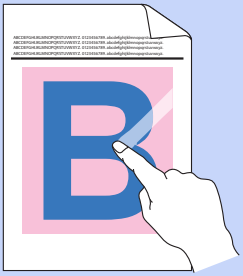
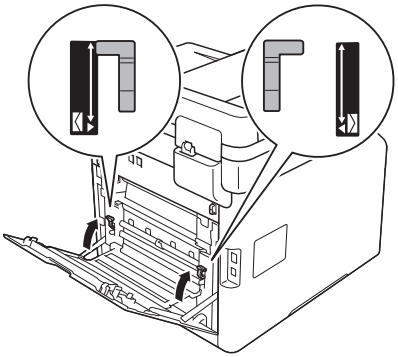
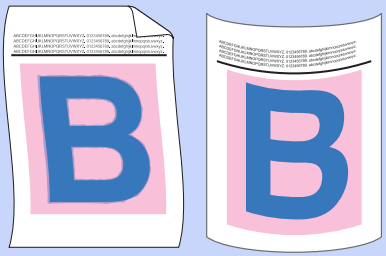
こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
94mmごとに色の付いた斑点が現れる 	• 数ページ印刷しても問題が解決しない場合は、ドラム表面に汚れが付着した可能性があります。詳しくは、⇒ 90 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。 • 新しいドラムユニットに交換してください。詳しくは、⇒ 105 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
30mmごとに色の付いた斑点が現れる 	• 問題の色を特定し、新しいトナーカートリッジに交換してください。詳しくは、⇒ 101 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。交換するトナーカートリッジの色を特定する方法も含めた解決方法は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）(http://support.brother.co.jp/) の「よくあるご質問（Q&A）」をご覧ください。
トナーが飛び散り、汚れる 	• 本製品の設置環境を確認してください。湿気、高温などは、この問題の原因になる場合があります。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。 • 問題の色を特定し、新しいトナーカートリッジに交換してください。詳しくは、⇒ 101 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。交換するトナーカートリッジの色を特定する方法も含めた解決方法は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）(http://support.brother.co.jp/) の「よくあるご質問（Q&A）」をご覧ください。 • 新しいドラムユニットに交換してください。詳しくは、⇒ 105 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

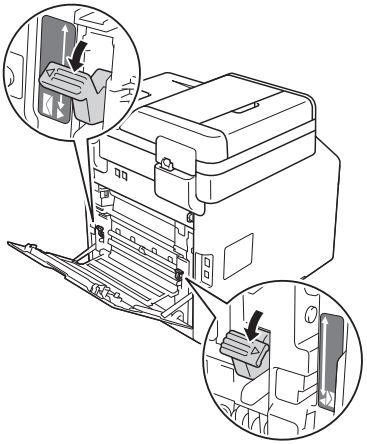
こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
印刷の色が異なる	• プリンタードライバーの拡張機能から色補正を行います。本製品で印刷できる色とコンピューターのモニターで表示される色は異なります。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「色合いや色ずれを補正する」を参照してください。 • コピーの場合は、コピー濃度やコントラストを調整してください。⇒ 76 ページ「コピー濃度を設定する」、「コントラストを設定する」を参照してください。 •【省エネモード】の【トナー節約モード】が【オフ】になっているか確認してください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「省エネ設定」を参照してください。 • 画像品質が悪いと感じる場合は、プリンタードライバーの［グレーの印刷を改善する］のチェックボックスをオフにしてください。詳しくは、⇒「ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク」を参照してください。 • 黒色部分の画像品質が予想していたものと異なる場合は、プリンタードライバーの［黒色を強調して印刷する］のチェックボックスにチェックをしてください。詳しくは、⇒「ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク」を参照してください。 • 問題の色を特定し、新しいトナーカートリッジに交換してください。詳しくは、⇒ 101 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。交換するトナーカートリッジの色を特定する方法も含めた解決方法は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）(http://support.brother.co.jp/) の「よくあるご質問（Q&A）」をご覧ください。 • 新しいドラムユニットに交換してください。詳しくは、⇒ 105 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
色ズレが起こる 	• 本製品を固く水平な面の上に設置しているか確認してください。 • 色ずれ補正を行ってください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「色ずれ補正」を参照してください。 • 新しいドラムユニットに交換してください。詳しくは、⇒ 105 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 • 新しいベルトユニットに交換してください。詳しくは、⇒ 112 ページ「ベルトユニットの交換」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
色むらが起こる 	• プリンタードライバーの拡張設定から色補正を行います。詳しくは、⇒ユーザーズガイド　応用編「色補正」を参照してください。 • コピーの場合は、コピー濃度やコントラストを調整してください。⇒ 76 ページ「コピー濃度を設定する」、「コントラストを設定する」を参照してください。 • プリンタードライバーの［グレーの印刷を改善する］のチェックボックスをオフにしてください。詳しくは、⇒「ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク」を参照してください。 • 濃さの異なっている色を特定し、その色の新しいトナーカートリッジに交換してください。詳しくは、⇒ 101 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。交換するトナーカートリッジの色を特定する方法も含めた解決方法は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）(http://support.brother.co.jp/) の「よくあるご質問（Q&A）」をご覧ください。 • 新しいドラムユニットに交換してください。詳しくは、⇒ 105 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
細線の画像が欠けている  	• 【省エネモード】の【トナー節約モード】が【オフ】になっているか確認してください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「省エネ設定」を参照してください。 • プリンタードライバーの印刷の解像度を変更してください。⇒「ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク」を参照してください。 • Windows® プリンタードライバーを使用している場合は、［パターン印刷を改善する］のチェックボックスにチェックを入れてください。⇒「ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
しわが寄っている 	• バックカバー（背面排紙トレイ）が正しく閉められているか確認してください。 • バックカバー（背面排紙トレイ）内部の左右両側の灰色のレバーがイラストのように持ち上がっているか確認してください。  • プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか確認してください。詳しくは、⇒ 34 ページ「記録紙の基本」、⇒「ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
前の画像が何度も現れる 	• 本製品の設置環境を確認してください。湿気、高温などは、この問題の原因となる場合があります。「安全にお使いいただくために」を参照してください。 • プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか確認してください。詳しくは、⇒ 34 ページ「記録紙の基本」、⇒「ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク」を参照してください。 • バックカバー（背面排紙トレイ）内部の左右両側の灰色のレバーがイラストのように持ち上がっているか確認してください。  • 新しいドラムユニットに交換してください。詳しくは、⇒ 105 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
印刷された箇所を指でこすると色がにじむ 	• バックカバー（背面排紙トレイ）内部の左右両側の灰色のレバーがイラストのように持ち上がっているか確認してください。  • プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか確認してください。詳しくは、⇒ 34 ページ「記録紙の基本」、⇒「ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク」を参照してください。 • プリンタードライバーで［トナーの定着を改善する］を選択してください。それでも解決しない場合は、［超厚紙］に用紙種類を選択してください。また封筒の場合は、［封筒（厚め）］を選択してください。
カールまたはうねり 	• プリンタードライバーで、［用紙のカールを軽減する］を選択してください。詳しくは、⇒「ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク」を参照してください。それでも解決しない場合は、［普通紙］に用紙種類を選択してください。また封筒の場合は、［封筒（薄め）］を選択してください。 • 本製品を頻繁に使わない場合は、記録紙トレイに用紙をいれたまま長時間放置されてしまいます。トレイの中の記録紙を裏返すか、記録紙をさばいた後に向きを 180 度回転させてください。 • 高温多湿の場所で放置した記録紙は使用しないでください。新しい記録紙を本製品にセットしてください。 • 記録紙がバックカバー（背面排紙トレイ）から排出されるようにバックカバーを開けてください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
封筒にしわが寄ったり折れ曲がって印刷される 	• 封筒を印刷するときは、バックカバー（背面排紙トレイ）を開け、バックカバー内部の左右両側の灰色レバーを手前に引いて◀/▶マークを✉マークに合わせてください。  印刷が終わったら、灰色レバーを持ち上げ、元の位置まで戻してください。 • それでも解決しない場合は、バックカバー（背面排紙トレイ）を開けたまま、多目的トレイから封筒を１枚ずつ給紙してください。

困ったときには（スキャン）

スキャンできない

このような場合は	対処方法
スキャン中にエラーが表示される	Windows®の場合、Presto! PageManagerで［ファイル］-［ソースの選択］-［ソースを選択］ダイアログボックスで［TW-Brother MFC-XXXX］を選択し、［OK］をクリックしてください。 Macintoshの場合、［ファイル］-［取り込みデバイスを選択］の選択をして、Brother TWAIN ドライバーを選択し、［選択］をクリックしてください。
OCRが使用できない	解像度を上げてもう一度スキャンしてください。
ネットワークスキャンが使用できない	⇒「ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク」を参照してください。

困ったときには（電話／ファクス）

ファクスできない

ここを確かめてください	対処方法
本製品が正しく設定されていますか	回線種別を正しく設定してください。 ⇒ 32 ページ「電話回線のこと」、⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。
ファクスを送信／受信できる相手とできない相手がいますか	【安心通信モード】を設定してください。このとき、【標準】→【安心 (VoIP)】の順にお試しください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。
ダイヤルできますか	• 電話線を正しく接続してください。⇒「かんたん設置ガイド」を参照してください。 • 接続されている電話機の受話器が上がっている場合は受話器を戻し、本製品の【オンフック】を押して相手先のファクス番号を入力し、ファクスを送信してください。詳しくは、⇒ 51 ページ「ファクスを手動で送信する」を参照してください。
送信確認レポートで、「結果エラー」と印刷される	もう一度ファクスを送信してください。問題が続いている場合、電話会社に問い合わせ、回線を確認してください。
原稿を正しくセットしていますか	原稿を正しくセットしているか確認してください。

ここを確かめてください	対処方法
登録している電話番号に、ポーズ【p】が入っていませんか	登録している電話番号に、ポーズ【p】が入っている場合は、削除してください。
IPフォンを使用していますか	ご利用しているプロバイダーへファクス通信が保障されていることを確認してください。
IP網を使用した専用線を使用していますか	【安心通信モード】を【標準】に変更してください。または、一般電話回線を選択して送信してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。
ADSL環境ですか	• ブランチ（並列）接続をしないでください。 • ラインセパレータ（分岐器）を使用すると改善する場合があります。

ファクスできない（応用編）

こんなときは	対処方法
自動受信できない	• 呼び出しベル回数が多すぎないか確認してください。受信モードのときは呼び出しベル回数を 6 回以下に、留守モードのときは呼び出しベル回数を 2 回以下に設定してください。⇒ 57 ページ「呼び出しベル回数を設定する」を参照してください。または、手動で受信してください。 • 自動で記録紙に印刷したいときは、【メモリ受信】の設定を【オフ】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」、 ⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。
リモート受信できない	• 【リモート受信】の設定を【オン】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。 • リモート起動番号を本製品に接続されている電話機のダイヤルボタンで正しくダイヤルしてください。お買い上げ時は「#51」に設定されています。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。 • メモリがいっぱいになっている場合があります。メモリ内部のデータを印刷するか、メモリの内容を消去してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」、 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
構内交換機（PBX）に内線接続したときに、ファクス受信できない	【特別回線対応】の設定を【PBX】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。 それでも受信できないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。

こんなときは	対処方法
IP網を使用している	「0000」や選択番号をダイヤルした後、約３秒間待ってから相手の番号や電話帳をダイヤルしてください。
ファクスを複数枚送信できない	• ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合 リアルタイム送信が【オン】になっていることを確認して送信してください。 • 原稿台ガラスを使用する場合 リアルタイム送信が【オフ】になっていることを確認して送信してください。それでも送信に失敗する場合は、メモリの容量が不足している可能性があります。その場合は、ADF（自動原稿送り装置）を使用して送信してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

リモコン機能が使えない

ここを確かめてください	対処方法
トーン信号（ピッポッパッ）が出せない電話機からかけていませんか	トーン信号の出せる電話機からかけ直してください。

ファクスの画質が悪い

こんなときは	対処方法
受信したファクスが分割されて2ページに印刷される	【自動縮小】を【オン】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
受信したファクスの画像が乱れる	• 相手に画質を変更して送信してもらってください。 • キャッチホンが途中で 入ると、画像が乱れることがあります。 • ブランチ（並列）接続はしないでください。 ⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。

こんなときは	対処方法
受信したファクスに縦の線が現れる	• ドラムユニット内にあるコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。青色のつまみを 2 ～ 3 回往復させてください。青色のつまみが必ず元の位置に戻してあるか確認してください。⇒ 88 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 • 清掃後も線が現れる場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。⇒ 105 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 • それでも改善されない場合は、定着ユニットに汚れがある可能性があります。お客様相談窓口にご連絡ください。 • 相手側のファクス読み取り部が汚れている可能性があります。相手にファクス読み取り部の汚れを確認してもらってください。
受信したファクスに、水平の線が現れるまたは、行が抜ける	• 回線状況が悪い可能性があります。相手にファクスを再送するように依頼してください。 •【安心通信モード】の設定を【標準】または【安心(VoIP)】にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。 • 相手側のファクス読み取り部が汚れている可能性があります。相手にファクス読み取り部の汚れを確認してもらってください。
相手側で受信したファクスが鮮明でない	• 原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（色白の部分）、ADF 読み取り部を清掃してください。⇒ 83 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。 • ファクスの送信時に選択した解像度が適切でないことがあります。【ファイン】または【スーパーファイン】モードを使用してファクスを再送信してください。原稿が写真の場合は、【写真】モードを選択して送信してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。
送信したファクスに縦の線が現れる	原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）、ADF 読み取り部を清掃してください。⇒ 83 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。
送信したファクスに横の線が現れる	• キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。 •【安心通信モード】の設定を【標準】または【安心(VoIP)】にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

電話がかけられない

ここを確かめてください	対処方法
受話器から「ツー」という音が聞こえますか	本製品に接続している電話機が本製品の外付け電話(EXT.)端子に接続していることを確認してください。
ひかり電話を使用していますか	• 手動で回線種別を【プッシュ回線】に設定してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。 • 一部つながらない番号があります。ご利用の電話会社へお問い合わせください。

着信音が鳴らない

ここを確かめてください	対処方法
電源は入っていますか	本製品の電源がONになっているか確認してください。また電源コードも確認してください。
ひかり電話を使用していますか	VoIP アダプタ側が、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になっているか確認してください。 場合によっては、VoIP アダプタの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIP アダプタの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。
ISDNを使用していますか	• ターミナルアダプタの電源が入っているか確認してください。また、設定を何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。 それでも改善しないときは、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたはご利用の電話会社にお問い合わせください。 • ターミナルアダプタの自己診断モードで ISDN 回線の状況を確認してください。 異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。 • 本製品を接続しているアナログポートの設定を「電話」にしてください。 •「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1 ～ 2 回おきにしか着信できません。 ターミナルアダプタの設定で「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。
ISDN回線で、複数の回線を契約していますか	• ダイヤルイン番号またはiナンバーを着信させるアナログポートはグローバル着信を「しない」に設定してください。 • それでも改善しない場合は、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたは最寄りのNTT にお問い合わせください。

「声」をファクス信号音として誤って検出する

ここを確かめてください	対処方法
【親切受信】が【オン】に設定されていませんか	本製品の【親切受信】が【オン】に設定されていると、音に対して敏感になります。本製品は回線上の特定の音声をファクス機器の呼び出しと間違って、ファクスの受信トーンで応答することがあります。本製品に接続している電話機をお使いの場合は、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

キャッチホン、ナンバー・ディスプレイが使用できない

ここを確かめてください	対処方法
雑音が入ったり、キャッチホンが受けられない	ブランチ（並列）接続をしている場合は、正しく接続し直してください。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。
電話番号が表示されない	• ブランチ（並列）接続をしている場合は、ブランチ（並列）接続をしないでください。 • NTT のナンバー・ディスプレイサービスの契約をしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。
ISDNを使用していますか	本製品を接続しているターミナルアダプタのアナログポートから、番号情報が送出される設定になっているか確認してください。
ひかり電話を使用していますか	VoIP アダプタ側が、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になっているか確認してください。 場合によっては、VoIP アダプタの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIP アダプタの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。

IPファクスで送受信できない

以下の順番で確認してください。

ここを確かめてください	対処方法
①NTTのフレッツ光ネクストに契約していますか	NTT のフレッツ光ネクストに契約し、専用のホームゲートウェイを設置してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「IP ファクスの設定をする」を参照してください。
②ホームゲートウェイの光ファイバーケーブル、LANケーブルが正しく接続されていますか	配線の接続を確認してください。 ⇒ 32 ページ「次世代ネットワーク（NGN）に接続する場合」を参照してください。

ここを確かめてください	対処方法
③ホームゲートウェイの電源スイッチがOnになっていますか	電源スイッチが On になっているときは、電源コードを確認してください。
④ホームゲートウェイが正しく設定されていますか	ホームゲートウェイの設定を変更した場合は、本製品の電源を入れ直してください。 正しく設定されていても、うまくいかないときはNTT にお問い合わせください。
⑤次世代ネットワーク（NGN）のサービスが、正常に提供されていますか	最寄りの NTT 窓口にお問い合わせください。
⑥（送信時のみ）【データコネクト設定】の【IPファクス】が、【オフ】になっていませんか	【専用】または【優先】に設定してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「IP ファクスの設定をする」を参照してください。
⑦【TCP/IP】の【IP取得方法】が、【Auto】または【DHCP】に設定されていますか	【Auto】または【DHCP】に設定してください。 ⇒「ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク」を参照してください。
⑧ホームゲートウェイの設定を変更していませんか	本製品の電源を入れ直してください。
⑨相手側の設定は正しいですか	①～⑧を相手側に確認してもらってください。

困ったときには（その他）

突然印刷が開始されたり、無意味なデータが印刷される

ここを確かめてください	対処方法
USBケーブルやLANケーブルが長すぎないか、破損または故障していませんか	• USBケーブルは長さが2.0m以下のものをおすすめします。 • ケーブルが破損、故障している場合は交換してください。
インターフェイス切替器を使用していますか	インターフェイス切替器を取り外して、コンピューターを直接本製品に接続してください。

Microsoft® Excel® または PowerPoint® をご使用中にオブジェクトに設定したハッチパターンがうまくプリントできない（Windows®のみ）

ここを確かめてください	対処方法
プリンタードライバーの［基本設定］タブで［パターン印刷を改善する］にチェックが入っていますか	以下の手順で設定を確認してください。 1［基本設定］タブで［文書種類］のプルダウンメニューから［手動設定］を選択する。 2［設定］をクリックし、［パターン印刷を改善する］のチェックボックスにチェックが入っていることを確認する。

コンピューターの画面上ではヘッダーやフッターが出てくるが、印刷ページには出てこない

ここを確かめてください	対処方法
ヘッダーまたはフッターの設定が間違っていませんか	ヘッダーまたはフッターの印刷位置を調整してください。

ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した（Windows®のみ）

ここを確かめてください	対処方法
ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか	接続失敗のエラーメッセージ画面から［検索］をクリックし、表示される機器の一覧から、使用する機器（本製品）を選び、再度設定してください。⇒「ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク」を参照してください。

スピーカーからの音（キータッチ音など）が割れる

ここを確かめてください	対処方法
スピーカーの近くにアンテナがありませんか	アンテナをスピーカーから遠ざけてください。

印刷速度がとても遅い

ここを確かめてください	対処方法
印刷品質が高品質になっていませんか	プリンタードライバーの設定を変更してください。
スリープモードにしていませんか	スリープモードの設定を確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「省エネ設定」を参照してください。
バックカバー（背面排紙トレイ）が完全に閉じていますか	バックカバーが完全に閉じているか確認してください。

画面の文字が読みにくい

ここを確かめてください	対処方法
画面のコントラストの設定が適切ですか	画面のコントラストの設定を変更してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「画面設定」を参照してください。

Macintoshに接続したプリンターが表示されない

ここを確かめてください	対処方法
ケーブルが正しく接続されていますか	ケーブルを正しく接続してください。⇒「かんたん設置ガイド」を参照してください。
プリンタードライバーはインストールされていますか	• プリンタードライバーが正しくインストールされているかを確認してください。 • [システム環境設定] - [プリントとスキャン] ※ をクリックし、本製品が選択されているか確認してください。 ※：Mac OS X v10.9.x の場合は、[プリンタとスキャナ] をクリックします。

本製品の動作中にUPSから警告音が鳴る

ここを確かめてください	対処方法
UPS（無停電電源装置）を使用していませんか	本製品の電源プラグを直接コンセントに差し込んでください。

その他

ここを確かめてください	対処方法
印刷すると照明がちらついたり、コンピューターのディスプレイ表示が不安定になっていませんか	コンセントの容量が不足していると、このような現象が起きる場合があります。 本製品の電源を別系統のコンセントに接続してください。

5 付録

機能一覧

本製品で設定できる機能や設定です。画面に表示されるメッセージにしたがって、登録や設定を行います。

【メニュー】ボタン

待ち受け画面の を押して表示されるメニュー画面で、以下の設定および確認ができます。
下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
時計セット	日付	–	2015.01.01	現在の日付を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	時刻	–	00:00	現在の時刻を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	タイム ゾーン	–	UTC+09:00	タイムゾーンを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
トナー	トナー残量	–	–	トナー残量を表示します。	⇒20 ページ
	テストプリント	–	–	印刷テストを行います。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	色補正	色補正実施	はい いいえ	色補正を行います。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		リセット	はい いいえ	色補正結果をリセットします。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	色ずれ補正	–	はい いいえ	色ずれ補正を行います。	⇒ユーザーズガイド 応用編
ネットワーク	有線LAN	–	–	有線LANを使用するときに必要なネットワーク設定メニューを表示します。	⇒187 ページ
	無線LAN	–	–	無線LANを使用するときに必要なネットワーク設定メニューを表示します。	⇒187 ページ
みるだけ受信	–	–	オン(画面で確認) オフ(受信したら印刷)	ファクスを受信したときに印刷するか、画面で確認するかを設定します。	⇒58 ページ
Wi-Fi Direct	–	–	–	Wi-Fi Directを使用するときに必要なネットワークの設定メニューを表示します。	⇒187 ページ

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	選択項目	内容	参照ページ
トレイ設定	記録紙タイプ	多目的トレイ	普通紙 普通紙(厚め) 厚紙 超厚紙 再生紙 ラベル紙 封筒 封筒(薄め) 封筒(厚め) ハガキ 光沢紙	記録紙トレイにセットした記録紙の種類を設定します。また、その設定値が表示されます。	⇒43 ページ
		記録紙トレイ#1	普通紙 普通紙(厚め) 再生紙 ハガキ		
		記録紙トレイ#2※	普通紙 普通紙(厚め) 再生紙		
	記録紙サイズ	多目的トレイ	A4 USレター B5(JIS) B5(ISO) A5 A5 L(A5 横置き) B6(JIS) A6 Com-10 モナーク C5 DL ハガキ 洋形4号封筒 洋形定形最大封筒	記録紙トレイにセットした記録紙のサイズを設定します。また、その設定値が表示されます。	⇒43 ページ
		記録紙トレイ#1	A4 USレター B5(JIS) A5 A5 L(A5 横置き) B6(JIS) A6 ハガキ		
		記録紙トレイ#2※	A4 USレター B5(JIS) A5 B6(JIS)		
	トレイ開閉時確認	−	オン オフ	本体の設定と、記録紙トレイにセットした用紙サイズが一致しているか確認を促すメッセージを表示するときは【オン】に設定します。	⇒43 ページ

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
トレイ設定	トレイ選択: コピー	−	記録紙トレイ#1のみ 記録紙トレイ#2のみ※ 多目的トレイのみ 多目的トレイ>トレイ 1>トレイ 2※ 多目的トレイ>トレイ 2※>トレイ 1 トレイ1>トレイ 2※>多目的トレイ トレイ 2※>トレイ1>多目的トレイ	コピーするときに給紙する記録紙トレイの優先順位を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	トレイ選択: ファクス	−	記録紙トレイ#1のみ 記録紙トレイ#2のみ※ 多目的トレイのみ 多目的トレイ>トレイ1>トレイ 2※ 多目的トレイ>トレイ 2※>トレイ1 トレイ1>トレイ 2※>多目的トレイ トレイ 2※>トレイ1>多目的トレイ	ファクスを印刷するときに給紙する記録紙トレイの優先順位を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	トレイ選択: プリント	−	記録紙トレイ#1のみ 記録紙トレイ#2のみ※ 多目的トレイのみ 多目的トレイ>トレイ1>トレイ 2※ 多目的トレイ>トレイ 2※>トレイ1 トレイ1>トレイ 2※>多目的トレイ トレイ 2※>トレイ1>多目的トレイ	プリンター印刷するときに給紙する記録紙トレイの優先順位を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
全てのメニュー	−	−	−	本製品を使用する上で必要な、さまざまな設定メニューを表示します。	⇒181 ページ

※：オプションの増設記録紙トレイ（LT-320CL/LT-325CL）を増設したときにメニューが表示されます。

【全てのメニュー】

待ち受け画面の→【全てのメニュー】を押して表示されるメニュー画面で、以下の設定および確認ができます。
下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

基本設定

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
記録紙トレイ設定	記録紙タイプ	多目的トレイ	普通紙 普通紙(厚め) 厚紙 超厚紙 再生紙 ラベル紙 封筒 封筒(薄め) 封筒(厚め) ハガキ 光沢紙	記録紙トレイにセットした記録紙の種類を設定します。また、その設定値が表示されます。	⇒43 ページ
		記録紙トレイ#1	普通紙 普通紙(厚め) 再生紙 ハガキ		
		記録紙トレイ#2※	普通紙 普通紙(厚め) 再生紙	記録紙トレイにセットした記録紙の種類を設定します。また、その設定値が表示されます。	⇒43 ページ
	記録紙サイズ	多目的トレイ	A4 USレター B5(JIS) B5(ISO) A5 A5 L(A5 横置き) B6(JIS) A6 Com-10 モナーク C5 DL ハガキ 洋形4号封筒 洋形定形最大封筒	記録紙トレイにセットした記録紙のサイズを設定します。また、その設定値が表示されます。	⇒43 ページ
		記録紙トレイ#1	A4 USレター B5(JIS) A5 A5 L(A5 横置き) B6(JIS) A6 ハガキ		
		記録紙トレイ#2※	A4 USレター B5(JIS) A5 B6(JIS)		

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
記録紙トレイ設定	トレイ開閉時確認	–	オン オフ	本体の設定と、記録紙トレイにセットした用紙サイズが一致しているか確認を促すメッセージを表示するときは【オン】に設定します。	⇒43 ページ
	トレイ選択:コピー	–	記録紙トレイ#1のみ 記録紙トレイ#2のみ※ 多目的トレイのみ 多目的トレイ>トレイ1>トレイ2※ 多目的トレイ>トレイ2※>トレイ1 トレイ1>トレイ2※>多目的トレイ トレイ2※>トレイ1>多目的トレイ	コピーするときに給紙する記録紙トレイの優先順位を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	トレイ選択:ファクス	–	記録紙トレイ#1のみ 記録紙トレイ#2のみ※ 多目的トレイのみ 多目的トレイ>トレイ1>トレイ2※ 多目的トレイ>トレイ2※>トレイ1 トレイ1>トレイ2※>多目的トレイ トレイ2※>トレイ1>多目的トレイ	ファクスを印刷するときに給紙する記録紙トレイの優先順位を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	トレイ選択:プリント	–	記録紙トレイ#1のみ 記録紙トレイ#2のみ※ 多目的トレイのみ 多目的トレイ>トレイ1>トレイ2※ 多目的トレイ>トレイ2※>トレイ1 トレイ1>トレイ2※>多目的トレイ トレイ2※>トレイ1>多目的トレイ	プリンター印刷するときに給紙する記録紙トレイの優先順位を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
音量	着信音量	–	切 小 中 大	着信音量を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	ボタン確認音量	–	切 小 中 大	操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	スピーカー音量	–	切 小 中 大	スピーカーの音量を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
画面の設定	画面の明るさ	–	明るく 標準 暗く	画面の明るさを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	照明ダウンタイマー	–	切 10秒 20秒 30秒	画面のライトを暗くするまでの時間を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
ボタン設定	ホームボタン設定	–	基本 便利な機能1 便利な機能2	を押したときに表示されるホーム画面を設定します。	⇒23 ページ

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
省エネモード	トナー節約モード	–	オン オフ	トナーの使用量をセーブします。【オン】に設定すると、印字結果が薄くなります。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	スリープモード	–	3 分 (0-50分)	スリープ状態になるまでの時間を設定します。消費電力を節約することができます。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	静音モード	–	オン オフ	印刷時の動作音を静かにすることができます。【オン】に設定すると、印字速度が遅くなります。	⇒ユーザーズガイド 応用編
セキュリティ設定ロック	パスワード設定	–	現在のパスワード:（既にパスワードが設定されているときに表示されます） 新規のパスワード:	暗証番号を設定し機能設定をロックします。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	ロック オフ⇒オン	–	パスワード:		

※：オプションの増設記録紙トレイ（LT-320CL/LT-325CL）を増設したときにメニューが表示されます。

お気に入り設定

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容	参照ページ
お気に入りボタンを選ぶ。	お気に入り名の編集	–	お気に入り1～8の画面に登録するメニューや機能の編集をします。	⇒31 ページ
	消去			⇒31 ページ

ファクス

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー2	選択項目	内容	参照ページ
受信設定	受信モード	–	FAX=ファクス専用 F/T=自動切換え 留守=外付け留守電 TEL=電話	ファクスの受信モードを設定します。	⇒57 ページ
	ファクス無鳴動受信	–	オン オフ	電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにします。	⇒57 ページ
	呼出ベル回数	–	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	受信モードが【FAX=ファクス専用】と【F/T=自動切換え】のとき、着信してから自動受信するまでの呼び出しベル回数を0～10回の間で設定します。	⇒57 ページ
	再呼出ベル回数	–	8 15 20	受信モードが【F/T=自動切換え】のとき、本製品が自動受信後に鳴る呼び出しベル回数を設定します。	⇒57 ページ
	みるだけ受信	–	オン(画面で確認) オフ(受信したら印刷)	ファクスを受信したときに印刷するか、画面で確認するかを設定します。	⇒58 ページ
	親切受信	–	オン オフ	ファクスを自動受信する前に本製品と接続されている電話を取ってしまった場合でも、本製品の【スタート】を押さずに、ファクスを受信する機能を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	リモート受信	–	オン（起動番号：#51） オフ	本製品と接続されている電話機からファクスを受信させるときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	自動縮小	–	オン オフ	A4サイズより長い原稿が送られてきたときに自動的に縮小する／しないを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	PCファクス受信	–	オン 　本体でも印刷する 　本体では印刷しない オフ	本製品と接続されているPCにファクスを受信させるときに設定します。【オン】に設定すると、メモリ受信は自動的に【オフ】に設定されます。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	メモリ受信	–	オフ ファクス転送 　本体でも印刷する 　本体では印刷しない 電話呼び出し メモリ保持のみ	ファクスを転送したり、メモリ受信を設定します。【オフ】以外に設定すると、PCファクス受信は自動的に【オフ】に設定されます。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	迷惑リスト	–	登録 消去 レポート印刷	迷惑リストを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	受信スタンプ	–	オン オフ	ファクス印刷するときに受信した日時を印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	両面印刷	–	オン オフ	両面印刷を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー2	選択項目	内容	参照ページ
送信設定	とりまとめ送信	−	オン オフ	同一の相手に一括してタイマー送信を行うときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	送付書設定	印刷サンプル	−	送付書をサンプルとして印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		送付書コメント	−	送付書のコメントを作成します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	自動再ダイヤル	−	オン オフ	自動再ダイヤルの設定をします。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	送信先表示	−	表示 非表示	ファクス送信の宛先情報を画面に表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
電話回線診断	−	−	−	現在の回線の状態を診断し、結果を印刷します。	⇒32 ページ
レポート設定	送信結果レポート	−	オン オン+イメージ オフ オフ+イメージ レポート出力しない	ファクス送信後に送信結果を印刷するかどうかの設定をします。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	通信管理レポート	通信管理レポート	レポート出力しない 50件ごと 6時間ごと 12時間ごと 24時間ごと 2日ごと 7日ごと	通信管理レポートを印刷する間隔を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		印刷時刻指定	−	【通信管理レポート】で【50件ごと】以外に設定したときにレポートが印刷される時間を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		曜日指定	月曜日ごと 火曜日ごと 水曜日ごと 木曜日ごと 金曜日ごと 土曜日ごと 日曜日ごと	【通信管理レポート】で【7日ごと】に設定したときにレポートが印刷される曜日を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
ファクス出力	−	−	−	メモリ受信でメモリに蓄積されたファクスを印刷するときに使用します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
暗証番号	−	−	暗証番号：---*	外出先から本製品を操作するときの暗証番号を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
ダイヤル制限機能	直接入力	−	2度入力 オン オフ	ファクス送信を禁止したり、誤って間違った相手にファクスを送信しないように制限することができます。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	電話帳	−	2度入力 オン オフ		
	お気に入り	−	2度入力 オン オフ		
	LDAPサーバー※	−	2度入力 オン オフ		

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー2	選択項目	内容	参照ページ
通信待ち一覧	－	－	－	メモリ送信の設定を確認したり、解除できます。	⇒ユーザーズガイド 応用編
データコネクト設定	IPファクス	－	専用 優先 オフ	IP ファクスを使ってファクスを送信するときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	通信速度	－	自動 標準 高速 最高速	IP ファクスを使ってファクスを送信するときの通信速度を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

※：MFC-L8650CDW は、インターネットファクスのダウンロードが必要です。

プリンター

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー2	選択項目	内容	参照ページ
エミュレーション	－	－	自動 HP LaserJet BR-Script 3	オペレーティングシステムとアプリケーションが異なった場合は、それぞれのエミュレーションモードを使用して印刷します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
プリンターオプション	フォント リスト	HP LaserJet	－	内蔵フォントの種類を印刷します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
		BR-Script 3	－		
	テストプリント	－	－	テストチャートを印刷します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
両面印刷	－	－	オフ 長辺綴じ 短辺綴じ	両面印刷時の内容を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
エラー解除	－	－	オン オフ	【オン】に設定すると、記録紙サイズのエラーを自動解除して、記録紙トレイにセットされた記録紙を使用して給紙を継続します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
印刷カラー	－	－	自動 カラー モノクロ	プリンターから印刷するときのカラーモードを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
プリンターリセット	－	－	はい いいえ	プリンターの設定をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
画質補正	色補正	色補正実施	はい いいえ	色補正を行います。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		リセット	はい いいえ	実行した色補正を初期値に戻します。	
	色ずれ補正	－	はい いいえ	各カラーの印刷位置を調整します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	定期色ずれ補正	－	オン オフ	色補正と色ずれ補正を定期的に実行する設定をします。	⇒ユーザーズガイド 応用編

ネットワーク

詳しくは、⇒「ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク」を参照してください。

メインメニュー	サブメニュー１	サブメニュー２	サブメニュー３	選択項目	内容
有線LAN	TCP/IP	IP取得方法	−	Auto Static RARP BOOTP DHCP	IPアドレスの取得方法を指定します。
		IP アドレス	−	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	IPアドレスを設定します。
		サブネット マスク	−	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	サブネットマスクを設定します。
		ゲートウェイ	−	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	ゲートウェイのアドレスを設定します。
		ノード名	−	BRNxxxxxxxxxxxx	ノード名を設定します。 （最大３２文字）
		WINS設定	−	Auto Static	WINSサーバーのアドレスの取得方法を設定します。
		WINS サーバー	プライマリ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	WINSサーバーを設定します。
			セカンダリ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	
		DNS サーバー	プライマリ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	DNSサーバーを設定します。
			セカンダリ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	
		APIPA	−	オン オフ	APIPAを設定します。
		IPv6	−	オン オフ	IPv6を設定します。
	イーサネット	−	−	Auto 100B-FD 100B-HD 10B-FD 10B-HD	Auto： 自動接続により選択します。 100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD： それぞれのリンクモードに固定されます。
	有線LAN状態	−	−	アクティブ100B-FD アクティブ100B-HD アクティブ10B-FD アクティブ10B-HD 未接続 有線LANオフ	有線LANの接続状態を表示します。
	MACアドレス	−	−	−	MACアドレスを表示します。
	初期設定に 戻す	−	−	はい いいえ	有線 LAN のネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。
	有線LAN有効	−	−	オン オフ	有線LAN設定のオン/オフを切り替えます。

メインメニュー	サブメニュー１	サブメニュー２	サブメニュー３	選択項目	内容
無線LAN	TCP/IP	IP取得方法	－	Auto Static RARP BOOTP DHCP	IPアドレスの取得方法を指定します。
		IP アドレス	－	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	IPアドレスを設定します。
		サブネット マスク	－	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	サブネットマスクを設定します。
		ゲートウェイ	－	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	ゲートウェイのアドレスを設定します。
		ノード名	－	BRWxxxxxxxxxxxx	ノード名を設定します。 （最大３２文字）
		WINS設定	－	Auto Static	WINSサーバーのアドレスの取得方法を設定します。
		WINS サーバー	プライマリ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	WINSサーバーを設定します。
			セカンダリ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	
		DNS サーバー	プライマリ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	DNSサーバーを設定します。
			セカンダリ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	
		APIPA	－	オン オフ	APIPAを設定します。
		IPv6	－	オン オフ	IPv6を設定します。
	接続アシスタント	－	－	－	付属の CD-ROM を使用して、無線 LAN 設定をします。（Windows® のみ）
	無線接続 ウィザード	－	－	－	ウィザード形式で無線 LAN の設定をします。
	WPS/AOSS	－	－	－	ボタンを押すだけで簡単にワイヤレスネットワーク接続ができます。
	WPS （PINコード）	－	－	－	WPS（PINコード）で簡単にワイヤレスネットワーク接続ができます。

メインメニュー	サブメニュー１	サブメニュー２	サブメニュー３	選択項目	内容
無線LAN	無線状態	接続状態	－	アクティブ(11b) アクティブ(11g) アクティブ(11n) 有線LANアクティブ 未接続 AOSS アクティブ 接続に失敗しました	接続状態を表示します。
		電波状態	－	電波:強い 電波:普通 電波:弱い 電波:なし	電波状態を表示します。
		SSID	－	－	SSID(ネットワーク名)を表示します。
		通信モード	－	アドホック インフラストラクチャ なし	通信モードを表示します。
	MACアドレス	－	－	－	MACアドレスを表示します。
	初期設定に戻す	－	－	はい いいえ	無線 LAN のネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。
	無線LAN有効	－	－	オン オフ	無線LAN設定のオン/オフを切り替えます。
Wi-Fi Direct	プッシュボタン接続	－	－	－	ボタンを押すだけで簡単にWi-Fi Directネットワーク接続ができます。
	PINコード接続	－	－	－	WPS（PIN方式）で簡単にWi-Fi Directネットワーク接続ができます。
	手動接続	－	－	－	手動でWi-Fi Directネットワーク接続ができます。
	グループオーナー	－	－	オン オフ	本製品をグループオーナーに設定できます。
	デバイス情報	デバイス名	－	(デバイス名)	デバイス名を表示します。
		SSID	－	(自分のSSID) (接続相手のSSID) 未接続	グループオーナーの SSID（ネットワーク名）を表示します。
		IP アドレス	－	－	本製品のIPアドレスを表示します。
	接続情報	接続状態	－	グループオーナー (＊＊) クライアント アクティブ 未接続 Wi-Fi Direct オフ 有線LANアクティブ	接続状態を表示します。 (＊＊)は接続数
		電波状態	－	電波:強い 電波:普通 電波:弱い 電波:なし	電波状態を表示します。
	インターフェース有効	－	－	オン オフ	Wi-Fi Direct接続の有効/無効を設定します。
NFC※1	－	－	－	オン オフ	NFC機能のオン/オフを切り替えます。

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	サブメニュー3	選択項目	内容
Eメール/IFAX※2	メールアドレス	−	−	−	メールアドレスを設定します。（最大60文字）
	サーバー設定	SMTP	サーバー	サーバー名 IP アドレス [000-255].[000-255].[000-255].[000-255]	SMTPサーバーを設定します。（最大64文字）
			ポート	25 [1-65535]	SMTP 認証を行うポート番号を設定します。
			SMTP認証	認証しない SMTP認証	SMTPの認証方式を設定します。
			SSL/TLS	認証しない SSL TLS	SMTPの暗号化方式を設定します。
			証明書の検証	オン オフ	SMTP サーバーから受信したサーバー証明書の検証を行うかどうかの設定をします。
		POP3/IMAP4	プロトコル	POP3 IMAP4	インターネットに接続するプロトコルを設定します。
			サーバー	サーバー名 IP アドレス [000-255].[000-255].[000-255].[000-255]	POP3またはIMAP4サーバーを設定します。（最大64文字）
			ポート	110 [1-65535]	POP3またはIMAP4で使用するポート番号を設定します。
			アカウント名	−	アカウント名を設定します。（最大60文字）
			パスワード	パスワード:******	POP3またはIMAP4サーバーにログインするパスワードを設定します。（最大32文字）
			フォルダ選択	初期値(受信トレイ) 特定のフォルダ	受信先を設定します。【特定のフォルダ】を指定する場合、フォルダ名も設定します。（最大６０文字）
			SSL/TLS	認証しない SSL TLS	POP3またはIMAP4の暗号化方式を設定します。
			証明書の検証	オン オフ	POP3またはIMAP4サーバーから受信したサーバー証明書の検証を行うかどうかの設定をします。
			APOP	オン オフ	アカウントやパスワードのセキュリティを保つため、APOPの設定を行います。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容
Eメール/IFAX※2	メール 受信設定	自動受信	自動受信	オン オフ	メールの自動受信を設定します。
			ポーリング間隔	1分 3分 5分 10分 30分 60分	自動受信で【オン】を選んだ場合に、POP3またはIMAP4サーバーへアクセスする間隔を設定します。
		ヘッダー印刷	−	全て ヘッダーのみ なし	メールヘッダ印刷を設定します。
		エラーメール削除/閲覧	−	オン オフ	エラーメールの自動削除を設定します。
		受信確認	−	オン MDN オフ	通知メッセージを設定します。
	メール 送信設定	メールタイトル	−	Internet Fax Job	メールタイトルを設定します。
		サイズ制限	−	オン オフ	メールサイズ制限を設定します。【オン】に設定すると1MB より大きいときは警告が表示されメールを送信することができません。
		受信確認要求	−	オン オフ	通知メッセージを設定します。
	リレー 設定	リレー 許可	−	オン オフ	インターネット経由で受け取ったドキュメントを電話回線でファクスに転送します。
		許可 ドメイン	−	リレーXX	転送を許可するドキュメント名を登録します。
		リレーレポート	−	オン オフ	転送したあとのレポート出力を設定します。
	手動受信	−	−	−	メールの手動受信を設定をします。
Web接続設定	プロキシ設定	プロキシ経由接続	−	オン オフ	プロキシサーバーを経由してインターネットに接続するかしないかの設定をします。
		アドレス	−	−	プロキシサーバーのアドレスを設定します。
		ポート	−	−	プロキシサーバーのポート番号を設定します。
		ユーザー名	−	−	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なユーザー名を設定します。
		パスワード	−	−	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なパスワードを設定します。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容
セキュリティ	IPsec	–		オン オフ	IPsec は、認証および暗号化サービスを提供するIP プロトコルにおける、オプションのセキュリティー機能です。設定を変更する前に、ネットワーク管理者に連絡してください。
ネットワーク設定リセット	–	–	–	はい いいえ	ネットワークに関して設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。

※1 ：MFC-L9550CDW のみ
※2 ：MFC-L8650CDW は、インターネットファクスのダウンロードが必要です。

レポート印刷

詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「レポート・リスト」を参照してください。

メインメニュー	サブメニュー	内容
送信結果レポート	表示	送信した最新の最大200件分の結果を表示します。
	印刷	最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。
電話帳リスト	–	電話帳に登録されている内容を印刷します。
通信管理レポート	–	送信・受信した最新の最大200件分の結果を印刷します。
設定内容リスト	–	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。
プリンター設定	–	プリンターの設定値内容を印刷します。
ネットワーク設定リスト	–	ネットワークの設定値内容を印刷します。
ドラム汚れ印刷	–	感光ドラムの汚れの場所を特定するためのチェックシートを印刷します。
無線LANレポート	–	無線LANの現在の接続状況を印刷します。
着信履歴リスト	–	着信した履歴を印刷します。

製品情報

メインメニュー	サブメニュー	内容	参照ページ
シリアル No.	−	シリアルNo.を表示します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
ファームウェア バージョン	Main バージョン	本製品のファームウェアバージョンを表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	Sub1 バージョン		
	Sub2 バージョン		
	Sub4 バージョン		
印刷枚数表示	合計	お買い上げ時から今までに印刷したカラー、モノクロそれぞれの枚数を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	ファクス／リスト		
	コピー		
	プリンター		
消耗品寿命	ドラム寿命	ドラムユニット寿命までの残り%を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	ベルトユニット 寿命	ベルトユニット寿命までの残り%を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	ヒーター 寿命	定着器ユニット（ヒーター）（定期交換部品）寿命までの残り%を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	レーザー 寿命	レーザーユニット（定期交換部品）寿命までの残り%を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	PF キットMP寿命	記録紙トレイPFキット（MP/1/2）（定期交換部品）寿命までの残り%を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	PF キット1寿命		
	PF キット2 寿命		
消耗品リセット※	ドラム	ドラムユニット / ベルトユニットカウンター数をリセットします。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	ベルトユニット		

※：消耗品の交換時期にメニューが表示されます。

初期設定

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容	参照ページ
時計セット	日付	2015.01.01	現在の日付を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	時刻	00:00	現在の時刻を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	タイム ゾーン	UTC+09:00	本製品が設置されている地域のタイムゾーンを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
発信元登録	−	ファクス 電話 名前	ファクスに印刷される発信元の名前、ファクス番号を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容	参照ページ
回線種別設定	－	プッシュ回線 ダイヤル 10PPS ダイヤル 20PPS 自動設定	お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
ナンバーディスプレイ	－	オン オフ 外付け電話優先	ナンバー･ディスプレイサービスのオン/オフを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
ダイヤルトーン設定	－	検知する 検知しない	ダイヤルトーン検知を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
外線番号	－	オン オフ	構内交換機（PBX）使用時、外線にダイヤルするときに必要な番号を登録します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
特別回線対応	－	一般 PBX 光・ISDN	特別な電話回線に合わせて回線種別を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
安心通信モード	－	高速 標準 安心(VoIP)	安心通信モードに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
設定リセット	機能設定 リセット	はい いいえ	コピー、ファクスなど各種機能でご使用に合わせて設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	ネットワーク 設定リセット	はい いいえ	ネットワークの設定をすべて初期値に戻します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	電話帳&ファクス リセット	はい いいえ	電話帳や着信履歴、メモリなどをすべて消去します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	全設定リセット	はい いいえ	本製品のすべての設定内容や登録情報を初期値に戻します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	出荷状態 リセット	はい いいえ	本製品のすべての設定内容や登録情報をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
表示言語設定	－	日本語 English	画面に表示される言語を設定します。 This setting allows you to change LCD Language to English.	⇒ユーザーズガイド 応用編

サービス

【印刷できません】、【初期化できません】などのエラーが解決されない場合に【サービス】メニューが表示されます。

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容	参照ページ
データ転送	ファクス転送	－	ファクスが印刷できないときに、ファクスデータや通信管理レポートを別のファクス機で印刷します。	⇒137 ページ
	レポート転送	－		

【ファクス】ボタン

待ち受け画面の【ファクス】を押して表示される画面で、以下の設定ができます。
下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

みるだけ受信がオフのとき

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
再ダイヤル/ポーズ	−	−	−	直前に送信した相手先をダイヤルします。電話番号を入力し始めると、再ダイヤルから、ポーズボタンに変わります。	⇒ユーザーズガイド 応用編
オンフック	−	−	−	受話器を置いたままダイヤルします。押すと電話回線につながります。	⇒51 ページ
電話帳	検索	−	−	電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	設定	−	電話帳登録 グループ登録 変更 消去		⇒63 ページ
	（登録されている相手先を選択）	送信先に設定	−		⇒ユーザーズガイド 応用編
履歴	発信履歴	（履歴を選択）	設定 電話帳に登録 消去	発信/着信履歴を表示します。※ナンバー・ディスプレイサービスを契約している場合は、着信履歴に電話番号と名前（電話帳に登録されている場合）も表示されます。	⇒64 ページ
			送信先に設定		
	着信履歴	（履歴を選択）	設定 電話帳に登録 消去		
スタート	−	−	−	ファクスを送信します。	−
設定変更	ファクス画質	−	標準 ファイン スーパーファイン 写真	送信時の画質を一時的に設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	両面ファクス	−	オフ 両面スキャン:長辺綴じ原稿 両面スキャン:短辺綴じ原稿	両面原稿の綴じ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	原稿濃度	−	自動 濃く 薄く	原稿のコントラスト（色の濃度）を調整します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	同報送信	番号追加	手動入力	複数の相手先に同じ原稿を送ります。	⇒ユーザーズガイド 応用編
			電話帳から選択		
			検索して選択		

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
設定変更	タイマー送信	タイマー送信	オン オフ	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		指定時刻	－		
	リアルタイム送信	－	オン オフ	メモリを使わずに、原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	送付書※1	送付書設定	オン オフ	送付書を付加する／しないを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		送付書コメント	1.コメント無し 2.お電話ください 3.至急 4.親展 5. 6.		
		枚数	0		
	海外送信モード	－	オン オフ	海外にファクスを送るときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	原稿台スキャンサイズ	－	USレター A4 リーガル/フォリオ※3	原稿台ガラスからファクスを送信するときに読み取りサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	設定を保持する※2	－	ファクス画質 原稿濃度 原稿台スキャンサイズ リアルタイム送信 送付書 海外送信モード 　はい 　いいえ	変更した設定を保持します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	設定をリセットする※2	－	はい いいえ	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	－
お気に入り登録	－	－	送信先 ファクス画質 両面ファクス 原稿濃度 リアルタイム送信 送付書設定 海外送信モード 原稿台スキャンサイズ	ファクスに関する設定を名前を付けて登録しておくことができます。	⇒209 ページ

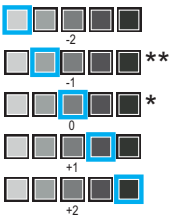
※1：「発信元登録」を設定していないときは無効になります。
※2：セキュリティ機能ロック／設定ロックが設定されているときは無効になります。
※3：MFC-L9550CDW のみ

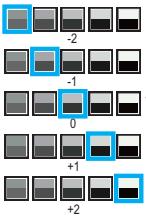
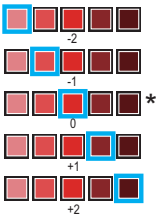
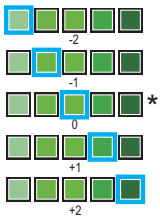
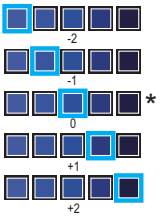
みるだけ受信がオンのとき

メインメニュー	サブメニュー１	サブメニュー２	選択項目	内容	参照ページ
ファクス送信	⇒195ページ「【ファクス】ボタン」を参照してください。				
受信ファクス	印刷/消去	全て印刷 (新着ファクス)	－	受信したファクスを印刷または消去します。	⇒60 ページ
		全て印刷 (既読ファクス)	－		
		全て消去 (新着ファクス)	－		⇒60 ページ
		全て消去 (既読ファクス)	－		
電話帳	検索	－	－	電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	設定	－	電話帳登録 グループ登録 変更 消去		⇒63 ページ
	（登録されている相手先を選択）	送信先に設定	－		⇒ユーザーズガイド 応用編
履歴	発信履歴	（履歴を選択）	設定 電話帳に登録 消去	発信／着信履歴を表示します。※ナンバー・ディスプレイサービスを契約している場合は、着信履歴に電話番号と名前（電話帳に登録されている場合）も表示されます。	⇒64 ページ
			送信先に設定		
	着信履歴	（履歴を選択）	設定 電話帳に登録 消去		

【コピー】ボタン

待ち受け画面の【コピー】を押して表示される画面で、以下の設定ができます。
下線または*付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
モノクロ スタート	−	−	−	モノクロまたはグレースケールでコピーします。	−
カラー スタート	−	−	−	カラーコピーをします。	−
レシート 標準 2in1(ID) 2in1 片面 ⇒ 両面 両面 ⇒ 両面 記録紙節約	−	−	−	よく使う機能として、本製品にあらかじめ設定されているコピーのメニューです。（プリセット）	⇒70 ページ
設定変更	コピー画質	−	自動 テキスト 写真 レシート （プリセットで【2in1(ID)】を設定したとき） 自動 明るめ	印刷品質に合わせて設定します。	⇒76 ページ
	拡大/縮小	等倍100%	−	−	⇒72 ページ
		拡大	200% 141% A5⇒A4 115% B5⇒A4	コピーしたいサイズに合わせて設定します。	⇒72 ページ
		縮小	97% USレター⇒A4 94% A4⇒USレター 91% フルページ 87% A4⇒B5 83% 最大⇒A4 70% A4⇒A5 50%		
		カスタム (25-400%)	−		
	コピー濃度	−		コピーの濃度を調整します。 (**:プリセットで【2in1(ID)】を設定したときの初期設定)	⇒76 ページ

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
設定変更	コントラスト	–		コピーのコントラストを調整します。	⇒76 ページ
	スタック/ソート	–	スタックコピー ソートコピー	複数部コピーするとき、ページごとまたは部数ごとを設定します。	⇒72 ページ
	レイアウトコピー	–	オフ (1in1) 2in1 (縦長) 2in1 (横長) 2in1 (ID) 4in1 (縦長) 4in1 (横長)	複数の原稿を1枚の用紙に割り付けてコピーします。	⇒73 ページ
	カラー調整	レッド		画像の赤色部分の色合いを調整します。	–
		グリーン		画像の緑色部分の色合いを調整します。	–
		ブルー		画像の青色部分の色合いを調整します。	–

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
設定変更	両面コピー	−	オフ 両面⇒両面 片面⇒両面 長辺綴じ原稿 両面⇒片面 長辺綴じ原稿 片面⇒両面 短辺綴じ原稿 両面⇒片面 短辺綴じ原稿	両面コピーします。 とじ辺と原稿の向きの設定を行い、うら面のコピー方向を決定します。	⇒74 ページ
	両面レイアウトコピー	−	長辺綴じ⇒長辺綴じ 長辺綴じ⇒短辺綴じ 短辺綴じ⇒長辺綴じ 短辺綴じ⇒短辺綴じ	複数の原稿を 1 枚の用紙に割り付けて両面コピーします。	⇒74 ページ
	トレイ選択	−	記録紙トレイ#1のみ 記録紙トレイ#2のみ※ 多目的トレイのみ 多目的トレイ>トレイ1>トレイ2※ 多目的トレイ>トレイ2※>トレイ1 トレイ1>トレイ2※>多目的トレイ トレイ2※>トレイ1>多目的トレイ	コピーするときに給紙する記録紙トレイの優先順位を設定します。	⇒75 ページ
	地色除去コピー	−	オフ 弱 中 強	原稿の地色（用紙色または背景色）がカラーの場合の地色を消してコピーできます。	−
	お気に入り登録	−	コピー画質 拡大/縮小 コピー濃度 コントラスト スタック/ソート レイアウト コピー カラー調整 両面コピー 両面レイアウトコピー トレイ選択 地色除去コピー	コピーの機能をお好みの設定で、名前を付けて登録しておくことができます。	⇒209 ページ

※：オプションの増設記録紙トレイ（LT-320CL/LT-325CL）を増設したときにメニューが表示されます。

【スキャン】ボタン

待ち受け画面の【スキャン】を押して表示される画面で、以下の設定ができます。
下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

メインメニュー	サブメニュー１	サブメニュー２	選択項目	内容	参照ページ
OCR	PC選択	設定変更	⇒203ページ「設定変更（OCRのとき）」を参照してください。		
		お気に入り登録	PC名	スキャンしたファイルの保存先設定をお気に入りに登録します。	⇒209 ページ
		スタート	−	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
ファイル	PC選択	設定変更	⇒204ページ「設定変更（ファイル、イメージ、Eメール添付のとき）」を参照してください。		
		お気に入り登録	PC名	スキャンしたファイルの保存先設定をお気に入りに登録します。	⇒209 ページ
		スタート	−	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
イメージ	PC選択	設定変更	⇒204ページ「設定変更（ファイル、イメージ、Eメール添付のとき）」を参照してください。		
		お気に入り登録	PC名	スキャンしたファイルの保存先設定をお気に入りに登録します。	⇒209 ページ
		スタート	−	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
USBメモリ	設定変更	⇒205ページ「設定変更（USBメモリのとき）」を参照してください。			
	お気に入り登録	−	両面スキャン カラー設定 解像度 ファイル形式 原稿台スキャンサイズ ファイル名 ファイルサイズ 地色除去	スキャンに関連する設定内容をお気に入りに登録します。	⇒210 ページ
	スタート	−	−	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
Eメール添付	PC選択	設定変更	⇒204ページ「設定変更（ファイル、イメージ、Eメール添付のとき）」を参照してください。		
		お気に入り登録	PC名	スキャンしたファイルの保存先設定をお気に入りに登録します。	⇒210 ページ
		スタート	−	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
Eメール送信※1	電話帳	−	−	スキャンしたファイルの送付先を電話帳から設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
	手動入力	−	−	スキャンしたファイルの送付先を入力します。	
	OK	設定変更	⇒206ページ「設定変更（Eメール送信のとき）」を参照してください。		
		お気に入り登録	送信先 両面スキャン カラー設定 解像度 ファイル形式 原稿台スキャンサイズ ファイルサイズ	スキャンに関連する設定内容をお気に入りに登録します。	⇒210 ページ
		スタート	−	スキャンを開始します。	
(S)FTPサーバー	プロファイル名選択	設定変更	⇒207ページ「設定変更（FTP/SFTPサーバー、ネットワークのとき）」を参照してください。		
		お気に入り登録	プロファイル名	プロファイル名の設定をお気に入りに登録します。	⇒210 ページ
		スタート	−	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
ネットワーク	プロファイル名選択	設定変更	⇒207ページ「設定変更（FTP/SFTPサーバー、ネットワークのとき）」を参照してください。		
		お気に入り登録	プロファイル名	プロファイル名の設定をお気に入りに登録します。	⇒210 ページ
		スタート	−	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
Webサービス※2	スキャン	−	−	Webサービスプロトコルを使用してデータをスキャンします。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
	電子メール用にスキャン	−	−		⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
	FAX用にスキャン	−	−		⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
	印刷用にスキャン	−	−		⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

※1：MFC-L8650CDW は、インターネットファクスのダウンロードが必要です。
※2：Web サービススキャン機能をインストールした場合に表示されます。

設定変更（OCRのとき）

サブメニュー３	選択項目	内容	参照ページ
両面スキャン	オフ 両面スキャン:長辺綴じ原稿 両面スキャン:短辺綴じ原稿	両面原稿の綴じ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
スキャン設定	本体から設定する パソコンから設定する	スキャンの設定をコンピューターから設定するか本体から設定するかを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
カラー設定※	カラー グレー モノクロ	スキャンするときのカラーモードを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
解像度※	100 dpi 200 dpi 300 dpi 600 dpi	スキャンする解像度を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
ファイル形式※	Text HTML RTF	スキャンするファイル形式を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
スキャンサイズ※	A4 USレター リーガル	原稿台ガラスからスキャンするときに読み取りサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

※：スキャン設定が【本体から設定する】に設定されているときにのみ、メニューが表示されます。

設定変更（ファイル、イメージ、Eメール添付のとき）

サブメニュー３	選択項目	内容	参照ページ
両面スキャン	オフ 両面スキャン:長辺綴じ原稿 両面スキャン:短辺綴じ原稿	両面原稿の綴じ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
スキャン設定	本体から設定する パソコンから設定する	スキャンの設定をコンピューターから設定するか本体から設定するかを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
カラー設定※1	カラー グレー モノクロ	スキャンするときのカラーモードを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
解像度※1	100 dpi 200 dpi 300 dpi 600 dpi	スキャンする解像度を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
ファイル形式※1	PDF JPEG ※2 TIFF ※3	スキャンするファイル形式を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
スキャンサイズ※1	A4 USレター リーガル	原稿台ガラスからスキャンするときに読み取りサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
地色除去※1※2	オフ 弱 中 強	地色除去機能を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

※1：スキャン設定が【本体から設定する】に設定されているときにのみ、メニューが表示されます。
※2：カラー設定が、カラーまたはグレーのときに選択できます。
※3：カラー設定が、モノクロのときのみ選択できます。

設定変更（USBメモリのとき）

サブメニュー２	選択項目	内容	参照ページ
両面スキャン	オフ 両面スキャン:長辺綴じ原稿 両面スキャン:短辺綴じ原稿	両面原稿の綴じ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
カラー設定	カラー グレー モノクロ	スキャンするときのカラーモードを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
解像度	100 dpi※2 200 dpi 300 dpi 600 dpi※1 自動※2 200x100※3	スキャンする解像度を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
ファイル形式	PDF JPEG※2 PDF/A セキュリティ PDF 電子署名付PDF XPS※2 TIFF※3	スキャンするファイル形式を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
原稿台スキャンサイズ	A4 USレター リーガル/フォリオ※4	原稿台ガラスからスキャンするときに読み取りサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
ファイル名	－	ファイル名を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
ファイルサイズ※2	小 中 大	スキャンするときのファイルサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
地色除去※2	オフ 弱 中 強	地色除去機能を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
設定を保持する※5	両面スキャン カラー設定 解像度 ファイル形式 原稿台スキャンサイズ ファイルサイズ 地色除去 　はい 　いいえ	変更した設定を保持します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
設定をリセットする※5	はい いいえ	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

※1：カラー設定が、カラーのときのみ選択できます。
※2：カラー設定が、カラーまたはグレーのときに選択できます。
※3：カラー設定が、モノクロのときのみ選択できます。
※4：MFC-L9550CDW のみ
※5：セキュリティ機能ロック / 設定ロックが設定されているときは無効になります。

設定変更（Eメール送信のとき）

サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
両面スキャン	オフ 両面スキャン:長辺綴じ原稿 両面スキャン:短辺綴じ原稿	両面原稿の綴じ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
カラー設定	カラー グレー モノクロ	スキャンするときのカラーモードを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
解像度	100 dpi※2 200 dpi 300 dpi 600 dpi※1 自動※2 200x100※3	スキャンする解像度を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
ファイル形式	PDF JPEG※2 PDF/A セキュリティ PDF 電子署名付PDF XPS※2 TIFF※3	スキャンするファイル形式を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
原稿台スキャンサイズ	A4 USレター リーガル/フォリオ※4	原稿台ガラスからスキャンするときに読み取りサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
ファイルサイズ ※2	小 中 大	スキャンするときのファイルサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
設定を保持する※5	両面スキャン カラー設定 解像度 ファイル形式 原稿台スキャンサイズ ファイルサイズ 　はい 　いいえ	変更した設定を保持します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
設定をリセットする※5	はい いいえ	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

※1：カラー設定が、カラーのときのみ選択できます。
※2：カラー設定が、カラーまたはグレーのときに選択できます。
※3：カラー設定が、モノクロのときのみ選択できます。
※4：MFC-L9550CDW のみ
※5：セキュリティ機能ロック / 設定ロックが設定されているときは無効になります。

設定変更（FTP/SFTPサーバー、ネットワークのとき）

サブメニュー３	選択項目	内容	参照ページ
両面スキャン	オフ 両面スキャン:長辺綴じ原稿 両面スキャン:短辺綴じ原稿	両面原稿の綴じ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
カラー設定	カラー グレー モノクロ	スキャンするときのカラーモードを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
解像度	100 dpi※2 200 dpi 300 dpi 600 dpi※1 自動※2 200x100※3	スキャンする解像度を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
ファイル形式	PDF JPEG※2 PDF/A セキュリティ PDF 電子署名付PDF XPS※2 TIFF※3	スキャンするファイル形式を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
原稿台スキャンサイズ	A4 USレター リーガル/フォリオ※4	原稿台ガラスからスキャンするときに読み取りサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
ファイル名	BRNXXXXXXXXXXXX Mitsumori Report Cyumon-syo Keiyaku-syo Denpyo Jucyu-syo <手動設定>	あらかじめ登録されたファイル名を設定できます。「手動設定」を選択すると、直接好きなファイル名を入力することができます。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
ファイルサイズ※2	小 中 大	スキャンするときのファイルサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
地色除去※2	オフ 弱 中 強	地色除去機能を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
ユーザー名	－	ユーザー名を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

※1：カラー設定が、カラーのときのみ選択できます。
※2：カラー設定が、カラーまたはグレーのときに選択できます。
※3：カラー設定が、モノクロのときのみ選択できます。
※4：MFC-L9550CDW のみ

その他の機能

待ち受け画面から以下の設定ができます。

【トナー】ボタン

待ち受け画面の【トナー】ボタンを押して表示される画面で、トナーに関する以下の設定ができます。

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容	参照ページ
トナー残量	–	–	トナーの残量を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
テストプリント	–	–	印刷テストを行います。	⇒ユーザーズガイド 応用編
色補正	色補正実施	はい いいえ	色補正を行います。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	リセット	はい いいえ		
色ずれ補正	–	はい いいえ	各カラーの印刷位置を調整します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

(Wi-Fi設定)ボタン

待ち受け画面の (Wi-Fi設定)ボタンを押して表示される画面で、無線LANの設定ができます。

メインメニュー	内容	参照ページ
無線接続ウィザード	無線LANの機器を検索し、接続を行います。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
WPS/AOSS	WPS/AOSS™機能を使って自動接続を行います。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
接続アシスタント	付属のCD-ROMを使用して、無線LAN 設定をします。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

お気に入り【お気に入り】ボタン

待ち受け画面の お気に入り【お気に入り】ボタンを押して表示される画面で、以下の設定ができます。

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	選択項目	内容	参照ページ
お気に入り登録	コピー	レシート	⇒198ページ「【コピー】ボタン」の選択項目を参照してください。	プリセットコピーメニューから登録する機能を選択します。	⇒25 ページ
		標準			
		2in1(ID)			
		2in1			
		片面 ⇒ 両面			
		両面 ⇒ 両面			
		記録紙節約			
	ファクス(設定変更)	送信先	−	送信先を設定します。	⇒26 ページ
		ファクス画質	標準 ファイン スーパーファイン 写真	送信時の画質を設定します。	
		両面ファクス	オフ 両面スキャン:長辺綴じ原稿 両面スキャン:短辺綴じ原稿	両面ファクスを設定します。	
		原稿濃度	自動 濃く 薄く	原稿に合わせて濃度を調整します。	
		同報送信	−	複数の相手先に同じ原稿を送るときに設定します。	
		リアルタイム送信	オン オフ	メモリを使わずに、原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	
		送付書	送付書設定	送付書を付加する／しないを設定します。	
			送付書コメント		
			枚数		
		海外送信モード	オン オフ	海外にファクスを送信するときに設定します。	
		原稿台スキャンサイズ	USレター A4 リーガル/フォリオ※1	原稿台でスキャンするサイズを設定します。	
	スキャン	PC(ファイル)	PC選択	スキャンした画像をコンピューターの指定したフォルダーに保存します。	⇒27 ページ
		PC(OCR)	PC選択	スキャンした画像をテキストに変換してコンピューターに保存します。	
		PC(イメージ)	PC選択	スキャンした画像をコンピューターに保存します。	

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	選択項目	内容	参照ページ
お気に入り登録	スキャン	USBメモリ	両面スキャン カラー設定 解像度 ファイル形式 原稿台スキャンサイズ ファイル名 ファイルサイズ 地色除去	スキャンした画像をUSBメモリに保存します。	⇒27 ページ
		PC (Eメール添付)	PC選択	スキャンした画像を添付ファイルにしてメールソフトを起動します。	
		Eメール送信※2	送信先 両面スキャン カラー設定 解像度 ファイル形式 原稿台スキャンサイズ ファイルサイズ	スキャンした画像を本製品から直接Eメールアドレスに送ります。	
		ネットワーク	プロファイル名	スキャンしたデータをネットワーク上のコンピューターに保存します。	
		FTP/SFTPサーバー	プロファイル名	スキャンしたデータを指定したFTP/SFTPサーバーに保存します。	
	クラウド	Picasa Web Albums™	−	クラウド機能のサービス名、および、お役立ちツールのアプリ名は、本書の作成後に変更されることがあります。 「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）(http://support.brother.co.jp/)からダウンロードできます。	⇒29 ページ
		Google Drive™	−		
		Flickr®	−		
		Facebook	−		
		Evernote®	−		
		Dropbox	−		
		SkyDrive®	−		
		Box	−		
	お役立ちツール	手書きトリミングスキャン	−		⇒30 ページ
		手書きトリミングコピー	−		
		折りメモ	−		
編集/消去するお気に入りを選んでください	お気に入り名の編集	−	−	お気に入り1～8の画面に登録するメニューや機能の編集をします。	⇒31 ページ
	消去	−	−		⇒31 ページ

※1：MFC-L9550CDW のみ
※2：MFC-L8650CDW は、インターネットファクスのダウンロードが必要です。

【クラウド】ボタン

待ち受け【便利な機能１】画面の【クラウド】ボタンを押して表示される画面で、ウェブサービスにスキャンした画像をアップロードしたり、アップロードされている画像を印刷することができます。

メインメニュー	内容	参照ページ
Picasa Web Albums™	ウェブサービスにスキャンした画像をアップロードしたり、アップロードされている画像を印刷することができます。	⇒クラウド接続ガイド※
Google Drive™		
Flickr®		
Facebook		
Evernote®		
Dropbox		
SkyDrive®		
Box		

※：「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://support.brother.co.jp/）からダウンロードできます。

【お役立ちツール】ボタン

待ち受け【便利な機能１】画面の【お役立ちツール】ボタンを押して表示される画面で、スキャンやコピーをよりいっそう便利にするクラウド上のアプリを利用することができます。

メインメニュー	内容	参照ページ
手書きトリミングスキャン	スキャンやコピーをよりいっそう便利にするクラウド上のアプリを利用することができます。	⇒クラウド接続ガイド※
手書きトリミングコピー		
折りメモ		

※：「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://support.brother.co.jp/）からダウンロードできます。

【USBダイレクトプリント】ボタン

待ち受け【便利な機能２】画面の【USB】→【USBダイレクトプリント】ボタンを押して表示される画面で、以下の設定ができます。

メインメニュー	サブメニュー１	サブメニュー２	選択項目	内容	参照ページ
（表示されたUSBメモリ内のファイル名を選択）	テンポラリ設定/部数入力（001～999）	記録紙タイプ	普通紙 普通紙(厚め) 厚紙 超厚紙 再生紙 ラベル紙 封筒 封筒(薄め) 封筒(厚め) ハガキ 光沢紙	記録紙タイプを設定します。	⇒77 ページ

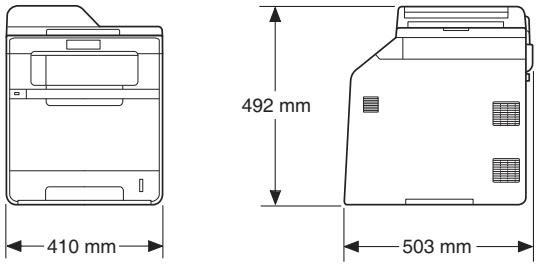
メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	選択項目	内容	参照ページ
(表示されたUSBメモリ内のファイル名を選択)	テンポラリ設定/部数入力(001～999)	記録紙サイズ	A4 USレター B5(JIS) B5(ISO) A5 A5 L(A5 横置き) B6(JIS) A6 Com-10 モナーク C5 DL ハガキ 洋形4号封筒 洋形定形最大封筒	記録紙サイズを設定します。	⇒77 ページ
		レイアウト	1in1 2in1 4in1 9in1 16in1 25in1 縦2x横2倍 縦3x横3倍 縦4x横4倍 縦5x横5倍	Nin1を設定します。	⇒77 ページ
		印刷の向き※1	縦長 横長	印刷方向を設定します。	⇒77 ページ
		両面印刷	オフ 長辺綴じ 短辺綴じ	両面印刷時の内容を設定します。	⇒77 ページ
		部単位	オン オフ	部単位で印刷するかどうかを設定します。	⇒77 ページ
		トレイ選択	自動 多目的トレイのみ 記録紙トレイ#1のみ 記録紙トレイ#2のみ※2	USBダイレクトプリントするときに給紙する記録紙トレイを設定します。	⇒77 ページ
		プリント画質	標準 きれい	印刷画質を設定します。	⇒77 ページ
		PDFオプション※3	文書 文書&注釈 文書&スタンプ	PDFオプションを設定します。	⇒77 ページ
インデックスプリント	－	－	－	インデックスシートの方式を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

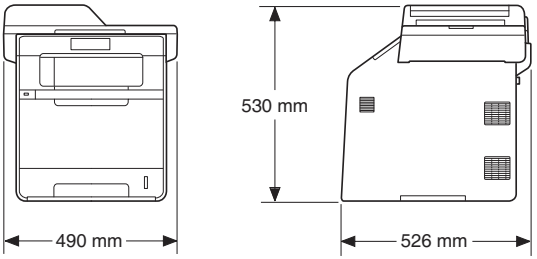
メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	選択項目	内容	参照ページ
デフォルト設定	記録紙タイプ	−	普通紙 普通紙(厚め) 厚紙 超厚紙 再生紙 ラベル紙 封筒 封筒(薄め) 封筒(厚め) ハガキ 光沢紙	記録紙タイプを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	記録紙サイズ	−	A4 USレター B5(JIS) B5(ISO) A5 A5 L(A5 横置き) B6(JIS) A6 Com-10 モナーク C5 DL ハガキ 洋形4号封筒 洋形定形最大封筒	記録紙サイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	レイアウト	−	1in1 2in1 4in1 9in1 16in1 25in1 縦2x横2倍 縦3x横3倍 縦4x横4倍 縦5x横5倍	N in 1を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	印刷の向き	−	縦長 横長	印刷方向を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	部単位	−	オン オフ	部単位を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	プリント画質	−	標準 きれい	印刷画質を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	PDF オプション	−	文書 文書&注釈 文書&スタンプ	PDFオプションを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	インデックスプリント	−	簡易 詳細	インデックスシートの方式を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

※1：JPEG 形式時のみ選択することができます。
※2：オプションの増設記録紙トレイ（LT-320CL/LT-325CL）を増設したときにメニューが表示されます。
※3：PDF 形式時のみ選択することができます。

本製品の仕様

基本設定

		MFC-L8650CDW	MFC-L9550CDW
プリントタイプ		レーザー	
プリント方式		電子写真方式レーザープリンター	
メモリ容量		256MB	
液晶ディスプレイ		3.7インチ（93.4mm）TFT カラー液晶	4.85インチ（123.2mm）TFTカラー液晶
電源		AC100V（50/60Hz）	
ウォームアップタイム ※1		33秒以下（スリープモードから） 35秒以下（電源投入から）	
消費電力 ※2	ピーク時	約990W（25℃）	
	コピー時	約570W※5（25℃）	
	コピー時（静音モード）	約350W（25℃）	
	スタンバイ時	約65W（25℃）	
	スリープ時	約9.5W	約10.0W
	ディープスリープ時	約1.7W	約1.8W
	電源 OFF 時 ※3※4	約0.02W	
エネルギー消費効率		107kWh/年※6 （区分：複合機 a）	124kWh/年※6 （区分：複合機 a）
外形寸法		MFC-L8650CDW 	

			MFC-L8650CDW	MFC-L9550CDW
			MFC-L9550CDW 	
質量（消耗品を含む）			30.0kg	30.6kg
稼動音	音圧レベル	動作時	LpAm 55dB（A）以下	LpAm 56dB（A）以下
		動作時 （静音モード）	LpAm 52dB（A）以下	LpAm 53dB（A）以下
		スタンバイ時	LpAm 28dB（A）以下	
	音響レベル ※7	動作時 ※8	カラー：LWAd 6.73B（A） モノクロ：LWAd 6.70B（A）	カラー：LWAd 6.71B（A） モノクロ：LWAd 6.71B（A）
		動作時 （静音モード）	LWAd 6.40B（A）	LWAd 6.36B（A）
		スタンバイ時 ※8	LWAd 4.05B（A）	
温度	操作時		10～32℃（結露なきこと）	
	保管時		0～40℃	
湿度	操作時		20～80%（結露なきこと）	
	保管時		10～90%	
ADF（自動原稿送り装置）			最大35枚まで	最大50枚まで
			温度：20～30℃	
			湿度：50～70%	
			用紙坪量：64～90g/m^2	

※1：温度 23 ℃、湿度 50% で測定した値です。
※2：本製品とコンピューターを USB ケーブルで接続した場合
※3：IEC 62301 Edition 2.0 による測定値
※4：消費電力は、使用環境や部品の消耗により、異なる場合があります。
※5：原稿 1 枚に対してコピーを 1 枚したときの消費電力です。コピーの状況によって異なります。
※6：省エネ法 (平成 25 年 3 月 1 日付) で定められた複合機・ページプリンター別の測定方法による数値
※7：特性音響レベル LwAd が 6.30B(A) を超える機器の場合、事務所とは別室に設置することをお勧めします。
※8：稼動音（音響レベル）は RAL-UZ171 規格に基づいて測定した値です。

原稿サイズ

両面：ADF（自動原稿送り装置）使用時	原稿サイズ 幅	147.3～215.9mm
	原稿サイズ 長さ※	147.3～355.6mm

※：両面読み取りは A4 サイズまでです。

用紙仕様

給紙	記録紙トレイ（標準）	用紙種類	普通紙、普通紙（厚め）、再生紙、ハガキ
		用紙サイズ	A4、レター、B5（JIS）、A5、A5（横置き）、B6（JIS）、A6、ハガキ（同等品）
		用紙坪量	60～105g/m^2（ハガキ：185g/m^2）
		最大給紙枚数	250枚（80g/m^2）　ハガキ：30枚（185g/m^2）
	多目的トレイ	用紙種類	普通紙、普通紙（厚め）、厚紙、超厚紙、再生紙、ラベル紙、封筒、封筒（厚め）、封筒（薄め）、光沢紙、ハガキ（同等品）
		用紙サイズ	ユーザー定義サイズ（幅：76.2～215.9mm　長さ：127.0～355.6mm）
		用紙坪量	60～163g/m^2（ハガキ：185g/m^2）
		最大給紙枚数	50枚（80g/m^2）　ハガキ：10枚（185g/m^2）
	増設記録紙トレイ	用紙種類	普通紙、普通紙（厚め）、再生紙
		用紙サイズ	A4、レター、B5（JIS）、A5、B6（JIS）
		用紙坪量	60～105g/m^2
		最大給紙枚数	500枚（80g/m^2）
排紙※1	上面排紙トレイ※2		150枚（80g/m^2）
	背面排紙トレイ※3		1枚
両面	自動両面印刷	用紙種類	普通紙、普通紙（厚め）、再生紙、光沢紙
		用紙サイズ	A4
		用紙坪量	60～105g/m^2

※1：ラベル紙は汚れ防止のため、印刷後排紙トレイからすぐに取り出してください。
※2：上面排紙トレイには、印字面が下向きに排紙されます。
※3：背面排紙トレイには、印字面が上向きに排紙されます。

ファクス

互換性	スーパー G3
圧縮方式	MH/MR/MMR/JBIG
通信速度	33,600bps（自動フォールバック付き）
受信ファクスの両面印刷	あり
自動両面送信	あり
ファクス読み取り幅	ADF：208mm　原稿台：204mm
受信ファクスの印刷幅	208mm
グレースケール	8ビット/256階調
走査線密度	203 × 98 dpi（標準） 203 × 196 dpi（ファイン/写真） 203 × 392 dpi（スーパーファイン）
電話帳	300件
グループダイヤル	20件
同報送信	350件
自動再ダイヤル	3回/5分間隔
メモリ送信 ※	500枚
メモリ代行受信 ※	500枚

※：A4 判 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット ×3.85 本 /mm）で蓄積した場合（MMR 圧縮時）

コピー

コピー読み取り幅		A4（ADF/原稿台ガラス）：204mm
自動両面コピー		あり
連続複写枚数		スタック/ソート　最大99枚
複写倍率		1:1±1.4% / 50・70・83・87・91・94・97・100・115・141・200%・カスタム、25～400%の1%刻み
コピー解像度		最高1200dpi×600dpi
ファーストコピーアウトタイム ※	スタンバイ時	モノクロ：19秒以下 カラー：21秒以下
	スリープ時	モノクロ：45秒以下 カラー：48秒以下
階調		256階調

※：記録紙トレイ使用時に印刷した場合。

スキャナー

カラー / モノクロ		あり/あり
TWAIN ドライバー対応 OS		Windows® XP / Windows Vista® / Windows® 7 / Windows® 8 Mac OS X v10.7.5、10.8.x、10.9.x※1
WIA ドライバー対応 OS		Windows® XP / Windows Vista® / Windows® 7 / Windows® 8
ICA ドライバー対応 OS		Mac OS X v10.7.5、10.8.x、10.9.x
階調	フルカラー	入力：48ビット、出力：24ビット
	グレースケール	入力：16ビット、出力：8ビット
スキャナー解像度		最大19200×19200dpi（補間）※2 最大1200×2400dpi（原稿台ガラス） 最大1200×600dpi（ADF（自動原稿送り装置））
スキャナー読み取り幅		A4（ADF/原稿台ガラス）：204mm
自動両面スキャン		あり（ADF使用時のみ）
グレースケール		256階調

※1：Mac OS X の最新のドライバーはサポートサイト（http://support.brother.co.jp/）よりダウンロードすることができます。

※2：WIA ドライバー（Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows® 8 対応）では、最大 1200×1200dpi の解像度でのスキャンができます。
（[Scanner Utility] を使って、19200×19200dpi の解像度を有効にすることができます。）

プリンター

			MFC-L8650CDW	MFC-L9550CDW
自動両面印刷			あり	
エミュレーション			PCL6、BR-Script3（PostScript® 3™）	
解像度			2400dpi（2400dpi × 600dpi）相当 600dpi × 600dpi	
プリントスピード（A4）※3	片面	モノクロ	最高28枚/分※1 ※2	最高30枚/分※1 ※2
		カラー	最高28枚/分※1 ※2	最高30枚/分※1 ※2
	両面	モノクロ	最高7枚/分※1 ※2	
		カラー	最高7枚/分※1 ※2	
ファーストプリントタイム※4	スタンバイ時		モノクロ：16秒以下 カラー：16秒以下	
	スリープ時		モノクロ：45秒以下 カラー：45秒以下	

※1：記録紙トレイから印刷した場合。
※2：プリントスピードは、印刷する文書やデータのタイプにより異なります。
※3：無線 LAN 接続時の場合は、プリントスピードが遅くなることがあります。
※4：記録紙トレイ使用時に印刷した場合。

インターフェイス

	MFC-L8650CDW	MFC-L9550CDW
USB	Hi-Speed USB 2.0※1 ※2 ※3	
イーサネット※4	10BASE-T※5/100BASE-TX※5	
無線 LAN	IEEE802.11b/g/n（インフラストラクチャモード/アドホックモード） IEEE802.11g（Wi-Fi Direct）	
Wi-Fi Direct	あり	
NFC	なし	あり

※1：2.0m 以下の USB ケーブル（タイプ A/B）を推奨します。
※2：ご使用のコンピューターが Hi-Speed USB 2.0 に対応している場合。
また、USB 1.1 に対応しているコンピューターでも接続することができます。
※3：サードパーティ製の USB ポートはサポートしていません。
※4：ネットワークの仕様については、⇒「ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク」を参照してください。
※5：カテゴリ 5（10BASE-T/100BASE-TX 用）以上のストレートタイプのツイストペアケーブルをお使いください。

ネットワーク

LAN		本製品をネットワーク環境に接続することにより、ネットワークプリンター機能、ネットワークスキャン機能、PCファクス送信機能、PCファクス受信機能（Windows®のみ）、リモートセットアップ機能を使用することができます。 また、ネットワーク接続されている本製品の初期設定用ユーティリティBRAdmin Light※1 ※2も使用できます。
ネットワークのプロトコル	IPv4	ARP、RARP、BOOTP、DHCP、APIPA（Auto IP）、WINS/NetBIOS name resolution、DNS Resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port9100、POP3、SMTP Client、IPP/IPPS、FTP Client and Server、CIFS Client、TELNET Server、SNMPv1/v2c/v3、HTTP/HTTPS server、TFTP client and server、ICMP、Web Services （Print/Scan）、SNTP Client、LDAP※3、IMAP4
	IPv6	NDP、RA、DNS resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port9100、POP3、IPP/IPPS、FTP Client and Server、CIFS Client、TELNET Server、SNMPv1/v2c、HTTP/HTTPS server、TFTP client and server、SMTP Client、ICMPv6、SNTP Client、Web Services（Print/Scan）、LDAP※3、IMAP4
ネットワークのセキュリティ	有線 LAN	APOP、SMTP-AUTH、SSL/TLS （IPPS、HTTPS、SMTP、POP3、IMAP4）、SNMP v3、802.1x（EAP-MD5、EAP-FAST、PEAP、EAP-TLS、EAP-TTLS）、Kerberos、IPSec
	無線 LAN	APOP、SMTP-AUTH、SSL/TLS （IPPS、HTTPS、SMTP、POP3、IMAP4）、SNMP v3、802.1x（LEAP、EAP-FAST、PEAP、EAP-TLS、EAP-TTLS）、Kerberos、IPSec
無線セキュリティ		WEP 64/128 bit、WPA-PSK（TKIP/AES）、WPA2-PSK（AES）
AOSS™		あり
WPS		あり

※1 ：Windows® をご使用の場合は、⇒「ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク」を参照し、付属の CD-ROM から BRAdmin Light をインストールしてください。
Macintosh をご使用の場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://support.brother.co.jp/）からダウンロードしてください。

※2 ：さらに高度な管理を必要とする場合は、BRAdmin Professional（Windows® 版のみ）をご利用ください。BRAdmin Professionalは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://support.brother.co.jp/）より最新版をダウンロードしてご使用ください。

※3 ：MFC-L8650CDW は、インターネットファクスのダウンロードが必要です。

ダイレクトプリント

互換性	PDF version1.7※、JPEG、Exif+JPEG、 PRN（本製品のプリンタードライバーで作成されたデータ）、 TIFF（ブラザー製品でスキャンしたデータ）、XPS version 1.0
インターフェイス	USB

※：JBIG2 イメージファイル、JPEG2000 イメージファイルおよびレイヤ情報を持つファイルには対応しておりません。

消耗品

				型番
トナーカートリッジ	付属品	ブラック	約2,500枚※1	—
		シアン、マゼンタ、イエロー	約1,500枚※1	—
	標準	ブラック	約2,500枚※1	TN-391BK
		シアン、マゼンタ、イエロー	約1,500枚※1	TN-391C、 TN-391M、 TN-391Y
	大容量	ブラック	約4,000枚 ※1	TN-396BK
		シアン、マゼンタ、イエロー	約3,500枚 ※1	TN-396C、 TN-396M、 TN-396Y
ドラムユニット			約25,000枚 ※2	DR-391CL
ベルトユニット			約50,000枚（5枚/ジョブ）※2	BU-320CL
廃トナーボックス			約50,000枚 ※2 ※3	WT-320CL

※1：印刷可能枚数は JIS X 6932（ISO/IEC 19798）規格に基づく公表値を満たしています。
（JIS X 6932（ISO/IEC 19798）とはカラー電子写真方式プリンター用トナーカートリッジの印刷枚数を測定するための試験方法を定めた規格です。）

※2：使用環境や記録紙の種類、連続印刷枚数などによって異なります。

※3：A4 を印刷した場合、印刷内容などによって異なります。

製品のカラー / モノクロ設定

プリンタードライバーでのカラー / モノクロ設定は、以下のように変更できます。

カラー /モノクロ自動切換
文書内にカラー情報がある場合はカラー印刷され、ない場合はモノクロ印刷されます。
初期設定は「カラー / モノクロ自動切換」です。

補足
グレーの文字やオフホワイトの背景をカラーとして認識することがあります。
カラートナーを節約したい場合は、モノクロモードを設定してください。

カラー
カラー印刷されます。文書がモノクロであってもカラートナーが使用されます。

モノクロ
モノクロ印刷されます。文書がカラーであってもブラックトナーのみを使用します。

補足
カラー印刷中に、シアン、マゼンタ、イエローのいずれかがトナー交換時期になった場合、印刷することができません。
ブラックトナーが使用可能な場合、印刷中のジョブを取り消し、モノクロモードに設定することで印刷することができます。

プリンタードライバーの設定方法については、「ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク」を参照してください。

トナーカートリッジの交換時期

以下の2 つの方法でトナーカートリッジの交換時期を検出します。

● 印刷に使用される各色のドット数のカウントによる検出

● 現像ローラーの回転数のカウントによる検出

本製品は、印刷に使用される各色のドット数と、各トナーカートリッジの現像ローラーの回転数をカウントしています。

このいずれかが上限値になると印刷を停止し、画質劣化や製品損傷を防ぎます。

トナーカートリッジの交換時期は、【まもなくトナー交換】、または【トナーを交換してください】のメッセージでお知らせします。

【まもなくトナー交換】は、ドット数、または現像ローラーの回転数が上限値に近づいた場合に表示されます。

【トナーを交換してください】は、ドット数、または現像ローラーの回転数が上限値になった場合に表示されます。

色補正と色ずれ補正

現像ローラーは印刷時だけでなく、色補正、色ずれ補正時も回転します。

● 色補正（ 色濃度の調整 ）

安定した印刷画質を保つために色濃度を補正します。

補正が実行された場合、色濃度を補正するためのテストパターンがベルトユニット上に形成されます。

この補正は主に以下の場合に行われます。

- 操作パネル、またはプリンタードライバーから色補正を実行したとき
  （色濃度を改善する必要があるときは、補正を行なってください。）
- 新品のトナーカートリッジに交換したとき
- 湿度と湿度が変化したとき
- 印刷枚数が所定の値に達したとき

● 色ずれ補正（色位置の補正）

各色を組み合わせて印刷するため、色ずれ（色位置のずれ）の発生する可能性があります。

補正が実行された場合、色位置を補正するためのテストパターンがベルトユニット上に形成されます。

この補正は主に以下の場合に行われます。

- 操作パネルから色ずれ補正を実行したとき
  （ 色ずれを改善する必要があるときは、補正を行なってください。）
- 印刷枚数が所定の値に達したとき

Wi-Fi®認証について

この製品は、Wi-Fi Alliance®のWi-Fi製品IEEE802.11b/802.11g/802.11n認証を受けています。Wi-Fi Alliance認証プログラムは、IEEE無線標準規格802.11を基準とした他メーカーの無線LAN製品と互換して機能することを保証します。Wi-Fi Allianceと認証製品については、http://www.wi-fi.org/を参照してください。

簡単無線LAN設定

ご使用の無線LANアクセスポイントがAOSS™、WPS※1 (PBC※2)のいずれかに対応している場合、1つのボタンを押すだけで無線LAN設定ができます。詳しくは、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

※1：Wi-Fi Protected Setup™

※2：Push Button Configuration

補足

上記の機能に対応した製品には、次のいずれかのマークが表示されています。





停電がおきたときは

停電中は本製品の機能はすべて使用できなくなります。本製品のメモリに保存されている「各種登録、設定内容」は本製品内蔵のフラッシュメモリに保存され、停電時も消去されません。

補足

停電復旧時は、日付や時刻などの再設定をしてください。

動作環境

OS		インターフェイス			プロセッサ	必要なディスク容量	
		USB※1	10Base-T/100Base-TX（イーサネット）	無線 IEEE 802.11b/g/n		ドライバー	その他のソフトウェア
Windows®	Windows® XP Home ※2 Windows® XP Professional ※2	プリント PCファクス※3 スキャン			32ビット (x86) または 64ビット (x64) プロセッサ	150MB	500MB
	Windows® XP Professional x64 Edition※2				64ビット (x64) プロセッサ		
	Windows Vista® ※2				32ビット (x86) または 64ビット (x64) プロセッサ	500MB	1.2GB
	Windows® 7 ※2					650MB	
	Windows® 8 ※2						
	Windows Server® 2003	–	プリント		32ビット (x86) または 64ビット (x64) プロセッサ	50MB	–
	Windows Server® 2003 x64 Edition				64ビット (x64) プロセッサ		
	Windows Server® 2008				32ビット (x86) または 64ビット (x64) プロセッサ		
	Windows Server® 2008 R2				64ビット (x64) プロセッサ		
	Windows Server® 2012						
	Windows Server® 2012 R2						
Macintosh	Mac OS X v10.7.5	プリント PCファクス（送信）※3 スキャン			Intel® プロセッサ	80MB	400MB
	OS X v10.8.x						
	OS X v10.9.x						

※1：サードパーティ製のUSBポートはサポートしていません。

※2：WIAドライバーでは、最大1200 × 1200dpiの解像度でのスキャンができます。[Scanner Utility]を使って、19200 × 19200dpi の解像度を有効にすることができます。

※3：PCファクスはモノクロモードにのみ対応します。

補足

- 最新のドライバーは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）(http://support.brother.co.jp/) でご確認ください。
- お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。CPUのスペックやメモリの容量に余裕があると、動作が安定します。

索　引

■ 索引の使いかた
• このページでは、本書、「ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク」で説明されている項目を検索できます。

＜ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク＞

APIPA
BRAdmin Light
BRAdmin Professional
ControlCenter
CSR
DNS サーバー
E メール通達
IPPS
IPv6
IP アドレス
IP 取得方法
NetBIOS 名
PC ファクス
POP3
SMTP
TCP/IP
TWAIN ドライバー
WIA ドライバー
Windows® FAX とスキャン
Windows® フォトギャラリー
WINS サーバー
WINS 設定
イーサネット
印刷品質
インポート
ウェブブラウザーでの管理
エクスポート
オートマチックドライバーインストーラー
ゲートウェイ
サブネットマスク
自己署名証明書
透かし（ウォーターマーク）設定
スキャナードライバー
スキャン to E メール送信
スキャン to E メール添付
スキャン to FTP/SFTP サーバー
スキャン to OCR
スキャン to USB
スキャン to イメージ
スキャン to ネットワークファイル
スキャン to ファイル
ステータスモニター
セキュリティ機能ロック 3.0
セキュリティプロトコル
セキュリティ方式
電話帳登録
ネットワーク PC-FAX 機能
ネットワーク共有
ネットワークスキャン機能
ネットワークプリンターの管理
ネットワークリモートセットアップ
ノード名
ピアツーピア接続
秘密鍵
フィンガープリント
フォントオプション
フォントリスト
プリンタードライバーの設定
プリンター設定内容リスト
プリント設定の初期化
ページ設定
ポートの選択
リモートセットアップ

＜本書（ユーザーズガイド 基本編）＞

数字

2 in 1 ID コピー 71, 73

A

ADF（自動原稿送り装置）
..... 44, 45, 48, 50, 67, 69, 80, 139, 140

N

N in 1 73
NFC センサー部 18

U

USB ダイレクトプリント 77

あ

明るさ 76

え

エラーメッセージ一覧 129

お

おすすめ機能 14
お役立ちツール 21, 211
オンフック 48

か

解決のステップ 128
回線種別 32
外線番号 194
拡大・縮小コピー 72
拡大 / 縮小 71
各部の名称 19
画質 71, 76
紙づまり 138
画面の操作方法 23

き

機能一覧 178
キャリアシート 44
給紙ローラー 95
記録紙 34
記録紙のタイプ 43
記録紙のサイズ 35, 43
記録紙の種類 35

け

原稿 44
原稿ガイド 45
原稿セット 44, 45
原稿台ガラス 46, 48, 50, 67, 69, 80, 83
原稿台スキャンサイズ 46

こ

構内交換機 (PBX) 170, 194
コピー 67, 217
コピーが禁じられている物 44
コピー設定 71
コピー濃度 71
コピーボタン 198
困ったときには（スキャン） 169
困ったときには（その他） 175
困ったときには（電話／ファクス） 169
困ったときには（コピー／印刷） 150
コロナワイヤー 88
コントラスト 71, 76

さ

サービスパック 231
再梱包 125
再呼び出しベル回数 57

し

自動切換えモード 54
自動送信 47
受信モード 53, 57
手動送信 51
仕様 214
使用できない記録紙 36
消耗品 33, 96
消耗品の回収リサイクル 33

す

スキャナー 218
スキャナー読み取り部 83
スキャン 80
スキャンボタン 201

せ

清掃 82
セットできる記録紙 35

そ

ソートコピー 71, 72
操作パネル 18
外付け留守電モード 55
その他の機能 208

た

ダイヤル回線 32
ダイヤルボタン 18, 50, 68
タッチパネル 18, 25

ち

中止 51
直接入力 50

て

定期交換部品 124
定期メンテナンス 82
電話回線 32

電話帳 48, 50, 62
電話帳に登録する 63
電話モード 56

と

動作環境 225
トナーカートリッジ 97, 101
トナーカートリッジ交換のメッセージ 101
ドラムユニット 90, 97, 105
ドラムユニット交換のメッセージ 106

は

廃棄 33
廃トナーボックス 118
廃トナーボックス交換のメッセージ 118
背面 143

ふ

ファクス 217
ファクス受信 52
ファクス専用モード 53
ファクス送信 47
ファクスボタン 195
プッシュ回線 32
プリンター 219
プリント 79

へ

ベルトユニット 112
ベルトユニット交換のメッセージ 112

ま

待ち受け画面 20
まもなくトナーカートリッジ交換のメッセージ 101
まもなくドラムユニット交換のメッセージ 105
まもなく廃トナーボックス交換のメッセージ 118
まもなくベルトユニット交換のメッセージ 112

め

メニュー 22
メニューボタン 178
メモリがいっぱいです 135
メンテナンス 82

よ

用紙仕様 216
呼び出しベル回数 57

り

リサイクル 33
リモコンアクセス 229
両面コピー 71, 74

れ

レイアウトコピー 71, 73

〈キリトリ線〉

リモコン アクセス

暗証番号



あなたの暗証番号を
記入してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクス機が応答して無音状態のときに、暗証番号を入力します。

①

3.「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していることを示します。
「ポー」という音が聞こえなければ、ファクスメッセージを受信していないことを示します。
4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。
5. 90を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、③、④を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、短い「ピッ」という音が3回聞こえますので、もう1度やり直してください。

②

〈キリトリ線〉

リモコンアクセスコマンド

操作内容		ボタン操作
メモリ受信を解除(※1)		951
ファクス転送に設定(※2)		952
電話呼び出しに設定(※2)		953
ファクス転送番号の登録・変更		954+転送番号+##
メモリ受信を設定		956
ファクスの取り出し		962+ダイヤル入力+##
ファクス消去		963
受信状況のチェック(※3)	ファクス	971

操作内容		ボタン操作
受信モードの変更	外付け留守電	981
	自動切換え	982
	ファクス	983
終了		90

※1: 電話呼び出しや、ファクス転送の設定も解除されます。
※2: 呼び出し番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し、転送機能をONにすることはできません。
※3: 「ピー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信しています。「ピピピッ」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していません。

③ ④

アフターサービスのご案内

お客様のスタイルに合わせたサポート

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）

よくあるご質問（Q&A）や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル（電子版）のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

故障・トラブルかんたん診断（ブラザーサポートナビ24）

該当するトラブルを選択し進んでいくことで、解決のヒントが見つかります。万が一故障と診断された場合、そのままオンライン修理申込も可能です。

サポート ブラザー　検索

http://support.brother.co.jp/

Brother Online マイ製品サポート

ご登録いただくと、お持ちの製品をより便利に、安心にご利用いただけるようになります。

オンラインユーザー登録 ▶ https://online.brother.co.jp/

ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）

050-3786-8881

受付時間：月～金　9:00～18:00 /土　10:00～18:00　日曜日･祝日･弊社指定休日を除きます。

※ブラザーコールセンターはブラザー販売株式会社が運営しています。

安心と信頼の修理サービス

●製品ご購入後1年間無償保証いたします。

※この場合、修理料金と出張料を無償とし、運送料含むその他費用はお客様の負担となります。

●コールセンターでの診断後、修理が必要と判断された場合

お客様の製品設置場所にサービスエンジニアが出張し、修理を行います。

※製品の設置場所が離島および山間部の場合は、修理発生時に別途交通費が必要となります。

有償 サービスパック3･4･5年

商品ご購入後、6ヶ月以内にご購入／ご契約して頂けるサービスメニューです。
ご購入日から3・4・5年の長期保守を割安にご購入可能。

有償 サービスパック1年

商品ご購入後いつでもご契約頂ける1年単位のサービスメニューです。

※ 各サービスパックには、技術料／部品代が含まれます。
※ 出張修理は原則、コール受付の翌営業日以降にエンジニアが設置先へ訪問し修理対応いたします。
出張修理契約には、出張料が含まれております。
※ サービスパック1年は、ご購入後4年以内かつ当社基準に適合した製品であることが条件になります。

各定額保守サービスの内容、該当機種、料金などの詳細は下記窓口へお問い合わせください。
TEL：052-824-3253
http://www.brother.co.jp/product/support_info/s-pack/index.htm

※ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、「ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）」にご連絡ください。
※Presto! PageManagerについては、以下にお問い合わせください。
ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター
TEL：03-5472-7008　FAX：03-5472-7009　10:00～12:00　13:00～17:00（土日･祝日を除く）
テクニカルサポート電子メール：support@newsoft.co.jp　ホームページ：http://www.newsoft.co.jp/

トナーカートリッジ･ドラムユニット･ベルトユニット･廃トナーボックスは当社指定品をご使用ください。当社指定以外の品物をご使用いただくと、故障の原因になる可能性があります。純正品のトナーカートリッジ･ドラムユニット･ベルトユニット･廃トナーボックスをご使用いただいた場合のみ機能･品質を保証いたします。

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切でない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また保証の対象とはなりませんのでご注意ください。
This machine is made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the Power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

●お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
●本製品の補修用性能部品の最低保有期限は製造打ち切り後5年です。（印刷物は2年です）

brother
ブラザー工業株式会社
〒467-8561 名古屋市瑞穂区苗代町15-1